

平成28年度使用教科用図書審議結果

社会(地理的分野)・・・1～5

社会(歴史的分野)・・・1～7

社会(公民的分野)・・・1～7

社会(地図)・・・1～4

国語・・・1～6

書写・・・1～6

数学・・・1～7

理科・・・1～6

音楽(一般)・・・1～4

音楽(器楽合奏)・・・1～4

美術・・・1～5

保健体育・・・1～5

技術・家庭(技術分野)・・・1～5

技術・家庭(家庭分野)・・・1～5

英語・・・1～6

平成28年度使用
教科用図書審議結果
【中学校社会(地理的分野)】
(⑦)

社 会(地理的分野) 4種

発行者の番号略称	書 名
2 東書	新編 新しい社会 地理
17 教出	中学社会 地理 地域にまなぶ
46 帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
116 日文	中学社会 地理的分野

社会（地理的分野）

	第1地区の特性	第2地区の特性	第3地区の特性	第4地区の特性
教科から見た 各地区の特性	・市の南部に位置し、多摩川と東京湾に面した地域である。川崎駅周辺には市役所など公共施設や繁華街があり、臨海部には京浜工業地帯が広がっている。工業を中心とした生産活動が盛んで、地域の中小工場をはじめ大規模な製鉄工場、ライフサイエンスなどの新産業を創出すべく殿町地区に展開する「キングスカイフロント」などがある。また、旧東海道の名残を感じさせる史跡、川崎大師や稲毛神社など歴史を伝える建造物などがある。歴史と最新技術を地域で感じることができる。 ・社会科の学習では、身近な事象や時事的な事柄に関心を示し学習に取り組む生徒が多い。 ・身近な事象を取り上げて、課題を設定して追究しながら、学び方を学び、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、他者と関わりながら社会的事象に対して多面的・多角的に考察し表現する活動を重視して、課題を追究し解決する力の育成を図っていききたい。	・川崎市のほぼ中央部に位置し、比較的平坦な地形の地域である。JR南武線、横須賀線と東急東横線、目黒線などが交差している。商業地と住宅地が混在し、近年は武蔵小杉駅周辺を中心にした新しいまちづくりが進んでいる。タワーマンションの建設等もあり、人口が増え、中原区は市内で最も人口が多い。大学や大企業の研究開発機関が集まっている地域でもある。また、古くからの町並みや歴史的文化財も残る恵まれた環境にあり、様々な学習での活用が期待される。 ・社会科の学習では身近な事象に対して興味をもち、他者と関わりながら意欲的に取り組む生徒が多い。 ・具体的な事例を取り上げ、課題を追究、解決する過程を重視しながら、基礎的・基本的な知識・技能の定着と活用を図るとともに、他者と関わりながら社会的事象に対して多面的・多角的に考察し表現する活動を重視して、課題を追究し解決する力の育成を図っていききたい。	・高津区は武蔵溝ノ口駅周辺を中心に早くから川崎市中部の商業地として発展してきた。宮前区は多摩丘陵上に位置し、区全域で起伏に富んだ地形である。自然も多く残る地域であるが、近年は開発が進み宅地が増加している。駅を中心とした商業地域が点在し、買い物やレジャーの需要を満たすことができる。また、1300年以上の歴史を誇る影向寺や台地に広がる農地、貝塚や古墳など、社会科の学習で取り上げる素材が豊富で、地域を通して学習を展開することができる。 ・社会科の学習では他者と関わりながら、課題の解決に取り組む授業が大切にされている。 ・社会的事象を身近に感じながら、基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、活用するとともに、他者と関わりながら社会的事象に対して多面的・多角的に考察し表現する活動を重視して、課題を追究し解決する力の育成を図っていききたい。	・川崎市の北部に位置し、多摩川に沿った平地と多摩丘陵にまたがる地域である。緑が豊かであり、農業を営む人々もいる。多摩区には生田緑地があり、歴史と自然に触れあうことができる地域である。住宅地としての開発も進み、他都市からの転入も多い。麻生区のはるひ野駅周辺は自然と調和したまちづくりが進められている。また、新百合ヶ丘駅周辺には大規模な商業施設があり、近年は芸術・文化にかかわる施設も増えていて、さまざまなイベントが催され、芸術のまちとしても発展している。 ・社会科の学習では、課題に対して自分の考えをもち、他者と関わりながら追究する授業が大切にされている。 ・身に付けた基礎的・基本的な知識や技能を活用して自分の考えについて根拠を明確にして表現するとともに、他者と関わりながら社会的事象に対して多面的・多角的に考察し表現する活動を重視して、課題を追究し解決する力の育成を図っていききたい。
川崎の子どもが 学習をすすめて いく上での視点	○社会的事象に関心をもち、多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養い、社会的な見方や考え方を成長させることを重視した内容・構成等であること。 ○課題を追究・解決する学習を通して、社会を身近に感じ、社会的事象を解釈・説明したり、自分の考えを論述したりする活動を重視した内容・構成等であること。 ○様々な地域に関心をもち、地理的な見方や考え方の基礎を培い、適切に表現する能力や態度を養うことを重視した内容・構成等であること。			

平成28年度使用教科用図書審議結果⑦

社会(地理的分野)

発行者の 番号略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい社会 地理	・基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るために、資料の読み取り方、まとめ方、活用の仕方などのコーナーを設ける工夫を行っている。 ・生徒が興味をもって地理の学習に取り組めるように、今日的な話題を掲載するコーナーを設け、図や写真などの資料を提示して環境に応じた人々の営みに気付くことができるような工夫をしている。	・学習指導要領の社会科の目標に示されている「適切な資料・選択・活用、多面的・多角的な考察、表現」に関連して、「世界の地域調査」「身近な地域調査」では、具体的な調査の手順が取り上げられている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「言語活動」に関連して、項目ごとに学習内容を説明したり、要約したりすることができるコーナーが設けられている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「道德教育の充実」に関連して「イスラム教徒の人々の暮らし」や「多民族社会を形成するアメリカ」の中で異文化理解を深めるための内容を取り上げている。	【学び方の定着・学習意欲の向上】 ・見開き2ページで1時間の学習を構成している。左ページに1時間の課題を示し、右ページの終わりに課題の解決を促す呼びかけを掲載している。 【基礎的・基本的な知識・技能の習得】 ・「地理スキルアップ」でグラフの読み取り方の説明などを掲載している。 ・「調査の達人」では調査学習を進める上での技能を紹介している。 ・「地理にアクセス」では、学習内容に関する事象についてさらに説明を加えたり関連する内容を上げたりしている。 ・宗教について「世界にはさまざまな宗教があり、人々の生活と密接に関わっています。」と掲載し、世界の宗教分布を掲載している。 ・竹島・尖閣諸島、北方領土について、「領土をめぐる問題」のページで解説するとともに、さらに見開き2ページで写真や地図を掲載して島の様子を説明している。 ・「関東地方」の学習のページで、人口密度が高い地域と産業の結びつきを探る課題が設けられていて、神奈川県や川崎市の掲載がある。 【思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動の充実】 ・単元末の「学習をふりかえろう」ではキャラクターのまとめを例示し、それを参考に学習した内容について自分の言葉でまとめるように促している。 ・「身近な地域の調査」では、中学生のグループが実際に活動している様子を取り上げて、調べ方やまとめ方、発表の仕方などを示している。	【単元構成】 ・「世界の諸地域」では導入の2ページ、「日本の諸地域」では、導入の1ページで地域を概観するための写真やグラフ、地図等を掲載している。 ・「世界の諸地域」「日本の諸地域」とともにテーマを設定して学習する構成になっている。 ・「世界の諸地域」「日本の諸地域」とともに、単元のまとめである「学習を振り返ろう」のページを、世界の各州、日本の各地方の学習が終わるごとに掲載している。 【分量・装丁】 ・AB判で295ページである。 ・「再生紙・植物油インキを使用しています」と裏表紙に掲載している。	【読みやすさへの工夫】 ・「全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています」と裏表紙に掲載している。 ・本文中に資料との関連を示す番号や、前出・後出箇所との関連を示す参照ページなどを掲載している。 ・国宝や重要文化財、世界遺産については写真の近くにマークをつけてその旨を示している。 ・地理・歴史・公民の関連が分かる「分野関連マーク」を取り上げる内容に応じて、掲載している。
17 教出	中学社会 地理 地域にまなぶ	・単元末に「学習のまとめと表現」を配置し、そこで、思考力・判断力・表現力等の育成を一体的に扱った表現活動を取り入れている。 ・見開きページにおいては、学習内容を振り返ってまとめたり、説明したりする課題と、さらに学習を深めたり、広げたりすることができるような発展的な課題を併記して提示する工夫をしている。	・学習指導要領の社会科の目標に示されている「思考力、判断力、表現力」に関連して、「世界のさまざまな地域の調査」「身近な地域の調査」では、「地域調査の手引き」で、結果のまとめ方や発表の仕方について取り上げられている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「言語活動」に関連して、学習内容を確認、整理し、説明や話し合い活動に取り組めるコーナーが設けられている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「道德教育の充実」に関連して「多民族の共存と貧困」や「日本からの移民の貢献」の中で世界が抱える課題点とそれに対する日本の取組が取り上げられている。	【学び方の定着・学習意欲の向上】 ・見開き2ページで1時間の学習を構成している。左ページに1時間の学習課題を示し、右ページの終わりに「ふりかえる」を設け学習課題の解決を促している。 ・「ふりかえる」には、主に学習内容を確認する「ステップ1」と言語活動を促す「ステップ2」があり、2段階の構成で課題解決を促している。 【基礎的・基本的な知識・技能の習得】 ・コラム「地理の窓」では、学習で取り上げた事象について補足の説明をしたり関連ある事象を解説したりしている。 ・「地理にアプローチ」では地図やグラフの読み取り方や使い方、略地図の作り方などを説明している。 ・資料の近くに「読み解こう」のコーナーを設け、資料を読み解く際の手掛かりを示したり考えを深めるヒントを示したりしている。 ・世界と日本の宗教観の違いを示した後で宗教について考えるように促す掲載がある。 ・「日本の領土をめぐる」で北方領土、竹島、尖閣諸島について地図と写真を併記して説明している。 ・九州地方の学習に掲載している「エコタウン事業の承認地域」の地図で川崎市を取り上げている。 【思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動の充実】 ・各章末に「学習のまとめと表現」のページを設け、テーマに沿って「表現する」活動を示している。 ・「身近な地域の調査」では地域の調査の仕方、まとめ方、発表会の仕方、提案の仕方など具体的な活動を示している。	【単元構成】 ・「世界の諸地域」「日本の諸地域」の学習では、初めに地図を掲載してテーマを設定している。 ・世界の諸地域では州ごとの「学習のまとめと表現」のページがあり、日本の諸地域では地方ごとではなく、複数の地方をまとめて振り返る「学習のまとめと表現」のページがある。 【分量・装丁】 ・AB判で279ページである。 ・「再生紙と植物油インキを使用しています。また、バイオマスで発電されたグリーン電力を使用します」と裏表紙に掲載している。	【読みやすさへの工夫】 ・「色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られています」という掲載があり、「CUDマーク」を掲載している。 ・本文中に資料との関連を示す番号や、前出・後出箇所との関連を示す参照ページなどを掲載している。

発行者の 番号略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
46 帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と 日本の国土	・地域的特色や環境と人々のかかわりなどを多面的・多角的に考察しながら課題の解決を行えるよう、各コーナーやまとめの活動などに工夫がみられる。 ・各地域の学習の導入ページをはじめ、人々の姿と地域的特色を具体的に理解できるよう、視覚的にとらえるための工夫がみられる。	・学習指導要領の社会科の目標に示されている「思考力、判断力、表現力」に関連して、「世界のさまざまな地域の調査」「身近な地域の調査」や「トライアル地理」で、資料の活用方法や調査結果のまとめ方などが取り上げられている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「言語活動」に関連して、自ら考察できるよう、学習内容を確認したり、知識を整理したりするコーナーが設けられている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「道徳教育の充実」に関連して「地球温暖化の影響と対策」や「公害の経験を生かした環境保全への取り組み」の中で国内外の自然環境について考える機会が取り上げられている。	【学び方の定着・学習意欲の向上】 ・見開き2ページで1時間の学習を構成している。左ページに1時間の学習課題を示し、右ページの終わりの「確認しよう」「説明しよう」で学習課題の解決を促している。 ・「確認しよう」では、主に学習内容を確認する活動を示し、「説明しよう」では学習内容について説明を促す活動を示していて、2段階の構成で課題の解決を促している。 【基礎的・基本的な知識・技能の習得】 ・「技能をみがく」のコーナーでは、地図やグラフの読み取り方、レポートの作り方等を示している。 ・「やってみよう」のコーナーでは、教科書や地図帳を活用して、基礎的な知識や統計資料の読み取り方を示している。 ・「解説」のコーナーでは、取り上げた用語についてさらに解説を加えている。 ・「羅針盤マーク」のコーナーでは、これからの社会に目を向けて考えられるような事象を取り上げて解説している。 ・世界・日本の諸地域では、生活の様子を伝えるため、「声」コーナーで現地の人の声を掲載している。 ・宗教について「人々の生活や文化と深くかかわっています」と掲載し、世界の宗教分布とイスラム教の日常生活のならわしを併せて掲載している。 ・「日本の領域と領土問題」のページで北方領土、竹島、尖閣諸島について取り上げている。過去や現在の写真、地図を掲載して解説している。 ・「拡大する東京都市圏」というテーマで、川崎市の人口集中に関する掲載があり、川崎市高津区の地価の資料が掲載されている。 【思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動の充実】 ・単元末の「学習をふりかえろう」に「確認しよう」「説明しよう」「探究しよう」があり、地図や図などを使って自分の言葉でまとめられるようにしている。 ・「身近な地域の調査」では調査の手順を段階を追って示すとともに、調査結果の発表の仕方やまとめ方などを具体的に示している。	【単元構成】 ・「世界の諸地域」「日本の諸地域」の学習では、初めに見開き2ページで地図や写真を掲載して地域を概観している。 ・「世界の諸地域」「日本の諸地域」とともにテーマを設定して学習する構成になっている。 ・「世界の諸地域」「日本の諸地域」とともに、単元のまとめである「学習をふりかえろう」のページを、世界の各州、日本の各地方の学習が終わるごとに掲載している。 【分量・装丁】 ・AB判で280ページである。 ・「環境にやさしい再生紙・ライスインクを使用しています」と裏表紙に掲載している。	【読みやすさへの工夫】 ・「カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮しています」と裏表紙に掲載している。 ・本文中に資料との関連を示す番号や、前出・後出箇所との関連を示す参照ページなどを掲載している。 ・右ページに、章ごとに色分けしたインデックスを掲載している。
116 日文	中学社会 地理的分野	・多面的・多角的な思考に基づいて課題を追究できるように、「スキルUp」「トライ」などのコーナーや特設ページを設け、興味をもって学習に取り組めるように工夫している。 ・学習のまとめごとに「学習のまとめ」が効果的に配置され、それぞれの単元でこれまで学習してきたことを簡潔にまとめる活動が示されている。	・学習指導要領の社会科の目標に示されている「地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度の育成」に関連して、「世界のさまざまな地域の調査」「身近な地域の調査」には調査の方法や発表の仕方について取り上げられている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「言語活動」に関連して、自分の言葉で表現できるよう、学習内容をもとに思考・判断・表現するコーナーが設けられている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「道徳教育の充実」に関連して「原子力発電所の事故と再生可能エネルギー」で世界が抱えるエネルギー問題について考える機会が取り上げられている。	【学び方の定着・学習意欲の向上】 ・見開き2ページで1時間の学習を構成している。左ページに1時間の学習課題を示し、右ページの終わりに「学習の確認と活用」を設け課題の解決を促している。 ・「学習の活用と確認」の「確認」では、主に学習内容を確認する活動を示し、「活用」では学習内容について説明を促す活動を示していて、2段階の構成で課題解決を促している。 【基礎的・基本的な知識・技能の習得】 ・学習課題の解決のためにキーワードを明記している。 ・「スキルUP」では資料の活用の仕方や略地図の書き方などを示している。 ・「地理＋α」のコーナーでは、見開きページで取り上げた事象について理解を深めるための解説を掲載している。 ・「宗教は人々の生活とさまざまな形で結びついています」と掲載し、世界の宗教分布の地図や、宗教とくらしのかかわりが分かる写真を掲載している。 ・「日本の領域をめぐる問題をつかむ」のページで北方領土、竹島、尖閣諸島について、写真や地図などとともに解説している。 ・関東地方の学習で、中小工場が集まっている場所として「東京都大田区から川崎市にかけての地域」という掲載がある 【思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動の充実】 ・言語活動コーナーでは読み取ったり考えたり伝えたりすることを示している。 ・単元末の「学習のまとめ」の「ステップ2」では、単元で学んだ地域的特色を自分の言葉でまとめるよう促している。 ・「身近な地域の調査」では地域調査のやり方について、仮説を立てたり調べたことをまとめたりする過程を示している。	【単元構成】 ・「世界の諸地域」「日本の諸地域」の学習では1ページ目に地図と写真を掲載し、次の見開きで追究する学習テーマや視点を設定している。 ・「世界の諸地域」「日本の諸地域」とともにテーマや視点を設定して学習する構成になっている。 ・「世界の諸地域」「日本の諸地域」とともに、単元のまとめである「学習のまとめ」のページを、世界の各州、日本の各地方の学習が終わるごとに掲載している。 【分量・装丁】 ・AB判で281ページである。 ・「植物油インキと再生紙を使用しています」と裏表紙に掲載している。	【読みやすさへの工夫】 ・「カラーユニバーサルデザインに配慮しています」と裏表紙に掲載している。 ・本文中に資料との関連を示す番号や、前出・後出箇所との関連を示す参照ページなどを掲載している。 ・左ページに、章ごとに色分けしたインデックスを掲載している。

平成28年度使用
教科用図書審議結果
【中学校社会(歴史的分野)】
(⑦)

社 会(歴史的分野) 8種

発行者の番号略称	書 名
2 東書	新編 新しい社会 歴史
17 教出	中学社会 歴史 未来をひらく
35 清水	中学 歴史 日本の歴史と世界
46 帝国	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
116 日文	中学社会 歴史的分野
225 自由社	新版 新しい歴史教科書
227 育鵬社	[新編]新しい日本の歴史
229 学び舎	ともに学ぶ人間の歴史

社会（歴史的分野）

	第1地区の特性	第2地区の特性	第3地区の特性	第4地区の特性
教科から見た 各地区の特性	・市の南部に位置し、多摩川と東京湾に面した地域である。川崎駅周辺には市役所など公共施設や繁華街があり、臨海部には京浜工業地帯が広がっている。工業を中心とした生産活動が盛んで、地域の中小工場をはじめ大規模な製鉄工場、ライフサイエンスなどの新産業を創出すべく殿町地区に展開する「キングスカイフロント」などがある。また、旧東海道の名残を感じさせる史跡、川崎大師や稲毛神社など歴史を伝える建造物などがある。歴史と最新技術を地域で感じることができる。 ・社会科の学習では、身近な事象や時事的な事柄に関心を示し学習に取り組む生徒が多い。 ・身近な事象を取り上げて、課題を設定して追究しながら、学び方を学び、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、他者と関わりながら社会的事象に対して多面的・多角的に考察し表現する活動を重視して、課題を追究し解決する力の育成を図っていききたい。	・川崎市のほぼ中央部に位置し、比較的平坦な地形の地域である。JR南武線、横須賀線と東急東横線、目黒線などが交差している。商業地と住宅地が混在し、近年は武蔵小杉駅周辺を中心にした新しいまちづくりが進んでいる。タワーマンションの建設等もあり、人口が増え、中原区は市内でも人口が多い。大学や大企業の研究開発機関が集まっている地域でもある。また、古くからの町並みや歴史的文化財も残る恵まれた環境にあり、様々な学習での活用が期待される。 ・社会科の学習では身近な事象に対して興味をもち、他者と関わりながら意欲的に取り組む生徒が多い。 ・具体的な事例を取り上げ、課題を追究、解決する過程を重視しながら、基礎的・基本的な知識・技能の定着と活用を図るとともに、他者と関わりながら社会的事象に対して多面的・多角的に考察し表現する活動を重視して、課題を追究し解決する力の育成を図っていききたい。	・高津区は武蔵溝ノ口駅周辺を中心に早くから川崎市中部の商業地として発展してきた。宮前区は多摩丘陵上に位置し、区全域で起伏に富んだ地形である。自然も多く残る地域であるが、近年は開発が進み宅地が増加している。駅を中心とした商業地域が点在し、買い物やレジャーの需要を満たすことができる。また、1300年以上の歴史を誇る影向寺や台地に広がる農地、貝塚や古墳など、社会科の学習で取り上げる素材が豊富で、地域を通して学習を展開することができる。 ・社会科の学習では他者と関わりながら、課題の解決に取り組む授業が大切にされている。 ・社会的事象を身近に感じながら、基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、活用するとともに、他者と関わりながら社会的事象に対して多面的・多角的に考察し表現する活動を重視して、課題を追究し解決する力の育成を図っていききたい。	・川崎市の北部に位置し、多摩川に沿った平地と多摩丘陵にまたがる地域である。緑が豊かであり、農業を営む人々もいる。多摩区には生田緑地があり、歴史と自然に触れあうことができる地域である。住宅地としての開発も進み、他都市からの転入も多い。麻生区のはるひ野駅周辺は自然と調和したまちづくりが進められている。また、新百合ヶ丘駅周辺には大規模な商業施設があり、近年は芸術・文化にかかわる施設も増えていて、さまざまなイベントが催され、芸術のまちとしても発展している。 ・社会科の学習では、課題に対して自分の考えをもち、他者と関わりながら追究する授業が大切にされている。 ・身に付けた基礎的・基本的な知識や技能を活用して自分の考えについて根拠を明確にして表現するとともに、他者と関わりながら社会的事象に対して多面的・多角的に考察し表現する活動を重視して、課題を追究し解決する力の育成を図っていききたい。
川崎の子どもが 学習をすすめて いく上での視点	○社会的事象に関心をもち多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養い、社会的な見方や考え方を成長させることを重視した内容・構成等であること。 ○課題を追究・解決する学習を通して、社会を身近に感じ、社会的事象を解釈・説明したり、自分の考えを論述したりする活動を重視した内容・構成等であること。 ○時代の特色や転換、移り変わり等を捉え、歴史的な事象について自分の言葉で表現する学習を重視した内容・構成等であること。			

平成28年度使用教科用図書審議結果⑦

社会(歴史的分野)

発行者の番号 略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい社会 歴史	・時代の特徴や歴史の流れを大きくとらえることができるように各時代の導入で、それまでの時代とつなげて年表を掲載するなど、ページ構成を工夫している。また、見通しをもって学習に取り組めるように、これから学習する時代を概観するための見開きページを設定している。 ・基礎的・基本的な知識・技能を習得するために、「歴史スキルアップ」「確認」「深めよう」などのコーナーを設け、「歴史にアクセス」などで生徒が意欲をもって学習に取り組めるように配慮している。	・学習指導要領の社会科の目標に示されている広い視野「多面的・多角的に考察」に関連して、「この時代の特徴をとらえよう」で時代の特徴をまとめられるように構成されている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「言語活動」に関連して、「えんぴつマーク」で学習を深めるための作業や活動を紹介している。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「道徳教育の充実」に関連して「女性の参画」などにおいて、男女平等の考え方が取り上げられている。	【学び方の定着・学習意欲の向上】 ・見開き2ページで1時間の学習を構成している。左ページには学習課題を示して、右ページにはまとめとして毎時間の学習内容を確認する問いかけを示している。 【基礎的・基本的な知識・技能の習得】 ・「時代や年代の読み取り方」「系図の読み取り方」など、歴史学習の基礎的な知識・技能を身に付ける「歴史スキルアップ」を設け、定着を図っている。 ・日本の領土をめぐる問題とその歴史をコラムとして取り上げ、竹島・北方領土・尖閣諸島について説明している。 ・巻末に年表が折込1枚裏表印刷で付属されている。 ・見開き左ページ下部にスケールを載せて、学習内容がどの時代のどのあたりのものか分かるようにしている。 ・世界遺産や各時代の女性の姿を示すコラムなどを掲載している。 ・「歴史にアクセス」で生徒が関心をもつような人物・事象について取り上げている。 【思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動の充実】 ・「私たち歴史探検隊」では調査活動例を示し、情報共有の仕方やまとめ方などを掲載している。 ・単元末の「この時代の特徴をとらえよう」ではキャラクターが説明をしながら、単元を振り返り、時代の特徴をまとめる活動を示している。	【単元構成】 ・単元の導入ではその時代の特徴を示したイラストを見開き2ページで掲載しイメージをもてるようにしている。 ・単元全体を振り返るよう、時代の特徴を捉えるページと学習内容を確認するページがある。 ・単元の終わりの年表と次の単元の年表を見開きページでつなげて示し、時代の移り変わりを見る視点を掲載している。 【分量・装丁】 ・AB判で287ページである。 ・「再生紙、植物インキを使用しています。」と裏表紙に掲載している。	【読みやすさへの工夫】 ・「全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています」と裏表紙に掲載している。 ・地図やグラフではカラーバリエーションに配慮している。 ・本文中に資料との関連を示す番号や、前出・後出箇所との関連を示す参照ページなどを掲載している。 ・国宝や重要文化財、世界遺産については写真の近くにマークをつけてその旨を示している。
17 教出	中学社会 歴史 未来をひらく	・毎時間の学習課題の設定や学習内容の特徴を示すフレーズの掲載など、見通しをもって日々の学習に取り組める工夫を行っている。学習課題を2段階で解決することや単元のまとめで諸資料を活用して課題を解決するなど言語活動を重視している。 ・時代の転換の様子をとらえ、見通しをもって学習に取り組めるように前時代のまとめと次の時代の導入に同質の資料掲載して比較できるようにしている。共通点と相違点を見出し、各時代の特徴を多面的・多角的に考察できるように配慮している。	・学習指導要領の社会科の目標に示されている「広い視野」「多面的・多角的に考察」に関連して、「時代の変化に注目しよう!」で各時代の移り変わりを考察できるように構成されている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「言語活動」に関連して、「読み解こう」や「ふりかえる」で資料の読み取りを示唆したり学んできたことを活用して表現したりする活動を示している。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「道徳教育の充実」に関連して「米沢藩の藩政改革」などにおいて、公共の精神が取り上げられている。	【学び方の定着・学習意欲の向上】 ・見開き2ページで1時間の学習を構成している。見開き左ページのタイトルには、学習内容を象徴するフレーズと学習事項を表す副題を示し、合わせて「学習課題」を示している。右ページ下には学習課題の解決を促す「ふりかえる」を設定している。 ・「ふりかえる」には、主に学習内容を確認する「ステップ1」と言語活動を促す「ステップ2」があり、2段階の構成で課題解決を促している。 【基礎的・基本的な知識・技能の習得】 ・「読み解こう」のコーナーで歴史資料の読み取り方と考察する活動を促している。 ・特設ページの「〇〇から歴史を探ろう」では地域調査の手引などを示している。 ・「隣国と向き合うために」では日本の領土をめぐる問題について説明している。 ・巻末に折込形式の年表を設け、見開きで原始から現代まで見ることができるようになっている。 ・左ページタイトルにはスケールを載せて、学習内容がどの年代のどのあたりのものか分かるようにしている。 ・興味や関心を広げていくコラム「歴史の窓」や、歴史を掘り下げていく各種特設ページを設けている。 ・郷土の歴史を探ろうの⑤では、高度経済成長期の川崎市を見開きで取り上げている。 【思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動の充実】 ・「郷土の歴史を探ろう」では、調査活動や、発表活動などの具体的な例示や、アドバイスを掲載している。 ・各章末の「学習のまとめと表現」のページでは、その時代の出来事や動きについて、資料などをもとに自分の言葉で説明する活動を示している。	【単元構成】 ・単元の導入では前単元の時代との比較を行いながら、単元の課題を示し、単元末には年表や地図などを掲載し多面的に課題解決を図る構成になっている。 ・時代の移り変わりに着目できるよう、単元末に絵画や写真資料を示し、次の単元の扉にも同質の絵画資料や写真を掲載して比較できるようにしている。 【分量・装丁】 ・AB判で274ページである。 ・「環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しています。印刷においてはバイオマスで発電されたクリーン電力を使用します」と裏表紙に掲載している。	【読みやすさへの工夫】 ・「色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。」と裏表紙に掲載し、「CUD」のマークを掲載している。 ・本文中に資料との関連を示す番号や、前出・後出箇所との関連を示す参照ページなどを掲載している。 ・国宝や重要文化財、世界遺産については写真の近くにマークをつけてその旨を示している。

発行者の番号 略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
35 清水	中学 歴史 日本の歴史と 世界	・見開きページに「めあて」を掲載し、「まとめてみよう」や「深めよう」等のコーナーで学習内容をまとめたりさらに深める活動が示されていて、思考力・判断力・表現力等が育成されるように工夫されている。 ・各章末に設定されている「まとめてみよう」では、歴史的事象について考察する力を養うために、これまで学習したことを様々な区分に整理して年表に表し、日本のうごきや世界のうごきなど事象間の関係に目が向けられるように工夫されている。	・学習指導要領の社会科の目標に示されている「広い視野」「多面的・多角的に考察」に関連して、各章の初めにある「〇〇ってどんな時代？」で課題を設定し、学習が進められるように構成されている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「言語活動」に関連して、「Yチャートにまとめながら話しあおう」のページではチャートを作って話し合う活動を示している。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「道徳教育の充実」に関連して「足尾鉍毒事件」などにおいて、正義と責任などが取り上げられている。	【学び方の定着・学習意欲の向上】 ・見開き2ページで1時間の学習を構成している。左ページにめあてを、右ページに「まとめてみよう」を掲載している。「まとめてみよう」は学習内容を文にまとめたり表に整理したりする活動を促している。「まとめてみよう」の中にさらに内容を深める「深めよう」を掲載しているページもある。 【基礎的・基本的な知識・技能の習得】 ・巻頭に「キャッチコピーづくりの進め方」について段階を追って掲載している。 ・各章の終わりに基本的な知識の確認ができるまとめを設けている。 ・資料の読み取り方や視点を示した「付箋マーク」を資料の付近に掲載している。 ・「もっと知りたい歴史」で人物や各時代の生活の様子を掲載している。 ・「地図で見る世界史」では、世界地図と世界各地の絵画や写真を掲載して、興味をもたせるようにしている。 ・樺太・千島交換条約とともに、尖閣諸島・北方領土に関して、地図とともに脚注に掲載している。 ・巻末に折込4ページ表裏の年表で、住居の写真や絵を掲載して、時代の変遷が分かるようにしている。 ・「身近な地域を調べよう」で、川崎市の地名資料室と市民ミュージアムの事例を取り上げている。 【思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動の充実】 ・「Yチャートにまとめながら話し合おう」ではキャッチコピーの作り方を示し、Yチャートを使つての発表や感想交流を促している。 ・各章の終わりに、学習内容を整理する年表を掲載し、時代の特色を自分の言葉でまとめる課題を設けている。	【単元構成】 ・単元の導入で、単元の課題を示し、単元末の「まとめてみよう」ではその時代の基本的な知識を確認し、特色について考える活動を示している。 ・各章の始めに、時代の特色に気付かせる問いかけと写真を掲載している。 【分量・装丁】 ・B5判で287ページである。 ・「再生紙および一部に環境に配慮したインキを使用しています。」と裏表紙に掲載している。	【読みやすさへの工夫】 ・「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン」の文字を使用しています」と裏表紙に掲載している。 ・本文中に前出・後出箇所との関連を示す参照ページを掲載している。 ・時代によって、背景色を変えている。 ・最終ページに、教科書に出ている歴史的遺産を日本地図とともに表している。 ・国宝や世界遺産については写真の近くにマークをつけてその旨を示している。
46 帝国	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと 世界の動き	・各時代の人々の暮らしを表現した「タイムトラベル」で、時代のイメージをもたせるとともに、単元末の「学習をふりかえろう」で、その時代について学習したことを「確認しよう」「説明しよう」の2段階で整理し、時代の特色への理解を定着させるように工夫されている。 ・「技能をみがく」のコーナーや「羅針盤マーク」のコーナーで知識や技能の習得を図り、「トリアル歴史」などでさらに興味関心を広げる活動を示すなど工夫されている。	・学習指導要領の社会科の目標に示されている「広い視野」「多面的・多角的に考察」に関連して、「坂本龍馬暗殺のなぞ」では、資料が提示され、自分の意見を作り上げ発表するよう構成されている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「言語活動」に関連して、「学習をふりかえろう」のコーナーを単元のまとめとして位置づけ、説明や話し合い活動を促している。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「道徳教育の充実」に関連して「差別からの解放」などにおいて、人権の考え方が取り上げられている。	【学び方の定着・学習意欲の向上】 ・見開き2ページで1時間の学習を構成している。左ページに学習課題が設定されていて、右ページ下部に「確認しよう」や「説明しよう」があり、課題の解決を示している。 ・「確認しよう」では、主に学習内容を確認する活動を示し、「説明しよう」では学習内容について説明を促す活動を示していて、2段階の構成で課題解決を促している。 【基礎的・基本的な知識・技能の習得】 ・「技能をみがく」のコーナーで資料の読み取り方、歴史の捉え方などを示している。 ・「解説」のコーナーでは学習で取り上げている用語について説明している。 ・「羅針盤マーク」のコーナーでは各時代の特色を示す歴史的事象についての解説を掲載している。 ・「資料活用」マークを示し、資料の読み取り方を示している。 ・「歴史を探ろう」では、日本の領土と近隣諸国の関係をコラムページで扱い、北方領土、竹島、尖閣諸島について説明している。 ・巻末に折込3ページ表裏で年表を掲載している。日本と海外の交流を矢印やイラストで示している。 ・「歴史を探ろう」では具体例を示して、学習内容をさらに深める資料や問いかけを掲載している。 【思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動の充実】 ・「トリアル歴史」では資料を比較して考えたり、仮説をたてて歴史を捉えたりすることについて取り上げている。 ・単元末の「学習をふりかえろう」では、年表・写真・地図等を掲載して話し合い活動とまとめ方を示している。また、時代を大観し自分の言葉で説明するよう促している。	【単元構成】 ・単元末の「学習をふりかえろう」では単元全体をふりかえるまとめを示している。 ・タイムトラベルの各時代のイメージイラストから、どのような時代の変化が見られるかについて考える活動を示している。 【分量・装丁】 ・AB判で268ページである。 ・「環境にやさしい再生紙・ライスインクを使用しています。」と裏表紙に掲載している。	【読みやすさへの工夫】 ・「カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮しています」と裏表紙に掲載している。 ・本文中に資料との関連を示す番号や、前出・後出箇所との関連を示す参照ページなどを掲載している。 ・国宝や世界遺産については写真の近くにマークをつけてその旨を示している。

発行者の番号 略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	中学社会 歴史的分野	・時代の移り変わりを的確にとらえることができるように、各時代の導入では、複数の資料を比較・関連付けながら考察し、時代を大観するように工夫している。また、「とらえよう！時代の転換」で具体的な事例を取り上げて歴史の変化について掲載することで、資料を活用しながら歴史について考察する力を伸ばせるように工夫している。 ・「でかけよう！地域調べ」「歴史を掘り下げる」「先人に学ぶ」等、数多くのコーナーを設定し、様々な角度から歴史的事象について捉えることができるよう工夫している。	・学習指導要領の社会科の目標に示されている「広い視野」「多面的・多角的に考察」に関連して、各編の初めの「地図で見る世界の動き」で、世界史の中での日本の様子が示され、その時代がとらえられるよう構成されている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「言語活動」に関連して、「言語活動コーナー」を設け、読み取ったり考えたりする活動を促している。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「道德教育の充実」に関連して「エルトゥールル号遭難事件」などにおいて、命の尊さ、国際協力について取り上げられている。	【学び方の定着・学習意欲の向上】 ・見開き2ページで1時間の学習を構成している。左ページに学習課題、右ページに「学習の確認と活用」を掲載して、課題を解決する流れになっている。 ・「学習の活用と確認」の「確認」では、主に学習内容を確認する活動を示し、「活用」では学習内容について説明を促す活動を示していて、2段階の構成で課題解決を促している。 【基礎的・基本的な知識・技能の習得】 ・見開き内でポイントとなる言葉を「鍵のマーク」で示している。 ・「歴史学習の基礎資料」では文化財の種類や土地制度の移り変わり、絵画資料の見方などを掲載している。 ・「スキルアップ」のコーナーでは、資料の調べ方や見学のしかた等を解説している。 ・「基本用語」のコーナーでは歴史の理解に役立つ用語の解説をしている。 ・コラム「＋α」の「韓国・中国との国交正常化と現在の課題」で竹島・尖閣諸島について解説している。 ・巻末に折込の見開き表裏4ページで年表を掲載している。 ・見開き左ページの左端にスケールを載せて、学習内容がどの時代のどのあたりのものか分かるようにしている。 【思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動の充実】 ・言語活動コーナーでは「読み取ろう」「考えよう」「伝えよう」と活動の種類を示し、時代の特色について自分の言葉でまとめる活動を促している。 ・単元末の「学習の活用」では時代の特色について自分の言葉でまとめる活動を促している。	【単元構成】 ・各時代の導入に単元の課題、「まとめ」の部分では習得した知識を活用して時代の特色を捉えるための活動を設けている。 ・単元途中の「とらえよう！時代の転換」のページでは具体例を示して歴史の移り変わりを示している。 【分量・装丁】 ・AB判で295ページである。 ・「植物油インキと再生紙を使用しています」と裏表紙に掲載している。	【読みやすさへの工夫】 ・「カラーユニバーサルデザインに配慮しています」と裏表紙に掲載している。 ・各ページのスケールに時代ごとの色を使うことでインデックスの役割を果たしている。 ・本文中に資料との関連を示す番号や、前出・後出箇所との関連を示す参照ページなどを掲載している。 ・国宝や世界遺産については写真の近くにマークをつけてその旨を示している。
225 自由社	新版 新しい 歴史教科書	・教育基本法と学習指導要領に基づき、「我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる」ことに重点をおいた内容となっている。 ・基礎的・基本的な知識の確実な定着をめざし、歴史的事象や重要語句の意味を説明したり、コラムなどで日本の伝統や文化などに誇りをもてるように構成の工夫を図っている。	・学習指導要領の社会科の目標に示されている「広い視野」「多面的・多角的に考察」に関連して、章の終わりの「〇〇とはどんな時代か」で、時代をまとめ、課題を設定し、その後で意見交換ができるように構成されている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「言語活動」に関連して、単元のまとめでは時代を比較して文章にまとめたり、意見交換会を促したりしている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「道德教育の充実」に関連して「外の目から見た日本 東日本大震災」などにおいて、公共の精神などが取り上げられている。	【学び方の定着・学習意欲の向上】 ・見開き2ページで1時間の学習を構成している。左ページには課題を、右ページに「まとめにチャレンジ」を設け、課題を解決する流れを構成している。 【基礎的・基本的な知識・技能の習得】 ・序章の「歴史のとらえ方」では、年代のあらかし方や時代区分などを示している。 ・「歴史の言葉」というコーナーを設け、歴史用語の意味を解説している。 ・各章のまとめに「歴史豆辞典・100字用語解説」があり、章での学習に関連する用語を約100字で解説している。 ・「人物クローズアップ」ではその時代の人物を取り上げ説明している。 ・「もっと知りたいコラム」では学習内容を解説したり、補完したりする内容を紹介している。 ・「外の目から見た日本」では、外国人の日本人像などを紹介し、時代ごとの日本の様子を掲載している。 ・北方領土や竹島の領土問題や尖閣諸島の領有をめぐる動きについて、歴史的経緯を踏まえて掲載している。 ・巻末に5ページにわたる横書きの年表と、「年号→西暦早見表」を掲載している。 【思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動の充実】 ・章のまとめで、学習内容を振り返るために時代の様子を比較したり意見交換をしたりする活動を促している。 ・「ひとこと」作文では、キーワードを用いて時代の特色を200字程度の文で表現する活動を示している。	【単元構成】 ・各章の初めには、その時代の絵画や写真等を掲載し、キャラクターの会話で絵画や写真を見る視点を示している。 ・各章末に設けた「〇〇とはどんな時代か」のページでは、対談形式で時代の特徴を説明している。 ・章のまとめに時代を比較する問いを入れることで、時代の変化を大観できるようにしている。 【分量・装丁】 ・B5判で288ページである。	【読みやすさへの工夫】 ・本文は明朝体、ルビや解説はゴシック体になっている。 ・国宝や重要文化財については写真の近くにマークをつけてその旨を示している。 ・本文中に前出・後出箇所との関連を示す参照ページを掲載している。

発行者の番号 略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
227 育鵬社	[新編] 新しい 日本の歴史	・「伝統や文化、宗教に関する学習」に重点をおいた内容となっている。生徒が興味・関心をもって学べるように、我が国の伝統や文化について「日本の美の形」「歴史ズームイン」「歴史ビュー」等で歴史を多角的に捉える機会を設けるなどの工夫をしている。 ・各単元の導入では扉のページでそれぞれの時代の船の絵や写真を掲載し、歴史絵巻などで時代を概観するイラストを掲載する等の工夫をしている。その変遷から人々の知恵や我が国の歩みについて考えることができるような工夫をしている。	・学習指導要領の社会科の目標に示されている「広い視野」「多面的・多角的に考察」に関連して、各章の初めにある「鳥の目で見える〇〇」「虫の目で見える〇〇」でその時代を捉えるように構成されている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「言語活動」に関連して、「学習のまとめ」では、単元の学習内容をふりかえり、時代について話し合ったり説明したりする活動を促している。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「道徳教育の充実」に関連して「杉原千畝と樋口季一郎」などにおいて、人権について取り上げられている。	【学び方の定着・学習意欲の向上】 ・見開き2ページで1時間の学習を構成している。左ページに学習課題を設け、右ページで学習のまとめの活動を示し、課題解決の流れを構成している。 【基礎的・基本的な知識・技能の習得】 ・「課題学習」のページでは、地域調査や調べ学習など自分たちで取り組む方法や課題を示している。 ・巻頭の「日本の美の形」では日本の豊かな伝統と文化を紹介している。 ・「歴史ズームイン」では宗教観や考古学、仮名文字の発達などを取り上げ歴史事象をより詳しく見る視点を示している。 ・「歴史ビュー」では、本文の内容にかかわる事項について解説している。 ・「なでしこ日本史」では、各時代で活躍した女性について掲載している。 ・「人物クローズアップ」では、人物の業績や生涯について解説している。 ・明治初期の外交と国境の画定の学習で、北方領土、竹島、尖閣諸島について詳述している。 ・巻末に折込2ページ表裏で年表を掲載している。日本と世界の出来事が比較しやすいよう、点線で関連を示している。 【思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動の充実】 ・単元導入の「〇〇の世界へようこそ」では、各時代の特色を示す資料を提示し、資料の読み取りの視点や考える視点などを投げかけている ・「学習のまとめ」を各時代の終末に掲載し、時代の特色について考えをまとめたり話し合ったりする活動を促している。	【単元構成】 ・単元の導入では時代を象徴する船の写真やイラストを掲載している。また「鳥の目で見える〇〇」「虫の目で見える〇〇」により時代の特色を示している。 ・単元末に「学習のまとめ」で単元を振り返る活動を示している。 【分量・装丁】 ・AB判で290ページである。 ・「環境に配慮し植物油インキで印刷しています。また、本文用紙の一部には再生紙を使用しています」と裏表紙に掲載している。	【読みやすさへの工夫】 ・色覚特性を踏まえて、判別しやすい色を使用したり、表示を工夫したりしている。 ・資料には番号を掲載し、番号で示したり確認したりできるようにしている。 ・前出・後出箇所との関連を示す参照ページなどを掲載している。 ・国宝や世界遺産については写真の近くにマークをつけてその旨を示している。
229 学び舎	ともに学ぶ 人間の歴史	・歴史を広い視野から捉えることができるよう、単元の初めには、その当時の世界の様子を示す写真や絵画を世界地図とともに掲載している。また、「フォーカス」などではその時代の特色ある事象について具体的に取り上げエピソードを掲載したり、時代背景を説明したりするなど、人々の営みに着目することを重視した工夫を行っている。 ・A4判の大きさを生かして、写真や図版を見開き2ページにまたがるように掲載するなどの工夫を行っている。	・学習指導要領の社会科の目標に示されている「広い視野」「多面的・多角的に考察」に関連して、各章の初めに世界地図で1つのテーマを表しており、世界とのつながりを意識して、学習が進められるように構成されている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「言語活動」に関連して、単元末の「学習のまとめ」では地図や絵画等を掲載し、時代の特色をまとめる活動などを示している。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「道徳教育の充実」に関連して「アンネの日記」を紹介するページで、人権についての考え方が取り上げられている。	【学び方の定着・学習意欲の向上】 ・見開き2ページで1時間の学習を構成している。見開き左ページのタイトルには、学習内容を象徴するフレーズと学習事項を表す副題を示し、第1章については課題を設定している。第2章以降は問いや疑問を出し合いながら課題を立てるよう「この教科書の使い方」で説明している。 【基礎的・基本的な知識・技能の習得】 ・世界の宗教や文化などについて単元の導入で世界地図とともに掲載している。 ・歴史の舞台に焦点を当てる「フォーカス」を掲載し、歴史的事象を説明している。 ・見開き右ページの下部にコラムを設け、人々の暮らしの様子や歴史的事象について説明しているページがある。 ・尖閣諸島については日清戦争を扱うページの注釈で、竹島については日露戦争を扱うページの注釈で、北方領土については日ソ共同宣言の注釈で掲載している。 ・巻末に20ページにわたり、写真や図表などを取り入れて年表を掲載している。 ・「地域の博物館で調べる」では博物館での調査の仕方や博物館の役割などについて掲載している。 ・「歴史を体験する」では体験活動やインターネットを使用しての資料活用などの活動を紹介している。 【思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動の充実】 ・「第〇章をふりかえる」では、章の終わりに、学習内容について穴埋め形式の文章を掲載し、章全体を振り返って考えるようにしている。 ・単元末の「学習のまとめ」ではその時代の特色を表現する活動を投げかけている。	【単元構成】 ・各章の導入で学習課題を設定するとともに、世界を俯瞰できる地図の上に、その時代ごとに設定したテーマに基づいた世界の状況を写真等で示している。 ・章ごとに振り返りを設定している。 ・単元の導入でスケールを掲載し、扱う時代の位置を示している。 【分量・装丁】 ・A4判で323ページである。 ・「再生紙を使用し（見返しは除く）、植物インキで印刷してあります。またじょうぶで開きのよいPUR製本を採用しています。」と裏表紙に掲載している。	【読みやすさへの工夫】 ・A4判の大きさを生かしたサイズの写真を掲載したり、見開き2ページにまたがる図版を掲載したりしているページがある。 ・資料には番号を掲載し、番号で示したり確認したりできるようにしている。 ・ページ数付近に、章ごとに異なる色を掲載し、章のまとまりが分かるようにしている。 ・巻末には主な史跡や寺社を示した日本地図を折込ページで掲載している。

平成28年度使用
教科用図書審議結果
【中学校社会(公民的分野)】
(⑦)

社 会(公民的分野) 7種

発行者の番号略称	書 名
2 東書	新編 新しい社会 公民
17 教出	中学社会 公民 とともに生きる
35 清水	中学 公民 日本の社会と世界
46 帝国	社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして
116 日文	中学社会 公民的分野
225 自由社	新しい公民教科書
227 育鵬社	[新編]新しいみんなの公民

社会（公民的分野）

	第1地区の特性	第2地区の特性	第3地区の特性	第4地区の特性
教科から見た 各地区の特性	・市の南部に位置し、多摩川と東京湾に面した地域である。川崎駅周辺には市役所など公共施設や繁華街があり、臨海部には京浜工業地帯が広がっている。工業を中心とした生産活動が盛んで、地域の中小工場をはじめ大規模な製鉄工場、ライフサイエンスなどの新産業を創出すべく殿町地区に展開する「キングスカイフロント」などがある。また、旧東海道の名残を感じさせる史跡、川崎大師や稲毛神社など歴史を伝える建造物などがある。歴史と最新技術を地域で感じることができる。 ・社会科の学習では、身近な事象や時事的な事柄に関心を示し学習に取り組む生徒が多い。 ・身近な事象を取り上げて、課題を設定して追究しながら、学び方を学び、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、他者と関わりながら社会的事象に対して多面的・多角的に考察し表現する活動を重視して、課題を追究し解決する力の育成を図っていききたい。	・川崎市のほぼ中央部に位置し、比較的平坦な地形の地域である。JR南武線、横須賀線と東急東横線、目黒線などが交差している。商業地と住宅地が混在し、近年は武蔵小杉駅周辺を中心にした新しいまちづくりが進んでいる。タワーマンションの建設等もあり、人口が増え、中原区は市内で最も人口が多い。大学や大企業の研究開発機関が集まっている地域でもある。また、古くからの町並みや歴史的文化財も残る恵まれた環境にあり、様々な学習での活用が期待される。 ・社会科の学習では身近な事象に対して興味をもち、他者と関わりながら意欲的に取り組む生徒が多い。 ・具体的な事例を取り上げ、課題を追究、解決する過程を重視しながら、基礎的・基本的な知識・技能の定着と活用を図るとともに、他者と関わりながら社会的事象に対して多面的・多角的に考察し表現する活動を重視して、課題を追究し解決する力の育成を図っていききたい。	・高津区は武蔵溝ノ口駅周辺を中心に早くから川崎市中部の商業地として発展してきた。宮前区は多摩丘陵上に位置し、区全域で起伏に富んだ地形である。自然も多く残る地域であるが、近年は開発が進み宅地が増加している。駅を中心とした商業地域が点在し、買い物やレジャーの需要を満たすことができる。また、1300年以上の歴史を誇る影向寺や台地に広がる農地、貝塚や古墳など、社会科の学習で取り上げる素材が豊富で、地域を通して学習を展開することができる。 ・社会科の学習では他者と関わりながら、課題の解決に取り組む授業が大切にされている。 ・社会的事象を身近に感じながら、基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、活用するとともに、他者と関わりながら社会的事象に対して多面的・多角的に考察し表現する活動を重視して、課題を追究し解決する力の育成を図っていききたい。	・川崎市の北部に位置し、多摩川に沿った平地と多摩丘陵にまたがる地域である。緑が豊かであり、農業を営む人々もいる。多摩区には生田緑地があり、歴史と自然に触れあうことができる地域である。住宅地としての開発も進み、他都市からの転入も多い。麻生区のはるひ野駅周辺は自然と調和したまちづくりが進められている。また、新百合ヶ丘駅周辺には大規模な商業施設があり、近年は芸術・文化にかかわる施設も増えていて、さまざまなイベントが催され、芸術のまちとしても発展している。 ・社会科の学習では、課題に対して自分の考えをもち、他者と関わりながら追究する授業が大切にされている。 ・身に付けた基礎的・基本的な知識や技能を活用して自分の考えについて根拠を明確にして表現するとともに、他者と関わりながら社会的事象に対して多面的・多角的に考察し表現する活動を重視して、課題を追究し解決する力の育成を図っていききたい。
川崎の子どもが 学習をすすめて いく上での視点	○社会的事象に関心をもち多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養い、社会的な見方や考え方を成長させることを重視した内容・構成等であること。 ○課題を追究・解決する学習を通して、社会を身近に感じ、社会的事象を解釈・説明したり、自分の考えを論述したりする活動を重視した内容・構成等であること。 ○習得した知識、概念や技能を活用して社会的事象について考えたことを説明したり、議論などを通して考えを深めたりする学習を重視した内容・構成等であること。			

平成28年度使用教科用図書審議結果⑦

社会（公民的分野）

発行者の 番号略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい社会 公民	・基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るために、見開きページの「課題」と「確認」や章末の「この章の学習を確認しよう」で課題を示し、言語活動を促す工夫がされている。 ・現代社会の見方や考え方を活用して考える課題を章末で設定し、自分の考えをまとめたり、説明したりする活動を促す工夫をしている。	・学習指導要領の社会科の目標に示されている「公民的資質の基礎」に関連して、「探求を社会参加につなげる」で、実際に社会参画をしている人々のインタビューを読み、自分にできる社会参加の方法を考える活動などが設けられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項の「言語活動の充実」に関連して、見開きごとに短時間で取り組む「確認」のコーナーが設けられ、導入やまとめの部分、「公民にチャレンジ」などで生徒が主体的に活動する内容が示されている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「道德教育の充実」に関連して「情報社会で注意すべきこと」では「情報モラルに反する行為の例」などを扱い、情報モラルの問題について考える内容を掲載している。	【学び方の定着・学習意欲の向上】 ・見開き2ページで1時間の学習を構成している。左ページの最初に1時間の課題を示し、右ページの下に学習課題に対する振り返りを促すコーナーがある。 【基礎的・基本的な知識・技能の習得】 ・「対立と合意」「効率と公正」について、校庭使用や駐輪場の使用などの事例を取り上げて、4ページにわたって解説したり活動を促したりしている。ここで身に付けた考え方を生かすよう、随所に「効率と公正マーク」を掲載している。 ・「えんぴつマーク」で学習を深めるための活動・作業を促している。 ・「調査の達人」では資料の読み取り、レポートの書き方等の基本的な技能を説明している。 ・「公民にアクセス」のコーナーでは学習内容について説明したり、学習内容に関連する事柄を取り上げたりしている。 ・「日本の領土をめぐる問題の現状」で竹島、北方領土、尖閣諸島の現状を掲載している。 ・「公民にアクセス」のコーナーで集団的自衛権について掲載している。 ・「工場で働く障害のある人たち」のキャプションで川崎市のチョーク製造工場の写真を掲載している。 ・巻末の用語解説の「オンブズパーソン制度」で川崎市を掲載している。 【思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動の充実】 ・「公民にチャレンジ」のコーナーでは、学習内容に沿った事例を取り上げ、調べ活動や話し合い活動を促している。 ・特設ページ「深めよう」では学習内容に応じた資料を掲載し、その中の「トライ」では調べてまとめる活動や話し合い活動を促している。 ・単元末の「この章の学習を確認しよう」では学習したことに関連した問いを設け、自分の考えを説明するようになっている。	【単元構成】 ・各章の導入に3ページ使用している。「第〇章を学ぶにあたって」のコーナーで単元の課題を示している。 ・章末には「この章の学習を確認しよう」を掲載し、課題の解決を行う構成になっている。 【分量・装丁】 ・AB判で247ページである。 ・「再生紙・植物油インキを使用しています」と裏表紙に掲載している。	【読みやすさへの工夫】 ・「全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています」と裏表紙に掲載している。 ・本文中に資料との関連を示す番号や、前出・後出箇所との関連を示す参照ページなどを掲載している。 ・地理・歴史・公民の関連が分かる「分野関連マーク」を取り上げる内容に応じて、掲載している。
17 教出	中学社会 公民 ともに生きる	・単元末の「学習のまとめと表現」、特設ページの「言葉で伝えあおう」等の言語活動を促す課題を配置し、言語活動を日々の授業に効果的に位置付ける工夫を行っている。 ・単元の課題である「章のねらい」や見開きごとの学習課題等の設定、2段階の課題解決や章末のまとめなど、課題を追究し解決する学習を行えるように工夫している。	・学習指導要領の社会科の目標に示されている「公民的資質の基礎」に関連して、多文化共生社会の形成に、主体的に参画する内容の「未来への私の約束」を作成する活動などが設けられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項の「言語活動の充実」に関連して、見開きごとに「ふりかえる」コーナーが設けられ、テーマ学習「言葉で伝え合おう」では、「ディベート」などの表現活動を中心とした活動が設けられている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「道德教育の充実」に関連して「情報化の影響」では「世界とつながることの意味」を扱い、情報を発信する私たちが情報化とどうかかわるのかを考えさせる内容を掲載している。	【学び方の定着・学習意欲の向上】 ・見開き2ページで1時間の学習を構成している。左ページに学習課題を示し、右ページ下の「ふりかえる」で課題の解決を図っている。 ・「ふりかえる」には、主に学習内容を確認する「ステップ1」と言語活動を促す「ステップ2」があり、2段階の構成で課題解決を促している。 【基礎的・基本的な知識・技能の習得】 ・「対立と合意」「効率と公正」について駐車場問題や清掃当番などの事例を取り上げて、4ページにわたって解説したり活動を促したりしている。 ・「読み解こう」のコーナーでは、資料の読み取りや考察の観点を提示している。 ・「公民にアプローチ」では、新聞の活用を取り上げている。 ・「ともに生きる社会をみざして」ではユニバーサルデザインによるまちづくりの例を写真で示し、実際に点字を掲載している。 ・「国際社会を構成する国家」の学習で北方領土、竹島、尖閣諸島について地図と写真を掲載している。 ・特設ページ「読んで深く考えよう」の「国際社会の厳しい現実と平和主義」で集団的自衛権について取り上げている。 ・川崎市の商店街で披露される「韓国・朝鮮の伝統芸能」の写真を掲載している。 ・川崎市が1996年に全国で初めて公務員採用試験の受験資格から国籍条項を外したことを掲載している。 ・川崎市の「外国人市民代表者会議」の仕組みを図で示している。 ・コラムで「川崎市市民オンブズマン制度」を写真入りで紹介している。 ・川崎市で行われた「環境出前授業」の写真を掲載している。 【思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動の充実】 ・「言葉で伝え合おう」ではディベートやプレゼンテーションなど多様な表現活動の課題が提示されている。 ・章末の「学習のまとめと表現」では学習した内容を基にまとめたり、意見交換したりする課題が設けられている。	【単元構成】 ・各章の導入で3ページ使用している。章のねらい(課題)を示している。 ・章末には「学習のまとめと表現」のページを設け、課題の解決を行う構成になっている。 【分量・装丁】 ・AB判で248ページである。 ・「環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しています。印刷においてはバイオマスで発電されたグリーン電力を使用しています」と裏表紙に掲載している。	【読みやすさへの工夫】 ・「色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮してつくられています」と裏表紙に掲載し、「CUD」認証マークを掲載している。 ・本文中に資料との関連を示す番号や、前出・後出箇所との関連を示す参照ページなどを掲載している。

発行者の 番号略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
35 清水	中学 公民 日本の社会と世界	・「もっと知りたい公民」「深める公民」のコーナーなどで学んだことを生かして考える活動や多角的に事象を捉える活動を示している工夫を行っている。 ・編の導入では人物をクローズアップした扉ページを設け、興味関心を引き出す工夫を行っている。巻末には「卒業論文を書いてみよう」のページを設けるなど生徒の主体的な学びに配慮している。	・学習指導要領の社会科の目標に示されている「公民的資質の基礎」に関連して、「未来をつくる君たちへ」で未来の社会に参画する意識を育む「卒業論文を書いてみよう」という活動などが設けられ、テーマの決め方、論文の書き方や調査の仕方などを掲載する工夫を行っている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項の「言語活動の充実」に関連して、「深める公民」や「もっと知りたい公民」などで、様々な資料から多面的・多角的に物事をとらえる活動が設けられている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「道徳教育の充実」に関連して「情報化の進む社会の中で」では「情報社会の落とし穴」や「情報を読む力を養う」という内容を扱い、ネット社会の中で身に付けるべき態度や力について考えるよう促している。	【学び方の定着・学習意欲の向上】 ・見開き2ページで1時間の学習を構成している。左ページに学習目標を掲載している。 【基礎的・基本的な知識・技能の習得】 ・「対立と合意」「効率と公正」について「体育館の使用」を例にして2ページにわたって解説している。 ・各編の終わりに基本事項のまとめがある。 ・「知識」のコーナーでは、本文で取り上げている学習内容に関連する資料や条文などを掲載し、解説している。 ・特設ページの「もっと知りたい公民」では、本文で取り上げた事象について多角的に考えていくための図版や写真を掲載し、解説している。 ・特設ページの「深める公民」では、学習に関連するテーマを掘り下げて解説し、広い視野から事象について考え、知識の定着を図るようにしている。 ・「コラム」では学習内容に関連する実例などを取り上げて紹介している。 ・キャラクターのセリフを用いて、資料の読み取り方を示したり、活動を促したりしている。 ・「国際政治と法」の学習でのコラム「日本の領土問題」で北方領土と竹島について掲載し、脚注で尖閣諸島について掲載している。 ・「深める公民」の「選挙をめぐる問題」のページで選挙権年齢の引き下げについて取り上げている。 ・川崎市の「民族文化講師ふれあい事業」を掲載している。 ・環境保全に関する「多摩川の水質改善」を掲載している。 【思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動の充実】 ・「調査」のコーナーでは、本文で取り上げた学習内容への理解を深めるために、調査対象を例示するなどして調べたり話し合ったりする視点を示している。 ・「深める公民」では現代社会に起きている具体的な事例を示して、考え話し合う活動が示されている。 ・まとめのページには学習した用語について説明する活動を示している。	【単元構成】 ・編の導入に1ページ使用している。学習内容に関連する人物を取り上げ、生涯や活動を解説して単元の見通しをもたせる工夫をしている。 ・編の終わりに編全体を振り返るまとめのページを掲載している。 【分量・装丁】 ・B5判で216ページである。 ・「再生紙および一部に環境に配慮したインキを使用しています」と裏表紙に掲載している。	【読みやすさへの工夫】 ・「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン」の文字を使用しています」と裏表紙に掲載している。 ・巻末の「現代社会のうごき」では、現代の諸課題について年表と写真で示している。 ・本文中に前出・後出箇所との関連を示す参照ページを掲載している。
46 帝国	社会科 中学生の 公民 より良い社会をめざして	・現実の社会と学習内容が結びつくように、「学習の前に」の見開きページで身近な事例を取り上げて社会とのかかわりを意識させるとともに学習の見通しをもたせる工夫をしている。 ・「トライアル公民」などで本文の理解を助けるための資料提示やコーナーを豊富に設け、多角的に社会的事象に迫ることができるように配慮されている。	・学習指導要領の社会科の目標に示されている「公民的資質の基礎」に関連して、地方公共団体や国の取組事例を提示し、未来の社会に対して参画する「未来に向けて」という活動などが設けられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項の「言語活動の充実」に関連して、見開きごとに学習内容を踏まえて自分の考えを説明する学習課題「説明しよう」コーナーが設けられ、「トライアル公民」や「未来に向けて」などで活動が設けられている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「道徳教育の充実」に関連して「情報化が進む現代」では「情報化社会で生きるために」の中で、他人の権利に配慮する情報モラルなどを掲載している。	【学び方の定着・学習意欲の向上】 ・見開き2ページで1時間の学習を構成している。左ページに学習課題を設け、右ページの「確認しよう」「説明しよう」で解決する構成になっている。 ・「確認しよう」では、主に学習内容を確認する活動を示し、「説明しよう」では学習内容について説明を促す活動を示していて、2段階の構成で課題解決を促している。 【基礎的・基本的な知識・技能の習得】 ・「対立と合意」「効率と公正」についてマンションを例に挙げて4ページにわたって解説したり活動を促したりしている。 ・大切な用語を説明した「解説」のコーナーを脚注に設けている。 ・「資料活用」で資料を読み取る視点や活動を示している。 ・「羅針盤マーク」のコーナーでは現在の社会で話題となっている事象について取り上げ解説している。 ・「領土をめぐる問題」のページで北方領土、竹島、尖閣諸島について掲載している。合わせて「クローズアップ」で尖閣諸島について解説している。 ・「国際社会における日本の役割」の中の「解説」で集団的自衛権について説明している。 ・環境問題の視点で多摩川の保全活動を掲載している。 ・オンプズマンの解説で、川崎市で最初に作られたことを掲載している。 ・「障がいがあっても働ける場を」のコラムで、雇用促進の例として川崎市の事業所を掲載している。 【思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動の充実】 ・「トライアル公民」のページで自分の意見をまとめたり、様々な立場から話し合ったりする活動を促している。 ・単元末の「学習をふりかえろう」では「説明しよう」で問いを掲載し、学習したことを生かして考え、説明する活動を促している。	【単元構成】 ・単元導入で3ページ使用している。「学習の前に」のページでイラストや写真などを掲載して単元の概要を紹介している。 ・単元の終わりに「学習をふりかえろう」という復習のページを掲載し、単元のまとめを行えるようにしている。 【分量・装丁】 ・AB判で232ページである。 ・「環境にやさしい再生紙・ライスインクを使用しています」と裏表紙に掲載している。	【読みやすさへの工夫】 ・「カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮しています」と裏表紙に掲載している。 ・本文中に資料との関連を示す番号や、前出・後出箇所との関連を示す参照ページなどを掲載している。 ・「地理、歴史をふりかえる」のマークを示し、既習事項を明記している。

発行者の 番号略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	中学社会 公民的分野	・「ナビ」「チャレンジ公民」「アクティビティ」等、多様なコーナーや特設ページを設け、興味・関心を高め、多角的に社会事象を見つめて学習に取り組めるような配慮がされている。 ・基礎的・基本的な知識の確実な定着をめざし、章末の「学習の整理と活用」では、用語の確認や関連ページの振り返りなど、本文の掲載に振り返って考えることを促す構成がとられている。	・学習指導要領の社会科の目標に示されている「公民的資質の基礎」に関連して、「明日に向かって」では裁判員裁判シミュレーションや年金シミュレーション、金融スキルアップなど、社会参画や貢献についての活動などが設けられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項の「言語活動の充実」に関連して、見開きごとの「学習の活用」、「アクティビティ」や「チャレンジ公民」、「考えよう」「伝えよう」などの活動が設けられている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「道德教育の充実」に関連して「ネット社会とつき合う方法」ではネット社会の問題点や「私たちと身近な情報モラル」を扱い、情報を取り扱うときの適正な考え方と態度を考えさせる内容を掲載している。	【学び方の定着・学習意欲の向上】 ・見開き2ページで1時間の学習を構成している。左ページに学習課題、右ページに「学習の確認と活用」を掲載して、課題を解決する流れになっている。 ・「学習の活用と確認」の「確認」では、主に学習内容を確認する活動を示し、「活用」では学習内容について説明を促す活動を示して、2段階の構成で課題解決を促している。 【基礎的・基本的な知識・技能の習得】 ・「対立と合意」「効率と公正」について「体育館の使用」「掃除当番」などの例で4ページにわたって解説したり活動を促したりしている。 ・「アクティビティ」では資料活用や調査活動などの技能について紹介している。 ・「情報スキルアップ」では情報の読み取りや活用の時に必要な知識・技能を紹介している。 ・「公民タイムトラベル」では具体的な事例を示して、地理的分野と歴史的分野との連携を示している。 ・「公民＋α」のコーナーでは学習内容に関する事柄についてさらに説明を加えている。 ・「日本の領土をめぐる問題」のページで北方領土、竹島、尖閣諸島について取り上げている。 ・「日米安全保障条約と日本の国際貢献」のページで集団的自衛権について取り上げている。 【思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動の充実】 ・「読み取ろう・考えよう・伝えよう」は、資料から読み取ったことを思考・判断・表現する活動を示している。 ・「明日に向かって」では生徒自身の社会参画において意識すべき課題と現在の取り組みなどが示され、考えるきっかけになっている。 ・「チャレンジ公民」では身近な問題に対して考えたりこれからの政策について考えたりする活動を示している。 ・単元末の「学習の整理と活用」では、「合意を考えるための問題」を掲載し、学習したことを生かして考え、説明を促す活動などを示している。	【単元構成】 ・編の導入で3ページ使用している。学習内容を概観する「ナビ」を掲載し、学習内容についての説明や投げかけを行っている。 ・章末ごとに「学習の整理と活用」があり、章の学習内容を振り返る構成になっている。 【分量・装丁】 ・AB判で249ページである。 ・「植物油インキと再生紙を使用しています」と裏表紙に掲載している。	【読みやすさへの工夫】 ・「この教科書はカラーユニバーサルデザインに配慮しています」と裏表紙に掲載している。 ・本文中に資料との関連を示す番号や、前出・後出箇所との関連を示す参照ページなどを掲載している。
225 自由社	新しい公民教科書	・教育基本法及び学習指導要領で示された「愛国心」「公共の精神」の涵養に重点をおいた内容構成となっている。 ・基礎的・基本的事項の定着を図るために、「ここがポイント！」では学習内容を確認し、単元末の「学習のまとめと発展」では取り上げた用語について再確認したり、学んだことを生かして考えたりする活動を示すなどの工夫を行っている。	・学習指導要領の社会科の目標に示されている「公民的資質の基礎」に関連して、終章では公民で学習した知識を活用して、現代の社会で起きているさまざまな問題について、自分の考えをまとめて発表する「レポートと卒業論文をつくろう」という活動が設けられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項の「言語活動の充実」に関連して、各章の最後に「学習の発展」で自ら課題を選んで400字以内でまとめる活動が設けられている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「道德教育の充実」に関連して「情報化の影響」では情報化の便利さが人間相互の関係を弱めたりネット犯罪やいじめが発生したりしていることを指摘し、情報機器の正しい使い方と情報への接し方を学ぶ必要性を説いている。	【学び方の定着・学習意欲の向上】 ・見開き2ページで1時間の学習を構成している。左ページには問いを掲載し、右ページ下にある「ここがポイント！」で、問いに対するまとめの内容を文章で示している。 【基礎的・基本的な知識・技能の習得】 ・「対立と合意」について「学校生活での対立と合意」として、体育館の使用についてコラムで取り上げている。 ・「効率と公正」について利益社会と共同社会を例に半ページで説明している。 ・各ページの「ここがポイント！」では学習内容の確認を行っている。 ・「ミニ知識」では学習で取り上げる事項について説明したり補完したりしている。 ・「もっと知りたい」では、学習した内容と関連する事象について見開き2ページで紹介している。序章では芸術や文化、情報化を扱っている。 ・第1章以降の「もっと知りたい」では選挙制度、年金、日本人拉致問題などを扱っている。 ・「我が国の領土に関する問題」では北方領土、竹島、尖閣諸島などについて取り上げている。 ・最終ページの見開きの「我が国の領域」では日本地図と日本の水域を示し、北方領土、竹島、尖閣諸島、沖ノ鳥島の場所と写真を示している。 ・「自衛隊と日米安全保障条約」のページで集団的自衛権について取り上げている。 【思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動の充実】 ・終章では「課題の探求」として「レポートと卒業論文を作ろう」「ディベートをやってみよう」「ディベート実践例」などを掲載し、まとめ方や話し合いの仕方などの言語活動を促している。 ・各章の終わりの「学習のまとめと発展」では、各章の学習の重要語句について確認したり、課題を選んで文章にまとめたりする活動を掲載している。	【単元構成】 ・各章の扉には1ページを使い、章の学習内容に応じた投げかけを掲載し、学習の視点を示している。 ・章末には「学習のまとめと発展」があり、「学習のまとめ」では各章で学習したことを再確認し、「学習の発展」で発展的な内容を扱うようになっている。 【分量・装丁】 ・B5判で224ページである。	【読みやすさへの工夫】 ・章ごとに色使いや背景の色を統一している。 ・ページ数の背景色を章ごとに色分けしているの で、インデックスの役割を果たしている。 ・表紙裏では、LED照明や光触媒など、日本の技術力の高さを実物の写真を掲載して紹介している。

発行者の 番号略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
227 育鵬社	[新編]新しいみんなの公民	・基礎的・基本的な知識と見方や考え方の基礎を確実に定着させるため、用語の意味を理解するとともに、それらを活用して考えたり、説明したりする力の育成に重点をおいた内容構成となっている。 ・「我が国の伝統と文化の尊重」「自分の立ち位置を知る」ことに重点を置き、自分の人生と社会のかかわりに関することを掲載するなどの工夫を行っている。	・学習指導要領の社会科の目標に示されている「公民的資質の基礎」に関連して、「人生のモノサシ」で「学校教育の時代」「社会人の時代」「親の時代」と「公民教科書との関連」を示し、「自分の過去・現在・未来シート」を作成する活動などが設けられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項の「言語活動の充実」に関連して、各章の導入で、ディベートなどの活動を取り入れ、単元の最後には、その章に関するまとめの活動が設けられている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「道德教育の充実」に関連して「情報社会と私たちの生活」では、情報化が進展していく社会だからこそ、情報モラルを身につけるとともに、人間どうしや自然との触れ合いを大切にする重要性を指摘している。	【学び方の定着・学習意欲の向上】 ・見開き2ページで1時間の学習を構成している。左ページには「学習のねらい」を示し、右ページの下に課題の解決を促すマークと文章を掲載している。 【基礎的・基本的な知識・技能の習得】 ・「対立と合意」「効率と公正」について「劇の配役決め」を具体例に取り上げ、2ページにわたって説明したり活動を促したりしている。 ・「指マーク」では、取り上げた事象に関連する言葉の説明や補足の資料を紹介している。 ・「理解を深めよう」のコラムでは取り上げた事象に関する補足説明や人物の紹介などを行っている。 ・「本マーク」で関連する法律や条約などを紹介している。 ・北方領土、竹島、尖閣諸島について「国家とは何か」の本文で扱い、さらに見開き2ページのコラム「領土を取り戻す、守るということ」でも、歴史的経緯や写真を掲載して説明している。 ・「平和主義」の学習で、集団的自衛権について脚注で取り上げている。 ・川崎市での拉致問題の早期解決を求める署名活動の写真を掲載している。 ・渋沢栄一賞受賞者の一人として川崎市の日本理化学工業会長の大山泰広氏と日本理化学工業の写真を掲載している。 【思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動の充実】 ・「考えよう」では現代の課題に結びつく事例を取り上げ、考える活動を促している。 ・巻末にある「社会科のまとめ」ではレポート作成やプレゼンテーションの仕方を掲載している。 ・各章の導入に「〇〇の入り口」を設けて、イラスト等を使い、言語活動に入りやすくする工夫がされている。 ・「やってみよう」では学習内容に関連した事柄について紹介し、話し合い活動を示したり、ロールプレイを促したりしている。 ・単元末の「学習のまとめ」では学習内容を振り返って、自分の考えをまとめたり、意見を考えたりする活動を促している。	【単元構成】 ・各章の導入で3ページ使用している。「〇〇の入り口」を設けて、イラスト等を使い、章の課題を示している。 ・章末の「学習のまとめ」では、章で取り上げた学習内容について振り返る構成になっている。 【分量・装丁】 ・AB版で248ページである。 ・「環境に配慮し植物油インキで印刷しています。また、本文用紙の一部には再生紙を使用しています。」と裏表紙に掲載している。	【読みやすさへの工夫】 ・本文中に前出・後出箇所との関連を示す参照ページを掲載している。 ・資料には指示したり確認したりしやすいように番号が振ってある。 ・巻頭に「自分の過去・現在・未来シート」を配置し、現代社会の事象とのかかわりを意識しやすいようにしている。

平成28年度使用
教科用図書審議結果
【中学校社会（地図）】

（⑦）

社会(地図) 2種

[illegible]

地図

	第1地区の特性	第2地区の特性	第3地区の特性	第4地区の特性
教科から見た 各地区の特性	・市の南部に位置し、多摩川と東京湾に面した地域である。川崎駅周辺には市役所など公共施設や繁華街があり、臨海部には京浜工業地帯が広がっている。工業を中心とした生産活動が盛んで、地域の中小工場をはじめ大規模な製鉄工場、ライフサイエンスなどの新産業を創出すべく殿町地区に展開する「キングスカイフロント」などがある。また、旧東海道の名残を感じさせる史跡、川崎大師や稲毛神社など歴史を伝える建造物などがある。歴史と最新技術を地域で感じることができる。 ・社会科の学習では、身近な事象や時事的な事柄に関心を示し学習に取り組む生徒が多い。 ・身近な事象を取り上げて、課題を設定して追究しながら、学び方を学び、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、他者と関わりながら社会的事象に対して多面的・多角的に考察し表現する活動を重視して、課題を追究し解決する力の育成を図っていききたい。	・川崎市のほぼ中央部に位置し、比較的平坦な地形の地域である。JR南武線、横須賀線と東急東横線、目黒線などが交差している。商業地と住宅地が混在し、近年は武蔵小杉駅周辺を中心にした新しいまちづくりが進んでいる。タワーマンションの建設等もあり、人口が増え、中原区は市内で最も人口が多い。大学や大企業の研究開発機関が集まっている地域でもある。また、古くからの町並みや歴史的文化財も残る恵まれた環境にあり、様々な学習での活用が期待される。 ・社会科の学習では身近な事象に対して興味をもち、他者と関わりながら意欲的に取り組む生徒が多い。 ・具体的な事例を取り上げ、課題を追究、解決する過程を重視しながら、基礎的・基本的な知識・技能の定着と活用を図るとともに、他者と関わりながら社会的事象に対して多面的・多角的に考察し表現する活動を重視して、課題を追究し解決する力の育成を図っていききたい。	・高津区は武蔵溝ノ口駅周辺を中心に早くから川崎市中部の商業地として発展してきた。宮前区は多摩丘陵上に位置し、区全域で起伏に富んだ地形である。自然も多く残る地域であるが、近年は開発が進み宅地が増加している。駅を中心とした商業地域が点在し、買い物やレジャーの需要を満たすことができる。また、1300年以上の歴史を誇る影向寺や台地に広がる農地、貝塚や古墳など、社会科の学習で取り上げる素材が豊富で、地域を通して学習を展開することができる。 ・社会科の学習では他者と関わりながら、課題の解決に取り組む授業が大切にされている。 ・社会的事象を身近に感じながら、基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、活用するとともに、他者と関わりながら社会的事象に対して多面的・多角的に考察し表現する活動を重視して、課題を追究し解決する力の育成を図っていききたい。	・川崎市の北部に位置し、多摩川に沿った平地と多摩丘陵にまたがる地域である。緑が豊かであり、農業を営む人々もいる。多摩区には生田緑地があり、歴史と自然に触れあうことができる地域である。住宅地としての開発も進み、他都市からの転入も多い。麻生区のはるひ野駅周辺は自然と調和したまちづくりが進められている。また、新百合ヶ丘駅周辺には大規模な商業施設があり、近年は芸術・文化にかかわる施設も増えていて、さまざまなイベントが催され、芸術のまちとしても発展している。 ・社会科の学習では、課題に対して自分の考えをもち、他者と関わりながら追究する授業が大切にされている。 ・身に付けた基礎的・基本的な知識や技能を活用して自分の考えについて根拠を明確にして表現するとともに、他者と関わりながら社会的事象に対して多面的・多角的に考察し表現する活動を重視して、課題を追究し解決する力の育成を図っていききたい。
川崎の子どもが 学習をすすめて いく上での視点	○社会的事象に関心をもち多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養い、社会的な見方や考え方を成長させることを重視した内容・構成等であること。 ○課題を追究・解決する学習を通して、社会を身近に感じ、社会的事象を解釈・説明したり、自分の考えを論述したりする活動を重視した内容・構成等であること。 ○日本や世界に見られる諸事象を位置や空間的な広がりとのかわりで捉え、それらを多面的・多角的に考察するなどの学習活動を重視した内容・構成等であること。			

平成28年度使用教科用図書審議結果⑦

地図

発行者の番号 略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい社会 地図	・複数の地図や資料図から読み取ったことを比較、関連しながら考察し、より広い視野から各地域の特色をとらえる力を身に付けようとする工夫をしている。 ・生徒が興味や関心をもって学習に取り組めるように、資料や地図に読み取りの観点を示し、資料をもとに課題解決的な学習に取り組めるように配慮している。	・学習指導要領の社会科の目標に示されている「我が国の国土と歴史に対する理解と愛情」に関連して、歴史的事項を中心にした地図が掲載されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「伝統や文化」に関連して、世界の住居や祭りの写真が掲載されている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「道徳教育の充実」に関連して「日本によるODA(政府開発援助)」の中で日本の国際協力の取組を掲載している。	【学び方の定着・学習意欲の向上】 ・記号凡例について1ページ、地図帳の使い方について2ページを使って説明している。 ・使い方については、実際の地図を例示して、キャラクターの会話と文字の説明を中心にして説明している。 ・「さくいん」のページの使い方について例を挙げて説明している。 ・使い方のページには「歴史や公民でも利用しよう」と示し、3年間の社会科学習でいつも地図帳を活用するよう呼びかけている。 ・各地域の地図に「注目したい記号」を示していて、読み取りの視点を表している。 【基礎的・基本的な知識・技能の習得】 ・土地利用図と陸高・水深の凡例を「この地図帳の地図記号」のページに掲載している。 ・資料や主題図でキャラクターを配置し、読み取りの視点をセリフで示している。 ・世界の住居や食文化について世界地図で分布を示し、写真入りで説明している。 ・世界の宗教のページでは、建築物の写真や宗教の伝播の道筋、宗教分布を世界地図で表している。 【地理的分野以外での活用】 ・世界の諸地域の地図では「主な世界遺産」、「主な歴史の舞台」のマークを掲載し、日本の地方の地図では「世界遺産の登録地」「ラムサール条約登録地」「世界ジオパークの認定地」「主な歴史の舞台」のマークを掲載しているため、歴史的分野や理科の学習に活用できる。 ・火山や地震、津波などの「日本の自然環境」についての主題図や写真等は、公民的分野や理科で利用できる。 【言語活動の充実】 ・キャラクターが疑問を投げかけたり、二つの主題図を比較して考えるように呼びかけたりして活動を促している。	【構成の工夫】 ・一般図(州、地方等)については、目的に応じて3500万分の1から50万分の1まで縮尺を変えて掲載している。 ・日本全図は550万分の1の縮尺で3ページを使って表している。 ・最終ページ見開きに、日本全図と共に東西南北端の写真と解説を載せている。竹島・尖閣諸島についても掲載している。 【分量・装丁】 ・巻末の統計では、世界の国別統計は11項目、都道府県別統計は19項目掲載している。 ・AB判で184ページである。 ・「再生紙・植物油インキを使用しています」と裏表紙に掲載している。	【読み取りやすさへの工夫】 ・全体的に落ち着いた色で構成している。 ・写真や絵、グラフ、図や表を掲載してイメージしやすくしている。一般図に合わせて拡大図を掲載しているページもある。 ・世界の州の地図では鳥瞰図を掲載し、土地や水深の高低を示している。 ・統計表の数値の最高値・最低値が見やすいようにマーカーで色分けしている。 ・巻末に都道府県の区分を掲載している。
46 帝国	中学校 社会科地図	・地図活用の技能が習得できるように、地図帳の使い方や地図を見るとき観点、活用する方法を具体的に説明している。地誌学習に対応した説明も事例を示しながら具体的に扱っている。 ・地域の特色を視覚的に捉え、大観できるように、各地域の地図に「調べる視点」や「考えること」などを配置し、生徒の「気付き」や「発見」を導くような工夫をしている。	・学習指導要領の社会科の目標に示されている「我が国の国土と歴史に対する理解と愛情」に関連して、各地域の「ながめてみよう」で自然・産業・くらしについて地図やイラストが掲載されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「伝統や文化」に関連して、世界の住居や衣装の写真が掲載されている。 ・学習指導要領の主な教育内容の改善事項である「道徳教育の充実」に関連して「アフリカのモノカルチャー経済」の中で諸外国が抱える課題について考える機会が設けられている。	【学び方の定着・学習意欲の向上】 ・記号凡例について1ページ、地図帳の使い方について2ページを使って説明している。 ・使い方については自然、産業、歴史・文化を調べる際の例として取り上げ、実際の地図を例示して説明している。 ・北陸3県を例に自然、人口、産業に着目した地図の読み方を1ページ設けて例示している。地名について調べるときに「さくいん」を活用することも示している。 ・一般図にある「地図を見る目」では地図の見方の視点を示し「やってみよう」では、地図に合わせて「さくいん」を用いたり着目すべき点を示したりしている。 【基礎的・基本的な知識・技能の習得】 ・水深と土地の高さを示す凡例はすべての地方の地図に、土地利用を表す凡例は日本の地方の地図に掲載している。地図帳の使い方のページで水深、土地利用の凡例を示している。 ・世界の住居や食文化について世界地図で分布を示し、写真入りで説明している。 ・世界の宗教のページでは、建築物の写真や宗教の分布を世界地図で表している。世界のあいさつの例も掲載している。 【地理的分野以外での活用】 ・世界の諸地域の地図では「主な世界文化遺産」、「主な世界自然遺産」「主な世界複合遺産」「主なラムサール条約登録湿地」のマークがあり、日本の地方の地図では「世界文化遺産」「世界自然遺産」「ラムサール条約登録湿地」「貴重な動植物」「天然記念物」のマークがあるので歴史的分野や理科の学習に活用できる。 ・旧五街道や昔の街道の様子イラストなどを掲載していて歴史的分野で活用できる。 【言語活動の充実】 ・「地図を見る目」や「やってみよう」で調べる活動や考える活動を促している。	【構成の工夫】 ・一般図(州、地方等)については、目的に応じて3500万分の1から50万分の1まで縮尺を変えて掲載している。 ・日本全図は400万分の1の縮尺で折込6ページで表している。 ・日本全図に合わせて尖閣諸島、竹島、国後島の写真と解説を掲載している。 【分量・装丁】 ・巻末の統計では、世界の国別統計は12項目、都道府県別統計は31項目掲載している。 ・AB判で176ページである。 ・「環境にやさしい再生紙・植物油インキを使用しています」と裏表紙に掲載している。	【読み取りやすさへの工夫】 ・全体的に明るい色で構成している。 ・写真や絵、グラフ、図や表を掲載してイメージしやすくしている。一般図に合わせ拡大図や模式図を掲載しているページもある。 ・世界の州の地図では鳥瞰図を掲載し、土地の高低を示し、文化遺産や作物などをイラストで示している。 ・統計表の数値の最高値・最低値が見やすいように数値を色分けしている。 ・文字の「とめ」「はね」を正しい字形で表している。

平成28年度使用
教科用図書審議結果
【中学校国語】

(⑦)

国語 5種

発行者の番号略称	書名
2 東書	新編 新しい国語
11 学図	中学校国語
15 三省堂	現代の国語
17 教出	伝え合う言葉 中学国語
38 光村	国語

平成28年度使用教科用図書審議結果 ⑦

国語

	第1地区の特性	第2地区の特性	第3地区の特性	第4地区の特性
教科から見た 各地区の特性	・川崎市の南部、臨海部に位置し、江戸時代から宿場町として開けていたところである。川崎市役所や区役所の他に、教育文化会館や裁判所、税務署など、市や県の公共施設が集まっている。初詣でにぎわう川崎大師を中心に、門前町が開けている。一方、大きなマンションが建築され、人口が増えている。 ・生徒は、物怖じせずに新しいことにチャレンジするなど、素直で、子どもらしい発想をする子が多い。人懐こいところもある。 ・学習への集中力の向上に対応し、思考力・判断力・表現力等を育むためには、生徒に見通しをもたせて計画的に学習を進めるとともに、興味を引く題材を扱うなど学習者の意欲を高める言語活動を展開するなどの工夫が必要である。また、正しい意味を知らずに言葉を使うことが見られるため、語彙を豊かにするという意味からも日常的な読書の習慣と目的に応じて本を選んだり活用したりする力を育成したい。	・川崎市中部に位置しており、夢見ヶ崎動物公園、等々力緑地、等があり、古くからの町並みや歴史的文化財も数多く残っている。また、市民ミュージアム等の文化施設やとどろきアリーナ、等々力競技場などのスポーツ施設が充実し、見学者も多い。近年、大型マンションが建ち並び、他地域からの転入も増えている。 ・生徒は、明るくのびのびと生活している子が多い。自分の考えや思いをよく話すなど、素直に伝えようとする姿が見られる。 ・学力の個人差に対応し、思考力・判断力・表現力等を育むためには、生徒に見通しをもたせて計画的に学習を進めるとともに、学習者にとっての目的意識が明確な言語活動を展開するなどの工夫が必要である。また、読書に興味をもっていることを生かして、目的に応じて本を選んだり活用したりする力と日常的な読書の習慣を育成したい。	・川崎市のほぼ中央に位置した緑豊かな地域で、自然を生かした大きな公園や歴史的に価値ある古墳、貝塚、寺などがある。その中で、昨年、橘樹官衙遺跡群が、川崎市初の国史跡に指定された。教育に関心が高く、学習塾に通わせる家庭が多い。 ・生徒は比較的落ち着いている。自分の考えや思いをよく話すことができる。また、知識が豊富であり、基礎的・基本的な内容の定着については、比較的よい状況である。 ・学習に対しての意欲が高く、授業にも積極的に取り組んでいる。 ・自ら考えて課題を解決する力の育成を図り、思考力・判断力・表現力等を育むために、生徒に見通しをもたせて計画的に学習を進めるとともに、実生活と学習者をつなぎ、考えを深めるための言語活動を展開する工夫が必要である。また、読書に意欲的であることを生かして、目的に応じて本を選んだり活用したりする力と日常的な読書の習慣を育成し	・自然豊かな多摩丘陵に位置する地域であるが、生田緑地付近には、日本民家園、岡本太郎美術館、藤子・F・不二雄ミュージアム、かわさき宙と緑の科学館などがある。近年都市化が加速し、大型マンションが建ち並び、他地域からの転入も増えてきている。教育に対する関心が高く、学習塾に通わせる家庭が多い。 ・生徒は、自然に恵まれた環境の中でのびのびと育った子が多い。真面目な態度で人と接し、素直である。 ・学習に対して高い意欲を見せるが、学力の個人差がある。それに対応し、思考力・判断力・表現力等を育むためには、生徒に見通しをもたせて計画的に学習を進めるとともに、知識・技能を活用して課題を解決し、相互に考えを交流する言語活動を展開するなどの工夫が必要である。また、読書に意欲的であることを生かして、目的に応じて本を選んだり活用したりする力と日常的な読書の習慣を根付かせていきたい。

川崎の子どもが 学習をすすめて いく上での視点	○自ら学び、課題を解決していく能力を育成するために、見通しや振り返りなど学習過程の明確化を重視した内容・構成等であること。 ○話すこと・聞くこと、書くこと、読むことの各領域で、学習指導要領に示された言語活動例や、伝統的な言語文化の教材例が適切に取り上げられており、読書活動の充実や漢字指導の内容の改善を重視した内容・構成等であること。
-------------------------------	---

平成28年度使用教科用図書審議結果 ⑦

国語

発行者 の番号 略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との 関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編新しい国語 1 新編新しい国語 2 新編新しい国語 3	・「言葉の力」をしっ かり鍛え、身に付け ること、知性と感性 を豊かにすること、 生徒が主体的に学 べること、などを基 本方針として編集 されている。 ・言葉の力を身に 付けるために、学 習活動で身に付け たポイントを「言葉 の力」として明確に 示し、全体として は、伝統文化への 理解、情報化に向 けたメディアリテラ シー、論理的、批 判的に考え、説得 力をもって伝える力 を磨くなどの視点 で編集が工夫され ている。	・学習指導要領の国 語科の目標である「国 語を尊重する態度」に 関連して、作品のもと になった古典作品と読 み比べる教材「形」が 取り上げられている。 ・学習指導要領の教 育内容の主な改善事 項である「伝統や文 化」に関連して、伝統 芸能について考える 教材「落語の秘密」が 取り上げられている。 ・学習指導要領の教 育内容の主な改善事 項である「道徳教育の 充実」に関連して、目 標に向かって勇気を もって充実した生き方 を追求することを描い た教材「さんちき」が取 り上げられている。	【学習過程の明確化・学習意欲】 ・巻頭には掲載順の目次のほかに、領域と学習のねらいを示した目次と学習の進め方、教科書の使い方が示されている。 ・1年間の流れが折込1ページ(B4)にまとめられている。 ・「話すこと・聞くこと」では、教材の冒頭に目標が示され、学習の流れが図で示されている。 ・「書くこと」では、各教材冒頭に目標が示され、学習の流れも図で示されていて、最後に振り返りが示されている。 ・「読むこと」では、目標が教材冒頭に示されている。教材の後の「てびき」にも示され、学習活動の指示も示されている。それらを確認して学習の見通しがもてるようになっている。 ・学習過程が示され、各単元、領域ごとに学習目標や振り返りが明確に示されている。 【思考力・判断力・表現力等の育成、言語活動の充実】 ・「言葉とメディア」で情報についての教材が載っている。 ・「話すこと・聞くこと」では、「グループディスカッション」「リンクマップによる話し合い」「チャート式討論」と話し合う教材を取り上げている。 ・「書くこと」では、1・2年に6例、3年に4例、言語活動が示されている。 ・「読むこと」では、「朗読する」「書き方の工夫されているところを発表する」「構成について話し合う」などの活動が示されている。 【伝統的な言語文化に関する指導重視】 ・3年間で学ぶ古典作品が一覧で紹介されている。 ・伊曽保物語(仮名草子)、枕草子(随筆)、平家物語(軍記)、おくのほそ道(紀行文)、など多岐のジャンルから本文を選んでいる。 ・「古典芸能に親しもう」で、能・狂言・浄瑠璃・歌舞伎が紹介されている。 【読書活動の充実】 ・教材の最後に、本文と関連した本が表紙の写真付きで紹介されている。 ・「本で世界を広げよう」「本と出会おう」など、多種多様な「読書案内」があり、紹介文と写真で示されている。 ・「日本の名作を読もう」で名作の冒頭が紹介されている。	【構成】 ・学年分冊、単元は学習順に配列さ れている。 ・本編、基礎編、資料編からなっ ている。 ・巻末には「保護者の皆様へ」という メッセージが掲載されている。 ・各単元扉に季節の短歌を紹介して いる。 【分量】 ・1024ページ。 【装丁】 ・判型はB5判である。 【漢字の扱い】 ・新出漢字は教材の脚注または教 材の末に読みと用例が示されてい る。巻末には、部首、画数、筆順な どが提出順に配列され新出漢字一 覧がある。 【資料】 ・資料は精選されている。文章や単 元に合わせて掲載されており、「言 葉」「語彙」に関する資料ページがあ る。	【表記・表現】 ・「全ての生徒の色覚特性に 適応するようにデザインして います。」と表記されている。 ・中学生が読んで理解しやす い言葉で示されている。 ・領域を表すマークが使用さ れている。 【写真・図版】 ・古典では美しい写真資料が 豊富であり、文章や単元に合 わせて掲載されているが、説 明文の中の図表がやや少な い。 ・大単元の扉のページは詩と 絵が掲載されている。
11 学図	中学校国語 1 中学校国語 2 中学校国語 3	・21世紀に必要な 国語力・読解力・思 考力の養成、主体 的に意欲をもてる 教材を提示し、学 習目標や到達段階 の明確化と学習内 容の段階的な発展 などに留意して編 集されている。生き る力を育むために、 基礎的な言語能力 の習得、習得した 言語能力を活用 し、思考力、判断 力、表現力を高め る工夫がされてい る。また、交流や共 有を軸とする言語 活動を通じて思考 力や想像力を段階 的に発展させてい くために教材配置 と課題設定に工夫 がある。	・学習指導要領の国 語科の目標である「国 語に対する認識」に 関連して、言葉を通 して相互に理解を深 めることを考えさせ る教材「言葉の共有」 が取り上げられてい る。 ・学習指導要領の教 育内容の主な改善事 項である「言語活動」 に関連して、印象的 なキャッチコピーを 考える教材「私のブ ックデザイン」が取 り上げられている。 ・学習指導要領の教 育内容の主な改善事 項である「道徳教育 の充実」に関連して、 異なる立場のものの 見方や考え方を理 解し、新聞記事に まとめる教材「隠 れた世界を知る」 が取り上げられて いる。	【学習過程の明確化・学習意欲】 ・巻頭には、掲載順の目次がついている。 ・大単元の扉に、単元の目標が示され、最初の教材には、読む視点での問いが、青い丸で本文につけられている。また、教材の冒頭に目標を明示している。 ・「話すこと・聞くこと」では、教材の冒頭に学習の流れが図で示されている。 ・「書くこと」では、各教材冒頭に学習の流れが図で表され、学習後に振り返りが示されている。 ・「読むこと」では、目標が教材冒頭に示されている。教材の後の「学びの窓」には、学習活動の指示が示されている。それらを確認して学習の見通しがもてるようになっている。また、「ついた力を確かめよう」で学習でついた力を確認できる。 【思考力・判断力・表現力等の育成、言語活動の充実】 ・「情報と表現」で情報についての教材が載っている。 ・目標にあわせて選択できる文章が掲載されており、詩や物語、国際化社会を意識した作品など、内容が多岐にわたっていて、生徒の興味に即した教材が掲載されている。 ・「話すこと・聞くこと」では「対立した立場で意見を深める(ディベート)」「グループ・ディスカッション」と話し合う教材を取り上げている。 ・「書くこと」では、全学年2例ずつ言語活動が示されている。 ・「読むこと」では、「朗読する」「作者の執筆の意図を考える」「批評する」などの活動が示されている。 【伝統的な言語文化に関する指導重視】 ・宇治拾遺物語(説話)、枕草子(随筆)、平家物語(軍記)、おくのほそ道(紀行文)、など多岐のジャンルから本文を選んでいる。 ・現代文を交えながら「姫の物語? 翁の物語? 一竹取物語」では長めの古文が掲載されている。 【読書活動の充実】 ・教材の最後に、「読書に広げるために」で本文と関連した本が表紙の写真付きで紹介されている。 ・「読書案内」があり、紹介文と表紙の写真が示されている。	【構成】 ・学年分冊、単元は学習順に配列さ れている。 ・各単元扉ごとに詩を紹介しており、 テーマにそって教材がまとめられて いる。 ・全体は、大単元と表現、読書から なっている。 ・巻頭には「保護者の皆様へ」という メッセージが掲載されている。 ・「学びの窓」には書き込みページが ある。 【分量】 ・1043ページ。 【装丁】 ・判型はB5判である。 【漢字の扱い】 ・新出漢字は教材の脚注または教 材の末に読みと用例が示されてい る。 ・小学校で学んだ漢字は「注意すべ き筆順」のページで示している。 【資料】 ・言語事項を提示している。 ・巻末「言語の学習」に「読むこと」 「古典」「話すこと・聞くこと」「書 くこと」「言葉の資料」などが提示 されて いる。	【表記・表現】 ・「誰にでも見やすく分かりや すい教科書になるようにユニ バーサルデザインの視点を 取り入れ、色使いやレイアウト などに配慮して編集しました」 と表記されている。 ・「発見する読み」は青色、 「活動を考える」は桃色など 項目で色分けをしている。 ・字の大きさを変えることで強 調されている部分があり、行 が数えやすいように文章下に 青で点がうたれている。 ・「読むこと」の教材の脚注に は、取り上げた語句に、 『「意」意味を調べよう』『「文」 短文をつくろう』など指示が書 いてある。 【写真・図版】 ・各文章下の注に写真が 載っている。 ・各単元の扉に題材に合わ せた詩歌と写真を掲載してい る。 ・地図や写真が鮮明である。 ・領域を表すマークが使用さ れている。

発行者 の番号 略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との 関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
15 三省堂	現代の国語 1 現代の国語 2 現代の国語 3	・確かな学力を身に付けること、自ら学ぶ力を育てること、かかわり合う力と豊かな心を育てることなどが基本方針として編集されている。 ・「話すこと聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各単元の冒頭に、つきたい力として学習目標が提示され、また、「読むこと」では「学び方を学ぶ」で読みの方略を提示している。そして、主体的な学びを促すように、協同的な言語活動の場を設ける工夫がされている。	・学習指導要領の国語科の目標である「思考力や想像力」に関連して、グラフとの関連を考えながら、事実と意見を読み分けて要旨を捉える教材「食感のオノマトペ」が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育」に関連して、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会の実現を努めることに関する教材「意見文」が取り上げられている。	【学習過程の明確化・学習意欲】 ・巻頭には、掲載順の目次のほかに領域別教材一覧で領域ごとのつきたい力と教材とを関連づけた表が載っており、単元、教材のめあてが示されている。 ・巻末の折込「読み方を学ぼう」には1年間で学んだ読み方の方法が示されている。 ・「話すこと・聞くこと」では、教材の冒頭に目標が示され、学習の流れが図で示されている。 ・「書くこと」では、各教材冒頭に目標が示され、学習の流れも図で示されていて、最後に振り返りがあり、「生活に生かす」で学んだことを他で生かす視点が示されている。 ・「読むこと」では、目標が教材冒頭に示されている。教材の後の「学びの道しるべ」にも示され、学習活動の指示も書かれている。それらを確認して学習の見通しがもてるようになっている。 【思考力・判断力・表現力等の育成、言語活動の充実】 ・メディアリテラシーについて触れられていて日常生活とのつながりが示されている。 ・「話すこと・聞くこと」では、「討論ゲーム」「パネルディスカッション」「句会を開こう」「ワールド・カフェ」「名言集」と話し合う教材を取り上げている。 ・「書くこと」では、1年6例、2年5例、3年4例、言語活動が示されている。 ・「読むこと」では、「朗読する」「構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつ」「写真やグラフが示されている効果を考える」などの活動が示されている。 【伝統的な言語文化に関する指導重視】 ・竹取物語(物語)、枕草子(随筆)、平家物語(軍記)、おくのほそ道(紀行文)、など多岐のジャンルから本文を選んでいる。 ・落語、歌舞伎、能、狂言が紹介されている。 【読書活動の充実】 ・教材の最後に、「私の本棚」として関連する本が表紙の写真付きで紹介されている。 ・「読書の広場」や「考える広場」など、テーマ別に様々なが紹介されている。	【構成】 ・学年分冊で、単元は学習順に配列されている。 ・各領域のバランスや関連性を考慮した単元構成になっている。 ・本編と資料編になっている。 【分量】 ・970ページ。 【装丁】 ・判型はB5判である。 【漢字の扱い】 ・新出漢字は教材の脚注または教材の末に読みと用例が示されている。巻末には、部首、画数、筆順などが提出順に配列され新出漢字一覧がある。 ・漢字の定着のために「漢字を身につけよう」が単元の終わりにあり、復習ができる。 ・巻末の資料編には、学年で習った漢字、都道府県名の一覧、小学校6年生で学習した漢字、漢字の筆順などが載っている。 【資料】 ・福祉や地方に目を向けた資料が文章や単元に合わせて掲載されており、図や資料の読みときなども分かりやすい。 ・巻末に「読書の広場」「考える広場」「参考資料」の3つに分けて掲載されている。	【表記・表現】 ・「この教科書は、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています。」と表記されている。 ・色分けを多用している。 ・「読み方を学ぼう」は青色、「学びの道しるべ」の中の「考えるための言葉」は桃色など項目で色分けをしている。 ・各領域を表すマークが使用されている。 ・脚注に、取り上げた語句には「音」新出音訓「漢」新出漢字名など記号で分けられている。 【写真・図版】 ・親しみやすく可愛い挿絵が多く、ポイントになる箇所にははっきりした色が使われている。 ・単元の扉のページに単元名と絵が掲載されている。 ・さし絵や写真が多く取り入れられている。
17 教出	伝え合う言葉 中学国語 1 伝え合う言葉 中学国語 2 伝え合う言葉 中学国語 3	・生徒が幅広い知識と教養を身に付けられたり、一人一人が個人の価値を尊重して、創造性を培ったりすることを基本方針として編集されている。学びと振り返り、みちしるべなどで教材の最後に、段階を追って課題と確認が出されている。各領域とも幅広い言語活動を通して、国語学習の基礎的基本的な能力や思考力・表現力を育成することができるように、工夫されている。	・学習指導要領の国語科の目標である「思考力や想像力」に関連して、文字で書かれた詩や文章に与える写真の効果について考えさせる教材「写真と言葉が生み出す世界—メディアリテラシー入門—」が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「体験活動」に関連して、教材「体験したことを文章にする」の中で自分の体験を振り返りながらまとめる例が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育の充実」に関連して、国際的視野に立って世界の平和と人類の幸福について話し合う教材「課題を解決するために話し合う」が取り上げられている。	【学習過程の明確化・学習意欲】 ・巻頭には、掲載順の目次のほかに、領域別教材一覧(教材で扱う内容)がついている。また、「身につけたい言葉の力」「教科書の構成」「教材で扱う内容」で、各教材の重点や言語活動の過程を明確に示している。 ・「話すこと・聞くこと」では、教材の冒頭に目標が示されている。 ・「書くこと」では、各教材冒頭に目標が示され、最後に振り返りがあり、「学びを生かそう」で学んだことを他で生かす視点が示されている。 ・「読むこと」では、目標が教材冒頭に示されている。教材の後の「みちしるべ」にも示され、学習活動の指示も示されている。それらを確認して学習の見通しがもてるようになっている。また、振り返りの視点が示され、学んだことの定着に役立つように工夫されている。 ・「読むこと」の教材には、冒頭に目標、終わりに「みちしるべ」、学習の手順「確かめよう・深めよう」が示されている。また、「ここが大事」で詳しく説明している。 【思考力・判断力・表現力等の育成、言語活動の充実】 ・メディアリテラシーについて触れている。 ・「話すこと・聞くこと」では、「アイディアを出して話し合う」(討論)、「役割を決めて討論する」(討論)、「課題を解決するために話し合う」と話し合う教材を取り上げている。 ・「書くこと」では、1年6例、2年5例、3年5例、言語活動が示されている。 ・「読むこと」では、「朗読する」「構成や展開を読む」「作品を批評する」などの活動が示されている。 【伝統的な言語文化に関する指導重視】 ・竹取物語(物語)、枕草子(随筆)、平家物語(軍記)、おくのほそ道(紀行文)、など多岐のジャンルから本文を選んでいる。 ・古典の入門として、川柳や季節にあった詩歌や二十四節気を掲載したり、「伝統芸能へのいざない」で落語・歌舞伎・狂言を紹介したりしている。 【読書活動の充実】 ・教材の最後に、「読んでみよう」で本文と関連した本が表紙の写真付きで紹介されている。 ・「本の世界へ」「読書案内」など、多種多様な本の紹介がある。	【構成】 ・学年分冊で、単元は学習順に配列されている。 ・各教材の最後に「みちしるべ」があり、学習の重点や進め方が示されている。 【分量】 ・1080ページ。 【装丁】 ・判型はB5判である。 【漢字の扱い】 ・新出漢字は教材の脚注または教材の末に読みと用例が示されている。巻末には、部首、画数、筆順などが提出順に配列され新出漢字一覧と小学校で学習した漢字が掲載されている。また、練習問題(年4回)として新出漢字の例文と読みが確認できるページを設けている。 【資料】 ・文学作品にゆかりのある風景を都道府県別に紹介している。 ・吉永小百合さんの「平和の願い」が掲載されている。 ・巻末「言葉の自習室」に文章が掲載されている。	【表記・表現】 ・「この教科書は、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮してつくられています。」と表記されている。 ・ユニバーサルデザインを採用し、各単元の扉を同じデザインでそろえている。 ・各領域を表すマークが使用されている。 ・脚注に行数が示されている。 ・脚注の語句には意、意味調べ。文、短文を作って表現に生かすなどマークがされている。 【写真・図版】 ・表紙と同じような色合いを多く使用しており、古典に関する資料が充実しているなど、必要な図版や写真を掲載している。 ・適宜写真が使われている。

発行者 の番号 略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との 関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
38 光村	国語 1 国語 2 国語 3	・言語に対する関心を高めること、生きてはたらく国語の力を育てること、コミュニケーション能力を高めること、伝統的な言語文化に触れて豊かな感性を育てることなどを基本方針としている。 ・学習で身につける力を冒頭で明確に示し、また、領域によっては、生徒が主体的に取り組めるように「学習の見通しをもとう」があり、図式化して分かりやすくなっている。また、言語活動を通し、言葉の力を日常や社会生活に生かしていけるように言語活動を設定する工夫をしている。読書に親しむ姿勢を育むことなど、指導内容や単元の配列が工夫されている。	・学習指導要領の国語科の目標である「国語を尊重する態度」に関連して、時とともに推移する言葉の性質を扱った教材「言葉を選ぼう」が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動」に関連して、論説を比較し評価するための教材「新聞の社説を比較して読もう」が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育の充実」に関連して、家族の心の交流と家族の一員としての自覚をもって進んで役に立とうとする姿を描いた教材「盆土産」が取り上げられている。	【学習過程の明確化・学習意欲】 ・巻頭には掲載順の目次の他に、領域別教材一覧と学習のねらいを示した目次がついている。 ・教材の冒頭には学習目標が提示され、終わりには「学習を振り返る」で考える課題を示している。また、「学習の窓」では身につける力や文章の内容を理解するポイントを簡潔に示している。 ・「話すこと・聞くこと」では、教材の冒頭に目標が示され、「学習の見通しをもとう」で学習の流れが図で示されている。 ・「書くこと」では、各教材冒頭に目標が示され、学習の流れも、「学習の見通しをもとう」で学習の流れを図で示し、最後には振り返りがあり、「生活に生かす」で学んだことを他で生かす視点が示されている。 ・「読むこと」では、目標が教材冒頭に示されている。教材の後にも示され、学習活動の指示も示されている。それらを確認して学習の見通しがもてるようになっている。また、振り返りの視点が示され、学んだことの定着に役立つように工夫されている。 ・「読む」単元の学習の手引きは、「確認しよう」「読みを深めよう」「自分の考えをもとう」の3段階で示されている。 【思考力・判断力・表現力等の育成、言語活動の充実】 ・日常生活で気をつける言語活動が記載されており、情報の聞き取り(メディアリテラシー)、スピーチ、レポート、表現、ディスカッションの順に、段階を追って学習できるよう構成されている。 ・交流のマークをつけ課題について確認したり、感想を述べ合ったりする場を示している。 ・「話すこと・聞くこと」では、「話題や方向を捉えて話し合おう」(グループディスカッション)、「一年の学びを振り返ろう」(ポスターセッション)、「話し合って考えを広げよう」(パネルディスカッション)「話し合って提案をまとめよう」と話し合う教材を取り上げている。 ・「書くこと」では、1年5例、2年5例、3年3例の言語活動を示している。それ以外も「練習」という言語活動を全学年で3例ずつ、「読むこと」からの発展課題を1年3例、2年4例、3年3例、提示している。 ・「読むこと」では「朗読する」「作品を読み深め、印象に残った表現を発表する」「語り手に注意して読む」などの活動が示されている。 【伝統的な言語文化に関する指導重視】 ・竹取物語(物語)、枕草子(随筆)、平家物語(軍記)、おくのほそ道(紀行文)、など多岐のジャンルから本文を選んでいる。 ・「言葉としぐさの伝統芸能―古典落語」「古典芸能の世界―能・狂言」「古典芸能の世界―歌舞伎・浄瑠璃」が掲載されている。 【読書活動の充実】 ・教材の最後に、「広がる読書」で本文と関連した本が表紙の写真付きで紹介されている。 ・年2回「本の世界を広げよう」で、多種多様な「読書案内」があり、紹介文と写真で示されている。 ・「読書コラム」で作家や翻訳者などによる読書の興味付けのメッセージが載っている。	【構成】 ・学年分冊で、単元は学習順に配列されている。 ・「目標」「学習の窓」「学習を振り返る」「次につなげよう」という流れで学習できるように構成されている。 【分量】 ・968ページ。 【装丁】 ・判型はB5判である。 【漢字の扱い】 ・新出漢字は教材の脚注または教材の末に読みと用例が示されている。巻末には、部首、画数、筆順などが提出順に配列され新出漢字一覧がある。 ・「漢字を確認しよう」で、すぐ復習できるようにになっている。 【資料】 ・巻末「学習を広げる」で補充作品をはじめ、学習方法、文章の読み方が掲載されている。 ・郷土ゆかりの作家・作品、手紙の書き方、近代・古典文学作品の一節と解説などが掲載されている。	【表記・表現】 ・「教科書の作成にあたっては、カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮しています。」と表記されている。 ・各領域を表すマークが使用されている。 ・交流するところにマークが使用されている。 ・脚注に取り上げられた語句には『意』意味を調べる』『文』短文を作る」などのマークが記されている。 【写真・図版】 ・表紙の色合いと同じような色を多く使用し、教材に関連した画や資料などを大きく鮮明に掲載している。 ・単元の扉のページには、学習目標と内容が写真とともに示されている。

平成28年度使用
教科用図書審議結果
【中学校国語（書写）】

（⑦）

国語（書写） 5種

発行者の番号略称	書名
2 東書	新編 新しい書写
11 学図	中学校 書写
15 三省堂	現代の書写
17 教出	中学書写
38 光村	中学書写

平成28年度使用教科用図書審議結果⑦

書写

	第1地区の特性	第2地区の特性	第3地区の特性	第4地区の特性
教科から見た 各地区の特性	・川崎市の南部、臨海部に位置し、江戸時代から宿場町として開けていたところである。川崎市役所や区役所の他に、教育文化会館や裁判所、税務署など、市や県の公共施設が集まっている。初詣でにぎわう川崎大師を中心に、門前町が開けている。一方、大きなマンションが建築され、人口が増えている。 ・生徒は、物怖じせずに新しいことにチャレンジするなど、素直で、子どもらしい発想をする子が多い。人懐こいところもある。 ・学習への集中力の向上に対応し、思考力・判断力・表現力等を育むためには、生徒に見通しをもたせて計画的に学習を進めるとともに、興味を引く題材を扱うなど学習者の意欲を高める言語活動を展開するなどの工夫が必要である。また、正しい意味を知らずに言葉を使うことが見られるため、語彙を豊かにするという意味からも日常的な読書の習慣と目的に応じて本を選んだり活用したりする力を育成したい。	・川崎市中部に位置しており、夢見ヶ崎動物公園、等々力緑地、等があり、古くからの町並みや歴史的文化財も数多く残っている。また、市民ミュージアム等の文化施設やとどろきアリーナ、等々力競技場などのスポーツ施設が充実し、見学者も多い。近年、大型マンションが建ち並び、他地域からの転入も増えている。 ・生徒は、明るくのびのびと生活している子が多い。自分の考えや思いをよく話すなど、素直に伝えようとする姿が見られる。 ・学力の個人差に対応し、思考力・判断力・表現力等を育むためには、生徒に見通しをもたせて計画的に学習を進めるとともに、学習者にとっての目的意識が明確な言語活動を展開するなどの工夫が必要である。また、読書に興味をもっていることを生かして、目的に応じて本を選んだり活用したりする力と日常的な読書の習慣を育成したい。	・川崎市のほぼ中央に位置した緑豊かな地域で、自然を生かした大きな公園や歴史的に価値ある古墳、貝塚、寺などがある。その中で、昨年、橘樹官衙遺跡群が、川崎市初の国史跡に指定された。教育に関心が高く、学習塾に通わせる家庭が多い。 ・生徒は比較的落ち着いている。自分の考えや思いをよく話すことができる。また、知識が豊富であり、基礎的・基本的な内容の定着については、比較的よい状況である。 ・学習に対しての意欲が高く、授業にも積極的に取り組んでいる。 ・自ら考えて課題を解決する力の育成を図り、思考力・判断力・表現力等を育むために、生徒に見通しをもたせて計画的に学習を進めるとともに、実生活と学習者をつなぎ、考えを深めるための言語活動を展開する工夫が必要である。また、読書に意欲的であることを生かして、目的に応じて本を選んだり活用したりする力と日常的な読書の習慣を育成した	・自然豊かな多摩丘陵に位置する地域であるが、生田緑地付近には、日本民家園、岡本太郎美術館、藤子・F・不二雄ミュージアム、かわさき宙と緑の科学館などがある。近年都市化が加速し、大型マンションが建ち並び、他地域からの転入も増えてきている。教育に対する関心が高く、学習塾に通わせる家庭が多い。 ・生徒は、自然に恵まれた環境の中でのびのびと育った子が多い。真面目な態度で人と接し、素直である。 ・学習に対して高い意欲を見せるが、学力の個人差がある。それに対応し、思考力・判断力・表現力等を育むためには、生徒に見通しをもたせて計画的に学習を進めるとともに、知識・技能を活用して課題を解決し、相互に考えを交流する言語活動を展開するなどの工夫が必要である。また、読書に意欲的であることを生かして、目的に応じて本を選んだり活用したりする力と日常的な読書の習慣を根付かせていきたい。

川崎の子どもが 学習をすすめて いく上での視点	○毛筆と硬筆の教材例及び字形の配列、運筆など基礎的な事項に関する教材例について適切に取り扱われている内容・構成等であること。 ○楷書・行書・漢字・仮名の分量と配列が適切で、文字に関する知識・技能を育成することができる内容・構成等であること。 ○文字文化に親しみ、社会生活や学習活動に役立つ書写の能力を育成する教材例が適切に取り上げられており、身の回りの文字に関心をもち、文
-------------------------------	---

平成28年度使用教科用図書審議結果⑦

書写

発行者の番号 略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編新しい書写 一・二・三年	・書写の基礎的・基本的な事項を系統的に学習することができる。 ・学習の内容や手順を明確にし、3段階のてびきを使って主体的な学習ができる。 ・他教科や日常生活につながる題材を取り上げている。書写の基礎基本の技能を身に付け、学んだことを日常生活に応用できるように工夫されている。 ・小学校書写との関連を図り、また、高等学校書道へのつながりも考えている。 ・文字文化への関心を深め、用具や漢字の成り立ちなどが示されている。 ・半紙実物大の大きさの見本がある。	・学習指導要領の国語科の目標である「伝え合う力」に関連して、3年「効果的に書こう」の中で、思いを表現する教材として「ポスターを作るときに」が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動の充実」に関連して、「生活に広げよう」の、1年「目標を書こう」では、書式や書き方の手順が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道德教育の充実」に関連して、「生活を豊かにする文字」では絵はがきを書く活動で、小学生には漢字を少なめに書いたり、年配の方には字を大きめに書いたりするなど相手を思いやることの大切さが示されている。	【学習過程の明確化・学習意欲】 ・目次に、学年の目標、教材のねらい、ページが記載されている。 ・教材の冒頭に目標が示され、「調べよう」「確かめよう」「広げよう」の3段階の手引きがあり、段階的に学習を進め、教材の最後に振り返りがある。 ・基本的な学習から、書写技術の習得、そして「生活に広げよう」で応用まで分かりやすく学べるようになっている。 ・楷書との違いを理解して、行書の基礎・基本をしっかり身に付けることができるとともに、コラムなどで知識や教養が補うことができるようになっている。 【行書の導入】 ・行書の動きのパターンを「二」「十」「口」「人」という4つの動きで展開している。 ・行書の点画の連続、変化、省略、そして、筆順の変化などが説明されている。 【書写の能力を学習や生活に役立てる】 ・「効果的に書こう」では、「分かりやすいノートの書き方」「職場訪問」「絵はがき」「入学願書」など、書写の学習を実生活の中で生かす工夫を示し、学年の学習の後半に、「生活を豊かにする文字」の単元では、「職場訪問」「防災訓練のおたより」など、生活に役立てることが示されている。 ・既習の古典や小説の一節を課題に取り上げることで、国語学習としての学びが広がる内容になっている。 ・生活に広がる書写技能の育成を図る「生活にひろげよう」が示されている。 【文字文化との関連】 ・「日本の用具の発達と文字の変化」では、用具の移り変わりと文字の変化が示され、「用具・用紙のできるまで」では、墨、硯、和紙、筆、鉛筆、ボールペン、消しゴムができるまでの工程が写真入りで示されている。 ・「漢字の成り立ちと移り変わり」では、漢字の成り立ちと書体などが示されている。 ・「古典から学ぼう」では、唐の四大家と呼ばれる優れた書き手の文字が載っていて、なぞって比較できる。	【構成】 ・1年生から3年生までの学習が1冊に編集されている。 【分量】 ・148ページ。 【装丁】 ・判型はB5判よりやや広い大きさAB判で、「全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。再生紙・植物性インキを使用しています。」と表記されている。 【漢字の扱い】 ・字形の決まりを扱っている。 ・漢字の成り立ちと移り変りがある。 ・常用漢字表、人名漢字表がある。 【資料】 ・日本の四季を感じられる「季節の言葉」が入っている。	【手本の提示】 ・「しょしゃのつぼ」で筆の使い方が「トン」「スー」「ピタッ」と擬態語で表現され、筆の運び方が示されている。 ・筆使いの基礎・基本の定着を図るために、運筆が朱墨の濃淡で示されている。 ・半紙の大きさの手本の上に、「書くときのポイント」が示され、主体的に、大事なことを確認しやすくなっている。 ・書き初めの手本は巻末の折込ページに示されている。 【表記・表現】 ・キャラクターが使用され、筆記具がマークと文字で示されている。 ・3ページを使って、姿勢や筆記具の持ち方などが写真で示されいる。
11 学図	中学校 書写	・書き文字を理解すること、文字を正しく整えて速く書くことなど基本的な書く力、文字を自ら進んで書こうとする力、学習したことを生活に生かす力を育てることが示されている。 ・単元名で学習のねらいが分かる課題を明示し、目的意識をもって学習を進めることができる。 ・生徒が主体的に学習するように自ら学ぶように自己評価欄の項目も複数にし、生徒自身の達成度がより明確になるように工夫されている。 ・半紙実物大の大きさの見本がある。	・学習指導要領の国語科の目標である「伝え合う力」に関連して、3年「書写を生活に生かそう」では筆記具の使い分けで、相手に伝わる印象が変わる教材が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動の充実」に関連して2年「硬筆で書いてみよう」の中の「作品を書いてみよう」では国語の教科書にも取り上げられている「少年の日の思い出」が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道德教育の充実」に関連して、「書写を生活に生かそう」では原稿用紙の書き方の模範例として「ボランティアに参加して」が示されている。	【学習過程の明確化・学習意欲】 ・目次に教材のねらい、ページが示されている。 ・教材の冒頭に目標が示され、「試し書き」「練習」「まとめ書き」の3段階の手引きがあり、段階的に学習し、最後に振り返りがある。 【行書の導入】 ・行書の基本的な点画が示されている。 ・「行書の特徴を理解して書こう」では点画の連続と変化、点画の省略と筆順の変化などが説明されている。 【書写の能力を学習や生活に役立てる】 ・「書写を生活に生かそう」で「修学旅行」「職場体験」などのテーマにそって、書写で学習したことを生活の中で生かす工夫が示されいる。 ・既習の古典や小説の一節を課題に取り上げることで、国語学習としての学びが広がる内容になっている。 【文字文化との関連】 ・「筆ができるまで」では筆を作る工程が、写真入りで示されている。 ・「時代と文字」では、楷書以外の書体などが示されている。 ・「書写の窓」2か所で、唐の時代の作品が示されている。	【構成】 ・1年生から3年生までの学習が1冊に編集されている。 【分量】 ・122ページ。 【装丁】 ・判型は横が少し大きめのB5変型で、「誰にでも見やすく分かりやすい教科書になるように、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しました。環境に配慮した紙と植物性インキを使用しています。」と表記されている。 【漢字の扱い】 ・筆使いの基本を身に付けるために、必要な漢字が選ばれている。 ・行書の常用漢字表がある。 【資料】 ・巻末に「新聞づくり」や「掲示物」などの見本が載せられており、書写で身に付けた力を活用できる。	【手本の提示】 ・楷書と行書の手本が半紙の大きさを示されている。 ・筆使いの基礎・基本の定着を図るために、運筆が朱墨の濃淡で示されている。 ・書き初めの手本は学年の終わりの折り込みページに2作品ずつ示されている。 【表記・表現】 ・キャラクターが使用され、筆記具がマークで示されている。 ・1ページを使って、姿勢や筆記具の持ち方が写真で載っている。

発行者の番号 略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
15 三省堂	現代の書写一・二・三	・学習の流れを明示することで学び方を学び、主体的な学習ができるようになり、基礎的・基本的な書写技能の習得ができる。 ・生徒がふだん書く文字の向上、読み手に効果的に伝える力などが示されている。 ・書写の授業と日常生活を結ぶ具体的な場面を示すことで、読み手を意識した伝える力の習得のために、多様な場が設定されている。 ・半紙実物大の大きさの見本がある。	・学習指導要領の国語科の目標である「伝え合う力」に関連して、2年「書体を使い分けよう」では、場面に応じて書体を選択するための話し合い活動が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動の充実」に関連して、3年「効果的に書こう」で、書き方を工夫したポスター、ワークシートが取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育の充実」に関連して、「書体を使い分けよう」で感謝状が模範例として示されている。	【学習過程の明確化・学習意欲】 ・目次に、教材のねらい、ページが記載されている。 ・教材の冒頭に目標が示され、「考えよう・話し合おう」「書いて確かめよう」「振り返ろう」の3段階の手引きがあり、段階的に学習し、最後に振り返りがある。 ・各教材に目標が記され、振り返りの視点も書かれている。 【行書の導入】 ・行書を使って、硬筆で書いた詩を示し、行書の特徴であるリズムやスピード感を伝えている。 ・「行書の基礎的な特徴」を伝えるために「生」の字を楷書と行書で指でなぞって違いを考えさせている。 ・行書の特徴を手本と言葉で示している。 【書写の能力を学習や生活に役立てる】 ・「書体を使い分けよう」で生活の場面での使い方が示されている。 ・身の回りの文字文化の工夫を「身のまわりの文字の工夫を見つけよう」で示している。 ・既習の古典や小説の一節を課題に取り上げることで、国語学習としての学びが広がる内容になっている。 ・資料編に日常の書式として、「手紙の書き方」や「掲示物の書き方」や「ノートの書き方」が示されており、書写の学習を実生活の中で生かす工夫をしている。 【文字文化との関連】 ・「文房四宝」では筆、紙、墨、硯を作る様子が写真入りで示されている。 ・資料編に「文字の変遷」があり、書体や漢字の成り立ちなどが示されている。 ・「書の名手たち」で弘法大師や小野道風の字が紹介されている。	【構成】 ・1年生から3年生までの学習が1冊に編集されている。 【分量】 ・116 ページ。 【装丁】 ・判型はB5判で、「この教科書は、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています。また、環境にやさしい用紙と植物性インキを使用しています。」と表記されている。 【漢字の扱い】 ・筆使いの基本を身に付けるために、必要な漢字が選ばれている。 ・楷書、行書一覧表(小学校、中学校)がある。 【資料】 ・教科書に載っている「古典」について、解説がされている。	【手本の示】 ・筆の運び方が分かりやすく示されている。 ・半紙実物大の見本がある。 ・書き初めの手本は巻末の折り込みページに示されている。 ・筆使いの基礎・基本の定着を図るために、運筆が朱墨の濃淡で示されている。 【表記・表現】 ・キャラクターが使用され、筆記具がマークで示されている ・3ページを使って、姿勢や筆記具の持ち方などが写真で載っている。
17 教出	中学書写	・基礎基本の習得を図り、日常生活や学習活動における「生きてはたらく確かな書写力」が活用できるように図られている。 ・主体的な学習を促すために学習内容や手順を明確に示すことにより、生徒が自ら考え、意欲的に学習できるように図られている。 ・半紙実物大の大きさの見本がある。	・学習指導要領の国語科の目標である「伝え合う力」に関連して、巻頭折りこみ「目的に合わせて書こう」では、書く目的、相手、方法の違いによる、筆記用具の使い分けが取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動の充実」に関連して、2年「学習を生かして書く」で効果的に伝えるための工夫を凝らした新聞、ポスター、案内状が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育の充実」に関連して、「三年間の学習の成果を生かそう」で「感謝の気持ちを伝えよう」にメッセージカードの例が示されている。	【学習過程の明確化・学習意欲】 ・目次に、教材のねらい、ページが示されている。 ・教材の冒頭に目標が示され、「考えよう」「生かそう」「広げよう」の3段階の手引きがあり、段階的に学習し、最後に振り返りがある。 ・教材の終わりには「振り返ろう」として振り返り学習のチェック欄がある。 【行書の導入】 ・楷書と行書を比較する学習から入り、筆使いなど運筆も交えて書くことが示されている。 ・行書の手本として、「風信帖」や「表札」などが写真で紹介されている。 ・行書の筆使いを指でなぞって体験することから始めている。 【書写の能力を学習や生活に役立てる】 ・表紙の裏の部分に、「目的に合わせて書こう」がある。 ・既習の古典や小説の一節を課題に取り上げることで、国語学習としての学びが広がる内容になっている。 ・学習に生かす視点から、基本の学習後、学んだことを生かす形で、原稿用紙、レポート、新聞、ポスター、案内状、卒業カレンダーなどが取り上げられている。 【文字文化との関連】 ・「筆、墨、硯、紙について知ろう」では、筆、紙、墨、硯を作る工程が写真入りで示されている。 ・「文字の変遷」では、書体が書かれている。 ・「あの人が残した文字」で歴史上の人物が書いた実際の文字が図版で示されている。	【構成】 ・1年生から3年生までの学習が1冊に編集されている。 【分量】 ・142ページ。 【装丁】 ・判型はB5判で、「この教科書は、環境にやさしい再生紙と植物性インキを使用しています。また、生徒が使用する教科書の印刷においては、バイオマスで発電されたクリーン電力を使用します。この教科書は、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。」と表記されている。 【漢字の扱い】 ・筆使いの基本を身につけるために、必要な漢字が選ばれている。 ・行書の常用漢字一覧表(小学校、中学校)がある。 【資料】 ・教科書に載っている「古典」について、解説がされている。	【手本の提示】 ・筆使いの基礎・基本の定着を図るために、運筆が朱墨の濃淡で示されている。 ・半紙実物大の見本がある。 【表記・表現】 ・それぞれのお手本の右上に取り組みせたい事項が書かれており、目的をもって学習に取り組めるようになっている。 ・キャラクターが使用され、筆記用具がマークと文字で示されている。 ・3ページを使って、姿勢や筆記具の持ち方などが写真で示されている。

発行者の番号 略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
38 光村	中学書写 一・二・三年	・学習の内容や手順を明確にし、3年間の見通しをもちながら、必要に応じて既習事項を確認し、確実な基礎・基本を学習できる。 ・学習の流れを示すことで、目的をもった主体的な学習を促し、基礎編、学習編、資料編で相互に参照しながら活用して生きて働く書写力を育成していくことを示している。	・学習指導要領の国語科の目標である「伝え合う力」に関連して、資料編「情報を発信する」では、相手を意識し、目的意識をもち情報を伝える書き方が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動の充実」に関連して、2年「楷書と行書の使い分け」で相手や目的を意識したポスター作成が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育の充実」に関連して、資料編「手紙の書き方」で職場体験のお礼状が示されている。	【学習過程の明確化・学習意欲】 ・目次に、教材の内容、ページが示されている。 ・教材の冒頭に目標が示され、「学習の窓」では基礎基本を確認し、最後に振り返りがある。 【行書の導入】 ・楷書と行書を比較する学習から入り、筆使いなど運筆も交えて書くことが示されている。 ・行書の点画の方向や形の変化、連続、筆順の変化などが説明されている。 【書写の能力を学習や生活に役立てる】 ・資料編に日常の書式として、「手紙の書き方」や「はがき・封筒の書き方」や「願書」などが載せられており、書写の学習を実生活の中で生かす工夫をしている。 ・資料編で「活用のヒント」として情報発信の方法が示されている。 【文字文化との関連】 ・「筆・紙・墨・硯ができるまで」では筆・紙・墨・硯ができる工程が写真入りで示されている。 ・コラム「文字の歴史を探る」では、漢字の歴史、仮名の誕生、書体などが説明されている。 ・コラム「季節のしおり」や「文字の歴史を探る」で、文字文化への関心を高めている。 ・「先人の文字に学ぶ」では先人の文字が写真入りで示されている。	【構成】 ・1年生から3年生までの学習が1冊に編集されている。 【分量】 ・118ページ。 【装丁】 ・判型はB5判で、「この教科書は環境に配慮した紙、植物性インキを使用しています。」と表記されている。 【漢字の扱い】 ・常用漢字一覧表が書写事典として五十音順に楷書と行書で示されている。 ・小学校で学習したものには印が付いている。 【資料】 ・資料編を「日常の書式」「活用のヒント」「書写事典」に分類し、いつでも参照できるようにしている。 ・部分別行書一覧がさまざまな書き方で掲載されている。	【手本の提示】 ・筆の使い方が「トン」「スー」「トン」と擬態語で表現されている。 ・穂先の動きが朱墨で示してある。 ・各教材見開きで構成し、学習の内容と活動の流れを一目でつかめるようにしている。 【表記・表現】 ・筆使いの基礎・基本の定着を図るために、運筆が朱墨の濃淡で示されている。 ・キャラクターが使用され、筆記具がマークで示されている。 ・2ページを使って、姿勢や筆記具の持ち方などが写真で載っている。

平成28年度使用
教科用図書審議結果
【中学校数学】

(⑦)

数 学 7 種

発行者の番号略称	書 名
2 東書	新編 新しい数学
4 大日本	新版 数学の世界
11 学図	中学校数学
17 教出	中学数学
61 啓林館	未来へひろがる数学 未来へひろがる数学 MathNaviブック
104 数研	中学校数学
116 日文	中学数学

平成28年度使用教科用図書審議結果 ⑦

数学

	第1地区の特性	第2地区の特性	第3地区の特性	第4地区の特性
教科から見た 各地区の特性	古くからの京浜工業地帯の中心を担った大工場群が臨海地域に見られる。近年は環境に重きをおいた工場や施設が増加した。近年、工場跡地にマンションや大型店舗が建設され、人の流れにも変化が見られる。 数学の学習に対して意欲的に取り組み、分かったり、解決できたりした時には、喜びを素直に表現する生徒が多い。 計算問題には進んで取り組むが、文章問題等、問題の内容を読み取り、解決していく学習はやや苦手とする生徒もいる。 生徒の学習への関心の高さを生かし、基礎的基本的な知識や技能の確実な定着を図り、それらを活用して、課題を解決して行く過程で、自分の考えを説明したり伝え合ったりする活動を通して、思考力・判断力・表現力等を育成したい。	川崎駅付近から、等々力緑地付近まで、他地区に比べ南北に広い形で位置されている。 近年では、川崎駅周辺や武蔵小杉駅周辺で大規模開発がなされ、めざましい発展を見せている地域でもある。 数学の学習に対して意欲的であり、課題に対して、自分の考えをもち、他者と関わりながら解決しようと前向きに取り組んでいる。素直に自分の思いを表現できる生徒が多い。一方、家庭での学習習慣の確立に時間を要する生徒が見られる。 生徒の学習への関心の高さを生かし、基礎的基本的な知識や技能の定着を図り、それらを活用して、課題を解決して行く過程で、自分の考えを説明したり伝え合ったりする活動を通して、思考力・判断力・表現力等を育成したい。	川崎市の中央に位置し、横浜市に隣接している学校もある。地域によって、駅が近くマンションが増加しているところ、団地が多いところ、閑静な住宅街が多いところとがあり、保護者の考え方も様々である。 数学の学習に対して意欲的であり、課題に対して、他者と協力しながら解決しようと前向きに取り組んでいる。基礎的な内容を習得するために時間を要する生徒と授業前に先んじて学習を済ませている生徒とがともに授業に臨んでいる。学習に時間のかかる生徒の中には、分からないことを素直に表現できる生徒も多い。 生徒の学習への関心の高さを生かし、基礎的基本的な知識や技能の定着を図り、それらを活用して、課題を解決して行く過程で、自分の考えを説明したり伝え合ったりする活動を通して、思考力・判断力・表現力等を育成したい。	川崎市北部に位置し、多摩川や緑の多い山林部を残す自然に恵まれた地域である。南武沿線には多摩川や二ヶ領用水も流れており、その昔農業が盛んだった地域でもある。一方、小田急沿線は多くの自然が残されているが、都内と結ばれていることもあり、住宅地の開発や町の整備が進んでいる。 数学の学習に対して意欲的であり、課題に対して、数学で学んだことを活用して解決しようと前向きに取り組んでいる。発展的な学習に対して積極的に取り組む生徒が多い。生徒の中には、習得に時間のかかる生徒もいるが、グループ活動等で、協力して学習を進めている。 生徒の学習への関心の高さを生かし、基礎的基本的な知識や技能の定着を図り、それらを活用して、課題を解決して行く過程で、自分の考えを説明したり伝え合ったりする活動を通して、思考力・判断力・表現力等を育成したい。
川崎の子どもが 学習をすすめて いく上での視点	○基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るために、生徒のつまずきに対応し習熟の程度に応じた内容・構成等であること。 ○思考力・判断力・表現力等を育成するために、問題解決的な学習を通して、数学的な見方や考え方を身に付けることができる内容・構成等であること。 ○目的意識をもって主体的に取り組むために、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感することができる内容・構成等であること。			

平成28年度使用教科用図書審議結果 ⑦

数学

発行者の番号略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東 書	新編 新しい数学1 新編 新しい数学2 新編 新しい数学3	・例題ごとに計算のしかたを青い枠で示し、「たしかめ」、「問」で理解を深める問題を設定している。さらに、巻末の「補充の問題」で習熟が図れるようにしている。 ・章末や巻末の「もっと数学をしよう」では、活用の問題として日常生活や社会で数学を活用する問題が設定され、思考力等の育成を図っている。また、「数学のまど」「巻末課題編」では、数学の歴史や社会とのつながりなどの題材を紹介している。 ・学習課題を示すことで見通しをもたせ、「Q」でその単元で学習するための素地を作り、「例」では具体的な学習内容の考え方を学習し、「問」で定着を図る。思考力等については、必要に応じて「やってみよう」を設けて学習を進めている。	・学習指導要領の数学科の目標に示されている「数学的活動の楽しさや数学のよさを実感すること」に関連し、身近な課題から数学を利用することを考えさせ、単元の学習内容を活用していくよう構成されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動の充実」に関連して、式や図などを使って、考えを説明し伝え合い深めていく、数学科の特性を生かした言語活動「学び合い」が設けられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育の充実」に関連して、ボランティア清掃、集めた空き缶の個数、傾斜路（スロープ）の設置などが取り上げられている。	【基礎・基本の確実な習得】 ・多く見られる誤答については、「まちがいの例」で誤答例が示され、誤りを正しく直す問題が設定されている。解答については、巻末に掲載されている。 【思考力・判断力・表現力等の育成、言語活動の充実】 ・本文中の「やってみよう」では、学んだことを広げたり、深めたりする問題が設定され、思考力等の育成を図っている。 ・「学び合い」のページでは、授業展開が例示されている。 【学習意欲の向上】 ・学習に見通しをもたせるために、学習の始めに学習課題が提示されている。 【学習のつながり】 ・巻末に算数の学習内容のまとめがあり、まとめに対応した問題が設定されている。 また、本文には、算数のまとめとの関係ページが示されている。 【個に応じた指導】 ・既習事項で定着が不十分の内容は、「ちょっと確認」で確認することができる。また、関係するページも示されている。 ・学習が早く進んだ生徒のために、「もっと練習」では、「問」より難しい問題が設定されている。 【ノート、レポート作成に関すること】 ・「数学マイノート」「レポートにまとめよう」では、自分の考えや友だちの考えのまとめ方が例示されている。	【単元構成に関すること】 ・1年 方程式 等式の性質を方程式とその解で扱っている。 平面図形 学習の順番が、移動、作図である。 ・2年 1次関数 グラフのかき方について1次関数のグラフの単元で扱っている。 変化の割合、グラフ、グラフのかき方の順である。 ・3年 素因数分解 平方根で扱っている。 2次方程式 平方根の形、解の公式、因数分解の順である。 【学習内容に関すること】 ・方程式、連立方程式の利用問題の解の確かめについて、扱っている場合と扱っていない場合がある。 ・球の体積がびったり入る円柱の2/3になることを、水を半球から円柱に移した写真を並べて示している。 ・平行線と同位角の関係について、三角定規を用いた作図の写真をもとに調べている。 ・2乗してaになる数について、a=50の場合で調べている。 【問題量(本文中の問題数)】 1年 正負の四則計算 15問 いろいろな方程式 11問 2年 いろいろな連立方程式 7問 3年 いろいろな因数分解 12問 平方根の四則(含分数) 16問 【巻末の補充問題について】 ・「まとめ編」で前の学年の学習内容のまとめがあり、「確かめ編」でその内容を確認する問題を出題している。「補充問題」では、基礎基本に関することについて、「活用の問題」では、応用問題を出題している。 【装丁】 ・判型はB5判で、「再生紙・植物油インキを使用しています。」と表記されている。	【学習活動の表示】 ・単元の学習内容は太字で示している。 ・単元の学習内容に迫る課題は「Q」のマークを用い囲みで示している。 ・「例」「たしかめ」は同じ色で、「問」は色を変えて示している。 ・新しく学ぶ語句は太字で示している。 【見やすさ】 ・文章を読みやすい位置で改行している。 ・「見やすく読みまちがいにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と表記されている。 【神奈川県に関連すること】 1年:各都市の桜の開花日 三溪園 Jリーグ順位表 (川崎フロンターレ他) 横浜から名古屋までの道のり 箱根寄せ木細工(2箇所記載) 横浜みなとみらい21 3年:横浜港とその周辺の地図 横浜市営地下鉄の距離と運賃
4 大日本	新版 数学の世界1 新版 数学の世界2 新版 数学の世界3	・例題では、黒板を背景に解答を示し、基本的な問題として、「Q」を設定している。例題を扱った後に計算のしかたのまとめがあり、「プラス・ワン」で習熟を図っている。 ・章末の「いろいろな問題」、「挑戦しよう」「もっと数学！」では、学んだことをもとに解決できる問題が設定され、思考力等の育成を図っている。また、「社会にリンク」「Mathful」では、数学の歴史や実生活とのつながりなどの題材を紹介している。 ・「？」で既習の振り返りをし、学習のねらいを示すことで見通しをもたせ、適用問題では学習した内容の定着を図る。思考力等については、側注に必要に応じて「ハートの問題」を設け学習を進めるようにしている。	・学習指導要領の数学科の目標に示されている「事象を数理的に考察し表現する能力を高めること」に関連し、学習した内容を応用し、誤答を訂正することや結論を表示し、途中の考え方を補うなどの内容が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動の充実」に関連して、説明し合う活動や互いの考えを紹介し合う活動「問題づくり」が設けられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育の充実」に関連して、段差のある道(スロープ)、点字のしくみ、ソーラークッカーなどが取り上げられている。	【基礎・基本の確実な習得】 ・章末の「練習」では、学習したこと の定着を図る問題が設定されている。また、本文との関係ページも示されている。 【思考力・判断力・表現力等の育成、言語活動の充実】 ・本文中では、学習した内容を深めたり、調べたりする問題が設定され、思考力等の育成を図っている。 ・「見いだそう」「利用しよう」「伝えよう」で活動のねらいが示されている。 【学習意欲に関すること】 ・問題を解決するための見通しをもたせるために、学習のねらいが示されている。 【学習のつながり】 ・目次に小学校算数との関係が示され、巻末には算数の復習問題が設定されている。また、本文の側注には、小学校で学んだことが示されている。 【個に応じた指導】 ・既習事項で定着が不十分の内容は、「思い出そう」で確認することができる。 ・学習が早く進んだ生徒のために、「プラス・ワン」では、学習内容を確認するための補充問題が設定されている。 【ノート、レポート作成に関すること】 ・「レポートを書こう」では、研究した内容のレポートへのまとめ方が例示されている。	【単元構成に関すること】 ・1年 方程式 等式の性質の単元立てがある。 平面図形 学習の順番が、移動、作図である。 ・2年 1次関数 グラフのかき方について単元立てをして扱っている。 変化の割合、グラフ、グラフのかき方の順である。 ・3年 素因数分解 式の計算で扱っている。 2次方程式 因数分解、平方根の形、解の公式の順である。 【学習内容に関すること】 ・方程式、連立方程式の利用問題の解の確かめについて、すべての場合で扱っている。 ・球の体積がびったり入る円柱の2/3になることを、図で示している。 ・平行線と同位角の関係について、平行線とそれに交わる直線の図をもとに調べている。 ・2乗してaになる数について、a=2の場合で調べている。 【問題量(本文中の問題数)】 1年 正負の四則計算 10問 いろいろな方程式 14問 2年 いろいろな連立方程式 6問 3年 いろいろな因数分解 15問 平方根の四則(含分数) 7問 【巻末の補充問題について】 ・「まとめの問題」では、1年間学んだことを確認する問題を出題している。 【装丁】 ・判型はB5判で、「環境に配慮した紙と植物油インキを使用し、表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工しています。」と表記されている。	【学習活動の表示】 ・単元の学習内容は背景に色をつけ、三角マークを使い太字で示している。 ・単元の学習内容に迫る課題は、数字を四角で囲んでいる。 ・定着を図る間は「Q」で示している。 ・新しく学ぶ語句は太字で示している。 【見やすさ】 ・使用する文字の大きさを1年生と2、3年生で変えている。 ・「カラーユニバーサルデザインフォントに配慮しています。」と表記されている。 【神奈川県に関連すること】 1年:学校基本調査 神奈川県の中学校数 3年:よこはまコスモワールド 小田原城址公園 東京湾の縮図(川崎市他)

発行者の番号略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
11 学 図	中学校数学1 中学校数学2 中学校数学3	・例題ごとに考え方が示され、ノートを背景に解答が示されている。また、基本的な問題として「問」を設定している。 ・章末の「深めよう」では、学習したことをさらに発展させる問題が設定され、思考力等の育成を図っている。また、「さらなる学習へ」では、社会とのつながりや他教科との関連などの題材を紹介している。 ・巻頭に数学でよく使う考えをまとめている。「ふりかえり」で、既習事項のまとめがあり、目標を示すことで見通しをもたせ、「Q」で学習の素地を作り、「例」では具体的な学習内容の考え方を学習し、「問」で定着を図る。側注には、必要に応じて数学的な考え方や振り返りがあり、学習を進めるようにしている。	・学習指導要領の数学科の目標に示されている「数学的活動の楽しさや数学のよさを実感すること」に関連し、身近な事柄と数学的な関連を考えさせ、活用問題などで協同学習を通して理解させるよう構成されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動の充実」に関連して、模範的な説明の仕方を例示したり、話し合いの内容を掲示したりする「数学的活動」が設けられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育の充実」に関連して、ペットボトルキャップを集めてワクチンの購入にあてる活動、点字のしくみ、スロープの傾きなどが取り上げられている。	【基礎・基本の確実な習得】 ・多く見られる誤答については、「正しいかな？」で誤答例が示され、方法などを説明する問題が設定されている。 【思考力・判断力・表現力等の育成、言語活動の充実】 ・本文中の「活用する」の表記により、身に付けた知識や考え方を活用する場面が設定され、思考力等の育成を図っている。 ・「伝える」では、考えたことを交流する問題が設定されている。 【学習意欲の向上】 ・学習のねらいを明確にするために、学習の目標が示されている。 【学習のつながり】 ・各領域の前に関連する算数の学習内容のまとめがあり、巻末には小学校の計算問題が設定されている。 【個に応じた指導】 ・既習事項で定着が不十分の内容については、「ふりかえり」で確認することができる。また、関係のページも示されている。 ・学習状況により取り組むことができるように、章のまとめでは、「基礎」「応用」「活用」の問題が設定されている。 【ノート、レポート作成に関すること】 ・ノートの使い方やレポートのまとめ方等、考えを表現する方法が例示されている。	【単元構成に関すること】 ・1年 方程式 等式の性質の単元立てがある。 平面図形 学習の順番が、作図、移動である。 ・2年 1次関数 グラフのかき方について1次関数のグラフの単元で扱っている。 変化の割合、グラフ、グラフのかき方の順である。 ・3年 素因数分解 式の計算で扱っている。 2次方程式 因数分解、平方根の形、解の公式の順である。 【学習内容に関すること】 ・方程式、連立方程式の利用問題の解の確かめについて、すべての場合で扱っている。 ・球の体積がぴったり入る円柱の2/3になることを、水を半球から円柱に移した写真を並べて示している。 ・平行線と同位角の関係について、三角定規を用いた作図をもとに調べている。 ・2乗してaになる数について、a=2の場合で調べている。 【問題量(本文中の問題数)】 1年 正負の四則計算 22問 いろいろな方程式 11問 2年 いろいろな連立方程式 8問 3年 いろいろな因数分解 16問 平方根の四則(含分数) 14問 【巻末の補充問題について】 ・「前の学年の計算」で、前の学年で学習した計算問題を出題している。「学年の復習」では、1年間学んだことを確認する問題を出題している。 【装丁】 ・判型はB5判で、「環境に配慮した紙と植物油インキを使用しています。」と表記されている。	【学習活動の表示】 ・単元の学習内容は「目標」により示されている。また、大切な言葉は点線により強調されている。 ・単元の学習内容に迫る課題は「Q」のマークで示している。 ・「例」「問」を色と形を変えて示している。 ・新しく学ぶ語句は太字で示している。 【見やすさ】 ・「Q」「例」「問」の位置に線を引いて、文頭が揃えられている。 ・「ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトに配慮して編集しました。」と表記されている。 【神奈川県に関連すること】 1年：横浜みなとみらい21 よこはま動物園ズーラシア 箱根寄木細工 2年：真福寺 降水確率(横浜) 地層 3年：神奈川県三浦半島周辺の海図 横浜ランドマークタワーからの景色
17 教 出	中学数学1 中学数学2 中学数学3	・例題の前に計算のしかたのまとめがあり、例題に対する問題として「たしかめ」を設定している。さらに、巻末の「補充問題」で習熟が図られるようにしている。 ・各単元の「数学の広場」では、学習したことを深めたり、広げたりする問題が設定され、思考力等の育成を図っている。「数学ミニ事典」「自由研究」では、数学の歴史や文化的な話題などの題材を紹介している。 ・各章の最初に既習事項の振り返りがあり、学習のねらいが提示されることで見通しをもたせ、「Q」で学習するための素地をつくり、「例」では、具体的な学習内容の考え方を学習し、「たしかめ」で定着を図る。思考力等については、「問」や「みんなで数学」を設け学習を進めるようにしている。巻末に数学で大切にしたい考え方がまとめられている。	・学習指導要領の数学科の目標に示されている「事象を数理的に考察し表現する能力を高めること」に関連し、学習内容を確認のうえで課題に取り組み、解決するために最良の方法を考えさせるよう構成されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動の充実」に関連して、自分の考えを説明したり、まとめたり、話し合ったりする活動を促す「みんなで数学」が設けられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育の充実」に関連して、スチール缶とアルミ缶の回収、ペットボトルキャップを集めてワクチンの購入にあてる活動、ごみの減量などが取り上げられている。	【基礎・基本の確実な習得】 ・多く見られる誤答については、「まちがいの例」で誤答例が示され、誤りを正しく直す問題が設定されている。また、その章で学習した基礎的・基本的な内容が「学習のまとめ」でまとめられている。 【思考力・判断力・表現力等の育成、言語活動の充実】 ・本文中の「みんなで数学」では、新たな規則や性質を見つける、数学を利用する、自分の考えを説明する問題が設定され、思考力等の育成を図っている。 ・「みんなで数学」では、考えを広げたり、深めたりする問題が設定され、活動のねらいが示されている。 【学習意欲の向上】 ・学習に見通しをもたせるために、学習課題が示されている。 【学習のつながり】 ・章のはじめに小学校の学習内容のまとめがあり、本文中には、小学校の既習内容が示されている。また、巻末に算数の学習内容のまとめがあり、領域ごとの関係が示されている。 【個に応じた指導】 ・既習事項で定着が不十分の内容は、「もどって確認」で確認することができる。 ・学習が早く進んだ生徒のために、「チャレンジコーナー」では、既習内容を活用する問題が設定されている。 【ノート、レポート作成に関すること】 ・「ノートの工夫」では、自分の考えのまとめ方の例示がされている。	【単元構成に関すること】 ・1年 方程式 等式の性質の単元立てがある。 平面図形 学習の順番が、作図、移動である。 ・2年 1次関数 グラフのかき方について単元立てをして扱っている。 グラフ、変化の割合、グラフのかき方の順である。 ・3年 素因数分解 式の計算で扱っている。 2次方程式 因数分解、平方根の形、解の公式の順である。 【学習内容に関すること】 ・方程式、連立方程式の利用問題の解の確かめについて、すべての場合で扱っている。 ・球の体積がぴったり入る円柱の2/3になることを、半球から円柱に水を移した図で示している。 ・平行線と同位角の関係について、三角定規の直角を使った作図と直角以外の角を使った作図をもとに調べている。 ・2乗してaになる数について、a=2の場合で調べている。 【問題量(本文中の問題数)】 1年 正負の四則計算 11問 いろいろな方程式 11問 2年 いろいろな連立方程式 8問 3年 いろいろな因数分解 14問 平方根の四則(含分数) 14問 【巻末の補充問題について】 ・「たしかめの補充問題」では、基礎基本に関することについて、「実力アップ問題」では、応用問題について出題している。 【装丁】 ・判型はB5判で、「環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しています。」と表記されている。	【学習活動の表示】 ・単元の学習内容をラッパのマークを使い、太字で示している。 ・単元の学習内容にせまる課題は「Q」として示されている。 ・「例題」「考え方」「解答」「たしかめ」「問」を色と形を変えて示している。 ・新しく学ぶ語句は背景に色をつけ、太字で示している。 【見やすさ】 ・知識・理解につながる内容と技能的な内容のまとめが背景を色分けされて区別されている。 ・「色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。」と表記されている。 【神奈川県に関連すること】 1年：Jリーグの試合結果(川崎) 湘南台文化センター アメダス 東京都 観測地点 神奈川県 3年：みなとみらい21【神奈川県】 富嶽三十六景 神奈川沖浪裏(葛飾北斎 作)

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
61 啓林館	未来へひろがる数学1 未来へひろがる数学MathNaviブック1 未来へひろがる数学2 未来へひろがる数学MathNaviブック2 未来へひろがる数学3 未来へひろがる数学MathNaviブック3	・例題の前に計算の順序が示され、例題を解くポイントが側注に示されている。基本的な問題として「問」を設定し、さらに巻末の「力をつけよう」で習熟が図られるようにしている。 ・章末の「千思万考」「数学展望台」では、学んだことを活用する問題が設定され、思考力等の育成を図っている。また、「数学展望台」「自由研究に取り組もう」では、数学の歴史や数学のパズルなどの題材を紹介している。 ・学習課題を示すことで見通しをもたせ、「ひろげよう」で学習することの素地を作り、「例」で具体的な学習内容の考え方を学習し、思考力等については、必要に応じて別冊の「MathNaviブック」で学習を進めるようにしている。	・学習指導要領の数学科の目標に示されている「事象を数理的に考察し表現する能力を高めること」に関連し、本編及び別冊編で思考力等を高める課題や学習意欲を高める課題が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動の充実」に関連して、いろいろな答えや解決方法がある場面を取り上げた「自分のことばで伝えよう」や「みんなで話しあってみよう」が設けられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育の充実」に関連して、書き損じはがきの回収、点字のしくみ、スロープの傾斜などが取り上げられている。	【基礎・基本の確実な習得】 ・多く見られる誤答については、「自分のことばで伝えよう」で方法などを説明する問題が設定されている。 【思考力・判断力・表現力等の育成、言語活動の充実】 ・本文中の「見方・考え方」では、数学的な見方や考え方が表記され、思考力等の育成を図っている。 ・キャラクターの吹き出しにより、活動場面のねらいが示されている。 【学習意欲の向上】 ・学習に見通しをもたせるために、学習課題が示されている。 【学習のつながり】 ・別冊に算数の内容と本文との関係が示されている。また、本文中には、小学校の既習内容が示されている。 【個に応じた指導】 ・既習事項で定着が不十分の内容については、「ふりかえり」で確認することができる。また、関係のページも示されている。 ・学習が早く進んだ生徒のために、巻末の「力をつけよう」では、理解を深める問題が設定されている。 【ノート、レポート作成に関すること】 ・「ノートを工夫して、学習に役立てよう」では、ノートの取り方の方法が示されている。	【単元構成に関すること】 ・1年 方程式 等式の性質の単元立てがある。平面図形 学習の順番が、移動、作図である。 ・2年 1次関数 グラフのかき方について1次関数のグラフの単元で扱っている。変化の割合、グラフ、グラフのかき方の順である。 ・3年 素因数分解 式の計算で扱っている。2次方程式 平方根の形、解の公式、因数分解の順である。 【学習内容に関すること】 ・方程式、連立方程式の利用問題の解の確かめについて、すべての場合で扱っている。 ・球の体積がぴったり入る円柱の2/3になることを、水を半球から円柱に移した写真で示している。 ・平行線と同位角の関係について、三角定規を用いた作図の写真をもとに調べている。 ・2乗してaになる数について、a=16の場合で考えてから、a=2の場合で調べている。 【問題量(本文中の問題数)】 1年 正負の四則計算 11問 いろいろな方程式 12問 2年 いろいろな連立方程式 10問 3年 いろいろな因数分解 8問 平方根の四則(含分数) 19問 【巻末の補充問題について】 ・「繰り返し練習」では、基礎基本に関することについて、「まとめの問題」では、1年間学んだことを確認する問題を出題している。 【装丁】 ・判型はB5判で、「再生紙と植物油インキを使用しています。」と表記されている。	【学習活動の表示】 ・単元の学習内容は、クローバーのマークを使い太字で示している。 ・単元の学習内容にせまる課題は「例」として示し、要点を背景に色を付けて太字で示している。 ・「例」「問」を色と形を変えて示している。 ・新しく学ぶ語句は背景に色をつけ、太字で示している。 【見やすさ】 ・1行の文字数を減らし、文章を読みやすい位置で改行している。 ・色覚の個人差を問わず、より多くの人に必要な情報が伝わるようデザイン・配色しました。」と表記されている。 【神奈川県に関連すること】 1年: 東京湾アクアライン「風の塔」(川崎市) 2年: 第95回 全国高校野球選手権記念大会 トーナメント表 横浜高校 3年: 横浜線(川崎市他)
104 数研	中学校数学1 中学校数学2 中学校数学3	・例題の前に計算の順序が示され、例題を解くポイントが側注に示されている。基本的な問題として「問」が設定されている。 ・章末の「やってみよう」では、学習した内容を深める問題が設定され、思考力等の育成を図っている。また、「数学探検」では、活用する場面や実生活とのつながりなどの題材を紹介している。 ・学習の目標を示すことで見通しをもたせ、「Q」で学習することの素地を作り、「例」で具体的な学習内容の考え方を学習し、「問」で定着を図る。また、「問」の発展的問題については「☆」で示し学習を進めている。	・学習指導要領の数学科の目標に示されている「事象を数理的に考察し表現する能力を高めること」に関連し、身近な問題を用いながら、問題解決に向け、学習した複数の単元を取り入れて横断的に考える活動が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動の充実」に関連して、自分の考えを数学的に説明し伝え合う活動「伝え合おう」が設けられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育の充実」に関連して、空き缶回収、職場体験学習、スロープの傾斜などが取り上げられている。	【基礎・基本の確実な習得】 ・側注の「ふりかえり」では、本編との関係ページが示されている。 【思考力・判断力・表現力等の育成、言語活動の充実】 ・本文中の「見つけよう」「活用しよう」「伝え合おう」の表記により、性質を見いだしたり、活用したり、説明する問題が示され、思考力等の育成を図っている。 ・マークにより、活動のねらいが示されている。 【学習意欲の向上】 ・学習のめあてが示され、学習の見通しをもたせる工夫がされている。 【学習のつながり】 ・巻頭に算数の学習内容がまとめられている。本文中には、振り返りとして巻頭のまとめとの関係ページが示されている。 【個に応じた指導】 ・既習事項で定着が不十分の内容については、「ふりかえり」で確認することができる。また、関係のページも示されている。 ・学習状況により取り組むことができるように、「問」の中でやや難しい問題は「クローバー」の印で示されている。 【ノート、レポート作成に関すること】 ・「ノートのつくり方」では、ノートに書くことの注意点が示されている。	【単元構成に関すること】 ・1年 方程式 等式の性質の単元立てがある。平面図形 学習の順番が、移動、作図である。 ・2年 1次関数 グラフのかき方について1次関数のグラフの単元で扱っている。変化の割合、グラフ、グラフのかき方の順である。 ・3年 素因数分解 式の計算で扱っている。2次方程式 因数分解、平方根の形、解の公式の順である。 【学習の進め方に関すること】 ・巻頭に、既習事項のまとめと確認する問題を示している。 【学習内容に関すること】 ・方程式、連立方程式の利用問題の解の確かめについて、すべての場合で扱っている。 ・球の体積がぴったり入る円柱の2/3になることを、半球から円柱に水を移した写真で示している。 ・平行線と同位角の関係について、三角定規を用いた作図をもとに調べている。 ・2乗してaになる数について、a=2の場合で調べている。 【問題量(本文中の問題数)】 1年 正負の四則計算 13問 いろいろな方程式 12問 2年 いろいろな連立方程式 10問 3年 いろいろな因数分解 12問 平方根の四則(含分数) 16問 【巻末の補充問題について】 ・学習内容まとめがあり、「確認しよう」では、基礎基本に関すること、「UPU」「深めよう!」では、応用問題について出題している。 【装丁】 ・判型はB5判で、「再生紙と植物油インクを使用しています。」と表記されている。	【学習活動の表示】 ・単元の学習内容は三角形のマークを使い、枠で囲み示している。 ・単元の学習内容に迫る課題は「Q」として示している。 ・「例」「問」を色と形を変えて示し、「例」では要点を背景に色を付けて太字で示している。 ・新しく学ぶ語句は色を変えて示している。 【見やすさ】 ・本文では問題より、大きい活字が使われている。 ・ユニバーサルデザインの考えに基づき、より多くの人が利用しやすいように配慮しています。」と記載されている。 【神奈川県に関連すること】 1年: よこはま動物園ズーラシア 都道府県別面積の順位 (43位 神奈川県)

発行者の番号 略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日 文	中学数学1 中学数学2 中学数学3	・例題ごとに計算のしかたを吹き出しで示し、例題に対する問題として、「問」を設定している。また、側注の「チャレンジ問題」で習熟が図られるようにしている。 ・章末の「深める数学」「生活への利用」では、学んだことを深める問題や身の回りのことを解決する問題が設定され、思考力等の育成を図っている。また、「数学のたんけん」「数学研究室」では、数学の歴史や実生活とのつながりなどの題材が紹介されている。 ・「☆」で学習のねらいを示すことで見通しをもたせ、「Q」で学習することの素地を作り、「例」で具体的な学習内容の考え方を学習し、「問」で定着を図る。思考力等については、必要に応じて、「やってみよう」「話し合おう」を設け学習を進めるようにしている。	・学習指導要領の数学科の目標に示されている「数学的活動の楽しさやよさを実感すること」に関連し、身近な問題を導入問題として扱い、その後、その課題を数理的に考えさせ、より高い思考活動につながるよう構成されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動の充実」に関連して、みんなで話し合って解決する課題を示した「話し合おう」が設けられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育の充実」に関連して、空き缶回収、車いすマラソン大会、勾配(スロープ)などが取り上げられている。	【基礎・基本の確実な習得】 ・既習事項を振り返る必要があるときには、「Q」により問題が設定され、側注には、本編との関係ページが示されている。 【思考力・判断力・表現力等の育成、言語活動の充実】 ・本文中の「やってみよう」では、学んだことを活用する問題が設定され、思考力等の育成を図っている。 ・「説明できるかな？」では、自分の考えを表現する問題が設定されている。 【学習意欲の向上】 ・学習の見通しをもたせるために、学習のねらいが示されている。 【学習のつながり】 ・章のはじめに小学校の内容を振り返る問題があり、まとめとの関係ページが示されている。また、巻末には算数の内容のまとめとそれに対応した問題が設定されている。 【個に応じた指導】 ・既習事項で定着が不十分の内容については、「ふりかえり」で確認することができる。また、関係のページも示されている。 ・学習が早く進んだ生徒のために、「チャレンジ」では、「問」と同程度の問題が設定されている。 【ノート、レポート作成に関すること】 ・「ノートの工夫」「数学レポートをかこう」では、考えのまとめ方が例示されている。	【単元構成に関すること】 ・1年 方程式 等式の性質の単元立てがある。 平面図形 学習の順番が、移動、作図である。 ・2年 1次関数 グラフのかき方について単元立てをして扱っている。 変化の割合、グラフ、グラフのかき方の順である。 ・3年 素因数分解 式の計算で扱っている。 2次方程式 因数分解、平方根の形、解の公式の順である。 【学習内容に関すること】 ・方程式、連立方程式の利用問題の解の確かめについて、すべての場合で扱っている。 ・球の体積がぴったり入る円柱の2/3になることを、半球から円柱に水を移した写真と図で示している。 ・平行線と同位角の関係について、三角定規を用いた作図の写真をもとに調べている。 ・2乗してaになる数について、a=2の場合で調べている。 【問題量(本文中の問題数)】 1年 正負の四則計算 16問 いろいろな方程式 16問 2年 いろいろな連立方程式 12問 3年 いろいろな因数分解 16問 平方根の四則(含分数) 13問 【巻末の補充問題について】 ・前の学年の学習内容を確認する問題を出題している。「A問題」では、基礎基本に関することについて、「B問題」や「いろいろな問題」では、応用問題について出題している。 【装丁】 ・判型はB5判で、「植物油インキと再生紙を使用しています。」と表記されている。	【学習活動の表示】 ・単元の学習内容は星印を使い、太字で示している。 ・単元の学習内容に迫る課題は「Q」として示している。 ・「例」「問」を色と形及びマークを変えて示し、「例」では要点を背景を付けて太字で示している。 ・新しく学ぶ語句は背景に色を付け、太字で示している。 【見やすさ】 ・文章は読みやすい位置で改行している。 ・色覚などの個人差を問わず、より多くの人に必要な情報が伝わるようユニバーサルデザインに配慮しています。」と表記されている。 【神奈川県に関連すること】 1年:箱根の寄木細工 2年:気象庁ホームページ 3年:「富岳三十六景」 神奈川 冲浪裏 葛飾北斎 (1760年～1849年)

平成28年度使用
教科用図書審議結果
【中学校理科】

(⑦)

理 科 5種

発行者の番号略称	書 名
2 東書	新編 新しい科学
4 大日本	新版 理科の世界
11 学図	中学校科学
17 教出	自然の探究 中学校理科
61 啓林館	未来へひろがるサイエンス 未来へひろがるサイエンス マイノート

平成28年度使用教科用図書審議結果 ⑦

理科

	第1地区の特性	第2地区の特性	第3地区の特性	第4地区の特性
教科から見た 各地区の特性	・川崎市南部に位置し、工場地域や大規模商業地域、古くからある住宅が多い。また、近年においては、移転した工場跡地に大型マンションが建設されている。殿町にはライフサイエンス 環境分野を中心に、世界最高水準の研究開発から新産業を創出するオープンイノベーション拠点、キングスカイフロントがある。 ・多摩川の河口や東京湾の臨海地区にあり、大師河原干潟館や東扇島東公園かわさきの浜があり、河口や干潟の自然に触れることができる。また、浮島には太陽光発電所や環境について学べる科学館がある。 ・生徒は、好奇心が強く、観察・実験等の体験的な学習活動に積極的に取り組んでいる。 ・知的好奇心を刺激し、目的意識をもちながら探究活動に取り組ませ、理科を学ぶことの意義や有用性を実感させたい。そして、主体的に学習に取り組む姿勢を育み、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせ、科学的な思考力や表現力の育成につなげていきたい。	・古くから発展してきた商業地や住宅地がある地区であり、近年、新駅の開設や高層マンション等の建設が見られ、新旧の住宅が混在し、人口が増加している。 ・多摩川では「ガサガサ探検隊」や「とどろき水辺の学校」が開かれる等、自然に触れる機会を得ることができる。また、夢見ヶ崎動物公園や企業の博物館等の施設があり、自然科学に親しむことができる。 ・市民ミュージアムでは毎年、理科の自由研究の作品展が開催されており、レベルの高い作品を見て学ぶことができる。 ・生徒は、体験的な活動や観察・実験等に興味をもって、積極的に学習に取り組んでいる。 ・知的好奇心を刺激し、目的意識をもちながら探究活動に取り組ませ、理科を学ぶことの意義や有用性を実感させたい。そして、主体的に学習に取り組む姿勢を育み、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせ、科学的な思考力や表現力の育成につなげていきたい。	・駅周辺は比較的大きな商業地域として賑わい、近年の開発により大型マンション等が建設されているが、駅から少し離れた丘陵地には畑が広がる光景が見られる。 ・多摩川では河原が整備され、スポーツやレクリエーション等川に親しみながら活動することできる。また、緑豊かな雑木林や自然公園等があり、観察会や体験教室等が行われている。 ・KASTでは光触媒等の最先端技術に触れられるだけでなく、実験教室や講演会が開催されており、知的好奇心や探究心を育むことができる。 ・生徒は、身近な自然を感じる環境の中で、自然や科学に興味をもって、積極的に学習に取り組んでいる。 ・知的好奇心を刺激し、目的意識をもちながら探究活動に取り組ませ、理科を学ぶことの意義や有用性を実感させたい。そして、主体的に学習に取り組む姿勢を育み、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせ、科学的な思考力や表現力の育成につなげていきたい。	・川崎市北部に位置している。近年は急速に開発が進み、丘陵地にも新しい住宅が建ち、駅周辺では商業開発が進んでいるが、駅から離れると田畑や梨畑等がひろがる光景が見られる。農業等の地域資源を活用したまちづくりや新百合ヶ丘駅周辺における芸術のまちづくり等も推進されている。 ・多摩川の河原には、広場や運動場、自然環境情報を提供する「せせらぎ館」等がある。また、丘陵地には「かわさき宙と緑の科学館」や生田緑地等自然公園があり、プラネタリウムや観察会を通して自然を体験的に感じることができる。 ・生徒は、日常の中で自然に触れる機会があり、関心をもって意欲的に学習に取り組んでいる。 ・知的好奇心を刺激し、目的意識をもちながら探究活動に取り組ませ、理科を学ぶことの意義や有用性を実感させたい。そして、主体的に学習に取り組む姿勢を育み、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせ、科学的な思考力や表現力の育成につなげていきたい。
川崎の子どもが 学習をすすめて いく上での視点	○知的好奇心や探究心をもって、自然に親しみ、目的意識をもった観察・実験を行うことができる内容・構成等であること。 ○主体的に学習に取り組み、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着が図れる内容・構成等であること。 ○他者との協働的な学びの中で、科学的な思考力や表現力の育成が図られ、自分らしい生き方を実現していく力を身に付けていくことを促す内容・構成等であること。 ○理科を学ぶことの意義や有用性を実感することができる内容・構成等であること。			

平成28年度使用教科用図書審議結果 ⑦

理科

発行者 の番号 略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要 領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東 書	新編 新しい 科学 1	・導入の写真や組立式の付録で生徒の興味・関心を高めている。章の始めと終わりで自分の考えの修正をはかる場面を設定して、学習による変容を実感させ学ぶ意義を高めている。	・学習指導要領の理科の目標に示されている「科学的な見方や考え方を養う」に関連して、「学びを生かして考えよう」で、既習内容を確認し、それらを活用して考える場面が設けられている。	【基礎・基本の習得】 ・章末に「チェック」「学んだことをつなげよう」があり、基本的な言葉や概念を復習し確認できるようにしている。また、知識を活用し定着を図る問題として、単元末に「確かめと応用」があり、巻末には解答も付いている。 ・単元末の「学習内容の整理」で、重要語句を復習しやすくしており、本文では「？（課題）」に対する結論を「！（まとめ）」として明示している。 ・観察・実験の技能は「基礎操作」で示し、観察・実験とセットで紹介。注意を喚起する5種類の安全マークもある。顕微鏡やガスバーナーの使い方等は1年だけでなく、使用する学年の巻末に掲載している。	【構成】 ・各学年1冊で構成され、単元番号をつけて配列。1年は「生命」から始め、季節に配慮。全学年の配列に統一性はない。 ・2年の「化学変化と原子・分子」を「分解」から展開している。	【文字の書体・大きさ】 ・文字の大きさや書体、行間が内容により配慮されている。1年は文字を大きくしている。 ・裏表紙に「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」という記載がある。
	新編 新しい 科学 2	・単元末の「学習内容の整理」で、重要語句を復習しやすくしており、本文では「？（課題）」に対する結論を「！（まとめ）」として明示して知識の定着を促している。	・学習指導要領の改善の基本方針の一つである「体験活動の充実」に関連して、「どこでも科学」では「簡易カメラ」などの体験活動が取り上げられている。	【学習意欲の向上】 ・巻頭の「ビジュアル資料」で折込3ページや単元導入で見開き2ページにわたる写真で、生徒の興味・関心を高めている。 ・観察・実験のタイトルのすぐ下に、見出しとともに「目的」が明示されている。 ・「レッツトライ」や「どこでも科学」で、手軽なものづくりを紹介している。各学年の巻末に理解につながる組立式の付録がある。	【分量】 ・1年284ページ、2年300ページ、3年326ページ。 ・単元末の問題数は1年が128、2年が129、3年が171である。	【文章表現・用語の解説】 ・習得すべき理科用語を太字で表記している。 ・注意点を赤ゴシック体を用いて目立たせている。
	新編 新しい 科学 3	・生徒の話し合う場面のイラストや「書く」や「話す」のマークを随所に設定して、言語活動を促し、思考力・表現力の育成を図っている。	・学習指導要領の改善の基本方針の一つである「体験活動の充実」に関連して、「どこでも科学」では「簡易カメラ」などの体験活動が取り上げられている。	【思考力・表現力、言語活動の充実】 ・小学校の既習事項や「レッツトライ」による体験で不思議を見つけて課題「？」を設定して「観察・実験」→「観察から」「実験から」→「まとめ」という問題解決の流れで、科学的な思考力が身に付くようにしている。 ・生徒の話し合う場面のイラストを掲載したり、「書く」や「話す」マークを随所に設定したりして、言語活動をその都度促している。 ・章の始めと終わりに「before&after」を設定し、自分の考えの修正をはかる場面の設定や、「調べ方を考えよう」「考察しよう」「学びを生かして考えよう」など、学んだ知識を活用する場を設定し、思考や表現を促している。	【装丁】 ・B5判より幅が5mm大きい。 ・各学年、ペーパークラフトの付録が付属。 ・接着力と耐久性を併せもつ接着剤で製本し、本が開きやすくなっている。	【デザイン・レイアウト】 ・裏表紙に「全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。」と記載がある。 ・本文を中央に寄せたレイアウトになっている。 ・キャラクターや生徒・先生のイラストの会話が学習のポイントやヒントになっている。 ・右ページのページ番号横の写真がパラパラ漫画になっている。
4 大日本	新版 理科の 世界 1	・観察・実験の設定が多く、観察・実験で扱う技能は、「基本操作」で示し、観察・実験とセットで紹介している。顕微鏡やガスバーナーの使い方等は1年だけでなく、使用する学年の巻末に掲載している。	・学習指導要領の理科の目標に示されている「科学的な見方や考え方を養う」に関連して、「やってみよう」で観察・実験などを通して考える場面が設けられている。	【基礎・基本の習得】 ・学習を振り返る「問い」や、章ごとに「章末問題」を設定し、基本的な言葉や概念を復習し確認できるようにしている。また、知識を活用し定着を図る問題として、単元末に「単元末問題」があり、巻末には解答も付いている。 ・単元末の「まとめ」で重要語句の説明、チェック欄があり、用語の説明ができるよう促している。 ・観察・実験で扱う技能は、「基本操作」で示し、観察・実験とセットで紹介。顕微鏡やガスバーナーの使い方等は1年だけでなく、使用する学年の巻末に掲載している。	【構成】 ・各学年1冊で構成され、単元番号をつけて配列。1年は「生命」から始め、季節に配慮。全学年の配列に統一性はない。 ・2年の「化学変化と原子・分子」を「分解」から展開している。	【文字の書体・大きさ】 ・文字の大きさや書体、行間が内容により配慮されている。 ・裏表紙に「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」という記載がある。
	新版 理科の 世界 2	・「話し合ってみよう」や生徒の話し合う場面のイラストを掲載し、言語活動を促している。	・学習指導要領の改善の基本方針の一つである「体験活動の充実」に関連して、「やってみよう」では「慣性を実感してみよう」などの実験が取り上げられている。	【学習意欲の向上】 ・単元導入では1ページ分の写真で生徒の興味・関心を高めている。 ・観察・実験ではタイトルの中に「目的」が明示されている。 ・「自由研究にチャレンジしよう」や「ものづくりマーク」を付けて工作的な活動を紹介している。	【分量】 ・1年286ページ、2年310ページ、3年334ページ。 ・単元末の問題数は1年が196、2年が228、3年が245である。	【文章表現・用語の解説】 ・習得すべき理科用語を太字で表記している。 ・注意点をマークと黄色を背景にしたゴシック体を用いて目立たせている。
	新版 理科の 世界 3	・キャラクターや生徒・先生のイラストの会話が学習のポイントやヒントになっているなど、写真よりも意図のあるイラストを多く掲載している。	・学習指導要領の改善の基本方針の一つである「体験活動の充実」に関連して、「やってみよう」では「慣性を実感してみよう」などの実験が取り上げられている。	【思考力・表現力、言語活動の充実】 ・小学校の既習事項や本文中の写真や説明によって課題「？」を設定して「観察・実験」→「結果から考えてみよう」→「結果から分かること」という問題解決の流れで、科学的な思考力が身に付くようにしている。 ・「話し合ってみよう」や生徒の話し合う場面のイラストを掲載し、言語活動を促している。 ・各単元末の終章「学んだことを活かそう」により、学習したことを生かして探究し、表現する場を設定している。	【装丁】 ・版型はB5判。	【デザイン・レイアウト】 ・裏表紙に、「色覚などの個人差を問わず、より多くの人に必要な情報が伝わるようにユニバーサルデザインに配慮しています。」という記載がある。 ・本文を中央に寄せたレイアウトになっている。 ・キャラクターや生徒・先生のイラストの会話が学習のポイントやヒントになっている。 ・キャラクターや生徒の吹き出しの改行位置を読みやすくしている。

発行者 の番号 略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要 領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
11 学図	中学校 科学 1 中学校 科学 2 中学校 科学 3	・小学校の既習事項や本文中の写真を基に考える「話し合ってみよう」によって課題「？」を設定して「観察・実験」→「結果」→「考察とまとめ」→「問い」という問題解決の流れで、科学的な思考力が身に付くようにしている。 ・2年の「化学変化と原子・分子」を原子・分子から展開するなど、単元内の章の配列に工夫が見られる。 ・単元導入で見開きの写真とリード文で、生徒の興味・関心を高め、学習の動機付けを行っている。 ・各単元末に「科学を仕事に活かす」を配置し、学習内容と日常生活との関連が見えるようにし、キャリア教育につなげている。	・学習指導要領の理科の目標に示されている「科学的な見方や考え方を養う」に関連して、「話し合ってみよう」で話し合いを通して考察を深めていく場面が設けられている。 ・学習指導要領の改善の基本方針の一つである「体験活動の充実」に関連して、「チャレンジ」では「電池を作ろう」などの体験活動が取り上げられている。	【基礎・基本の習得】 ・学習を振り返る「問い」や、章ごとに「学習の確認」を設定し、基本的な言葉や概念を復習し確認できるようにしている。また、知識を活用し定着を図る問題として、単元末に「単元末問題」、巻末に学年の「まとめの問題」があり、解答も付いている。 ・各単元末の「学習のまとめ」に重要語句を朱色文字で示し、「基本的な用語」にチェックボックスを用意し、定着しているか確認できるようにしている。 ・観察・実験で扱う技能は、「基本操作」で示し、観察・実験とセットで紹介し、顕微鏡やガスバーナーの使い方等は1年だけでなく、使用する学年の巻末に掲載している。 【学習意欲の向上】 ・単元導入では、見開き2ページにわたる写真を掲載し、生徒の興味・関心を高めている。 ・本文中の「チャレンジ」や巻末の「自由研究」で、ものづくりの活動を取り入れている。 【思考力・表現力、言語活動の充実】 ・小学校の既習事項や本文中の写真を基に考える「話し合ってみよう」によって課題「？」を設定して「観察・実験」→「結果」→「考察とまとめ」→「問い」という問題解決の流れで、科学的な思考力が身に付くようにしている。2年「粒子」の単元など、章の配列を工夫し、生徒が知識を活用して思考しやすい流れにしている。 ・生徒の話し合う場面のイラストを掲載したり、本文中の「話し合ってみよう」や「問い」に活用マークや表現マークを付けたりして、言語活動をその都度促し、思考力・表現力を育成している。 【道徳教育の関連】 ・野外観察などを通して、生命尊重や自然環境の大切さに気付くようにしている。 ・「防災・減災の取り組み～地震・火山～」や「津波でんでんこ」など、生命を尊ぶ内容が取り上げられている。 【学習のつながり】 ・コラム「科学の窓」や各単元末の「科学を仕事に活かす」で、学習内容と日常生活との関連を見えるようにし、キャリア教育や環境教育にもつなげ、学ぶことの意義や有用性を実感できるようにしている。 ・「○○(教科名)とのつながり」で、他教科との関連を示している。 ・各単元の最初に「これまでに学んだことをチェックしよう」という問いがあり、章導入に「これまでに学んだこと」、本文中に「思い出してみよう」で、小学校理科や下位学年の既習事項が確認できるようにしている。 ・上位学年や高校につながる発展内容には、「発展」のマークを付けている。 【川崎市や神奈川県に関する内容や資料】 ・「県立フラワーセンター大船植物園」や「JAXA相模原」、観覧車などの写真が紹介。全体で神奈川県内13箇所。川崎市内はない。	【構成】 ・各学年1冊で構成され、前半に1分野(粒子・エネルギー)、後半に2分野(生命・地球)を単元番号をつけて配列。全学年の配列に統一性はない。 ・2年の「化学変化と原子・分子」を「原子・分子」から展開している。 【分量】 ・1年302ページ、2年312ページ、3年322ページ。 ・単元末の問題数は1年が146、2年が195、3年が179である。 【装丁】 ・版型はB5判。	【文字の書体・大きさ】 ・文字の大きさや書体、行間が学年や内容により配慮されている。 【文章表現・用語の解説】 ・習得すべき理科用語を大きく太い文字で表記している。 ・注意点を黄色を背景にした赤ゴシック体を用いて目立たせている。 【デザイン・レイアウト】 ・裏表紙に「だれにでも見やすくなりやすい教科書になるように、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトに配慮して編集しました。」という記載がある。 ・本文をページ左側に寄せたレイアウトになっている。 ・キャラクターや生徒・先生のイラストの会話が学習のポイントやヒントになっている。
17 教出	自然の探究 中学校 理科 1 自然の探究 中学校 理科 2 自然の探究 中学校 理科 3	・導入の写真や組立式の付録で生徒の興味・関心を高めている。 ・単元導入の「学んでいくこと」、側注の「思い出そう」で、小学校理科や下位学年の既習事項が確認しながら、単元で学んでいくことの見通しをもたせている。 ・コラム「ハローサイエンス」で科学と実生活との関連や環境教育にもつなげ、学ぶことの意義や有用性を実感できるようにしている。	・学習指導要領の理科の目標に示されている「科学的な見方や考え方を養う」に関連して「考えよう」で学習したことを活用して課題に取り組む場面が設けられている。 ・学習指導要領の改善の基本方針の一つである「体験活動の充実」に関連して、「皮膚の感覚を調べる実験」などの体感できる実験が取り上げられている。	【基礎・基本の習得】 ・節末や各章末に「要点をチェック!」、単元末に「基礎・基本問題」を設定し、基本的な言葉や概念を復習し確認できるようにしている。また、知識を活用し定着を図る問題として、単元末に「活用・応用問題」、巻末に学年の「学年総合問題」があり、巻末には解答も付いている。 ・各単元末の「要点と重要語句の整理」で重要語句を朱色で示し、学習内容をまとめており、振り返ることができる。 ・観察・実験で扱う技能は、「基礎技能」で示し、観察・実験とセットで紹介。注意を喚起する5種類の安全マークもある。顕微鏡やガスバーナーの使い方等は1年だけでなく、使用する学年の巻末に掲載している。 【学習意欲の向上】 ・単元導入では見開き2ページにわたる写真で、生徒の興味・関心を高めている。 ・各学年、巻末の自由研究の例にものづくりを紹介している。 ・1年カメラ作成シート、2年原子のモデルカード、3年星座早見作成シートの付録が付いている。 【思考力・表現力、言語活動の充実】 ・課題「？」を設定した後の「考えよう」「話し合おう」で課題の意味を明確にして「観察・実験」→「観察・実験から」→本文によるまとめという問題解決の流れで、科学的な思考力が身に付くようにしている。 ・「話し合おう」「考えよう」や学習後の「活用しよう」という場を設定し、言語活動の充実を図っている。 【道徳教育の関連】 ・単元導入やコラムなどで、生命尊重や自然環境の大切さに気付くようにしている。 ・1年「地震による災害とわたしたちの生活」で、防災に対する意識や自分の身を守るために普段から何をしておくことが大切かを考えさせている。 【学習のつながり】 ・コラム「ハローサイエンス」で科学と実生活との関連や環境教育にもつなげ、学ぶことの意義や有用性を実感できるようにしている。 ・巻末資料「理科で使う算数・数学」を全学年に掲載し、算数や数学の考え方を紹介している。 ・単元導入の「学んでいくこと」、側注の「思い出そう」で、小学校理科や下位学年の既習事項が確認できるようにしている。 ・上位学年や高校につながる発展内容には、「発展」のマークを付け、3年巻末には、高校で学習する科目を紹介している。 【川崎市や神奈川県に関する内容や資料】 ・川崎市の石油化学工場や「いたち川」、ジェットコースターなどの写真が紹介。全体で神奈川県内6箇所。川崎市内は1箇所。	【構成】 ・各学年1冊で構成され、前半に1分野(粒子・エネルギー)、後半に2分野(生命・地球)を単元番号をつけて配列。全学年、統一した配列である。 ・2年の「化学変化と原子・分子」を「分解」から展開している。 【分量】 ・1年282ページ、2年284ページ、3年314ページ。 ・配当時数は1年が105、2年が140、3年が140時間で設定。 ・単元末の問題数は1年が373、2年が415、3年が494である。 【装丁】 ・版型はB5判。 ・開きやすく、書き込みなどの作業がしやすい「網代綴じ」製本形式を採用。	【文字の書体・大きさ】 ・文字の大きさや書体、行間が内容により配慮されている。 【文章表現・用語の解説】 ・習得すべき理科用語を太字の朱色で表記している。 ・注意点を「!」マークとともに朱色ゴシック体を用いて目立たせている。 【デザイン・レイアウト】 ・裏表紙に、「色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。」という記載がある。 ・左側のページは、本文を中央に寄せたレイアウトになっている。右側のページについては、図や写真、説明が入るときは中央に寄せている。 ・問題解決の過程をキャラクターのマークを用いて分かりやすくしている。 ・キャラクターや生徒・先生のイラストの会話が学習のポイントやヒントになっている。

発行者 の番号 略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要 領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
61 啓林館	未来へ ひろがる サイエンス1 未来へ ひろがる サイエンス1 マイノート 未来へ ひろがる サイエンス2 未来へ ひろがる サイエンス2 マイノート 未来へ ひろがる サイエンス3 未来へ ひろがる サイエンス3 マイノート	・導入の写真を活用した 問いかけで生徒の興味・ 関心を高めている。そし て、それまでの既習事項 や、マイノートのサイエン スアプローチなどにより、 課題「？」を明確にして、 問題解決に向かう流れ で、科学的な思考力が身 に付くようにしている。 ・マイノートに直接書き込 んだり、青色シートの活用 で重要語句の復習を繰り 返したりして知識、技能の 定着が図れるようにしてい る。 ・図・写真はページの両側 か下部に置き、本文を中 央に寄せたレイアウトで、 生徒の思考と視線の流れ を一定にし分かりやすくし ている。	・学習指導要 領の理科の 目標に示され ている「科学 的な見方や 考え方を養 う」に関連し て、「考えて みよう」で学 習したことを 活用して考え る場面が設け られている。 ・学習指導要 領の改善の 基本方針の 一つである 「体験活動の 充実」に関連 して、「ためし てみよう」では 「すじ状の雲 をつくる実験」 などの補足実 験が取り上げ られている。	【基礎・基本の習得】 ・マイノートに「基本のチェック」があり、「用語の確認」、「観察・実験の確認」、「要点の確認」で、基本的な言葉や概念を復習し確認できるようにしている。また、知識を活用し定着を図る問題として、「力だめし」「単元末コーナー」「学年末総合問題」があり、巻末には解答も ついており、解説付きのものも多い。 ・単元末「学習のまとめ」、マイノート「用語の確認」で、重要語句の定着が図れるよう、青色シートを利用して繰り返し復習できる。 ・顕微鏡やガスバーナーの使い方等は関連近くに掲載し、特定の技能は「観察・実験のスキル」で、観察・実験とセットで紹介している。 注意を喚起する8種類の安全マーク(文字入り)もある。 ・マイノート「サイエンスアプローチ」に、グラフのかき方やスケッチの仕方などがあり、かいて習得ができる。 【学習意欲の向上】 ・単元導入では、見開き2ページにわたる写真と写真を活用した問いかけで、生徒の興味・関心、課題意識を高めている。 ・観察・実験のタイトルのすぐ下に見出しとともに「目的」が明示されている。方法がステップ分けされていて、見通しをもって取り組める。 【思考力・表現力、言語活動の充実】 ・小学校の既習事項やマイノート「サイエンスアプローチ」の「ふり返り」「考えてみよう」「予想してみよう」によって課題「？」を明確にして 「観察・実験」→本文によるまとめ、そしてさらなる知識の活用という問題解決の流れで、科学的な思考力が身に付くようにしている。 ・マイノート「サイエンスアプローチ」に表現する欄があり、「話し合ってみよう」や「理科における話し合いと発表」で言語活動をする場を設 けている。 ・マイノート「サイエンスアプローチ」により予想や考察が行いやすくなっており、思考・表現する時間の確保につながる。 【道徳教育の関連】 ・1年「活きている地球」、3年「これからの自然災害に向けて」などで、防災・減災に役立つ考え方や事例を、被災者、被災地域に配慮し ながら紹介し、未来に生かすように考えさせている。 【学習のつながり】 ・「ぶれいゝtime」は「部活ラボ」「はたらく人に聞いてみよう!」「先人の知恵袋」等、実生活や実社会、環境教育と関連付け、単元末「ひ ろがる世界」は実生活と関連する内容や将来期待される科学技術等を紹介し、学ぶことの意義や有用性を実感できるようにしている。 ・「ふり返り」や「なるほど」に、他教科と関連しているものには、その教科名を示している。 ・全学年「理科でよく使う算数・数学」を設け、算数や数学の考え方を紹介しマイノートで練習できる。 ・章導入や単元内の適所に「ふり返り」を設け、小学校理科や下位学年の既習事項が確認できるようにしている。 ・3年の「発展」のうち、高校理科の基礎科目につながる内容に、「〇〇基礎へ」のマークを付している。 【川崎市や神奈川県に関する内容や資料】 ・光触媒を加工した駅のテントや扇島太陽光発電所、バイオマス発電所などの写真が紹介。全体で神奈川県内20箇所。川崎市内は6 箇所。	【構成】 ・各学年、本冊と別冊で 構成され、「生命」「地 球」「物質」「エネル ギー」の順番で単元番 号を付けずに配列。 ・2年の「化学変化と原 子・分子」を「分解」から 展開している。 【分量】 ・本冊1年272ページ、2 年280ページ、3年304 ページ。別冊1年86 ページ、2年90ページ、 3年90ページ。 ・単元末の問題数は1年 が286、2年が407、3年 が326である。 【装丁】 ・版型はB5判。 ・各学年、青色シートが 付属、20人に1人と言わ れている色弱の生徒も 支障なく反復学習がで きる。 ・開きやすく、書き込み などの作業がしやすい 「網代綴じ」製本形式を 採用。	【文字の書体・大きさ】 ・文字の大きさや書体、行間が 内容により配慮されている。1年 は文字を大きくしている。 【文章表現・用語の解説】 ・習得すべき理科用語を太字で 表記している。 ・繰り返し学習する語句は青色 シートとの組み合わせで文字が 消える配色になっている。 ・注意点を「!」マークとともに赤 ゴシック体を用いて目立たせて いる。 【デザイン・レイアウト】 ・裏表紙に、「色覚の個人差を問 わず、より多くの人に必要な情報 が伝わるようデザイン・配色しまし た。現在、NPO法人カラーユニ バーサルデザイン機構の認証を 申請中です。」という記載があ る。 ・図、写真はページの両側か下 部に置き、本文を中央に寄せた レイアウトになっている。思考と視 線の流れを一定としている。 ・キャラクターや生徒・先生のイラ ストの会話が学習のポイントやヒ ントになっている。

平成28年度使用
教科用図書審議結果
【中学校音楽(一般)】

(⑦)

音楽(一般) 2種

[illegible]

平成28年度使用教科用図書審議結果⑦

音楽(一般)

	第1地区の特性	第2地区の特性	第3地区の特性	第4地区の特性
教科から見た 各地区の特性	・川崎市の南部、臨海部に位置し、江戸時代から宿場町として開かれていたところである。川崎市役所や区役所のほかに教育文化会館や裁判所、税務署など、市や県、国の公共施設が集まっている。 ・個性豊かで、活発に活動をする生徒が多く、音楽の学習においては素直に自らの思いを表現活動に生かしている。 ・音楽を知覚・感受する過程を大切にし、どのように音楽表現するかについて思いをもったり、鑑賞したりできるようにしていきたい。また、音楽的な感性を高めるとともに、思いやりの気持ちや豊かな心を育てたい。	・住宅地が多く点在する地域である。等々力緑地や夢見ヶ崎動物公園など、豊かな自然に恵まれているとともに、川崎市市民ミュージアムや川崎シンフォニーホールなど川崎市全体の中でも文化的な環境にも恵まれている。 ・明るく素直な生徒が多く、音楽の学習においても、関心をもちながら楽しんで表現活動する姿が見られる。 ・音楽を知覚・感受する過程を大切にし、どのように音楽表現するかについて思いをもったり、鑑賞したりできるようにしていきたい。また、音楽的な感性を高めるとともに、思いやりの気持ちや豊かな心を育てたい。	・緑豊かな丘陵地では、自然あふれる風景が見られる環境であるとともに、多摩川沿いの平地の駅周辺では商業地や住宅地が広がる。 ・高津区にある音楽大学との連携によって学生による演奏に触れる機会をもてる。 ・保護者の学校への関心が高く、地域によっては、低学年のうちからピアノなどの楽器を習っている生徒が比較的多い。また、音楽学習に対して前向きに活動したり、学び合ったりする姿が見られる。 ・音楽を知覚・感受する過程を大切にし、どのように音楽表現するかについて思いをもったり、鑑賞したりできるようにしていきたい。また、音楽的な感性を高めるとともに、思いやりの気持ちや豊かな心を育てたい。	・「芸術のまち」と呼ばれる新百合ヶ丘駅周辺では、子どもたちや音楽活動を楽しむ社会人と音楽大学とが連携した芸術祭が開かれ、芸術文化に触れる機会をもてる環境である。 ・ピアノや他の楽器の音楽教室に通っている生徒が多く、音楽学習においても前向きに取り組み、音楽表現の工夫をしたり、音楽を味わって聴いたりする姿が見られる。 ・音楽を知覚・感受する過程を大切にし、どのように音楽表現するかについて思いをもったり、鑑賞したりできるようにしていきたい。また、音楽的な感性を高めるとともに、思いやりの気持ちや豊かな心を育てたい。

川崎の子どもが 学習をすすめて いく上での視点	○楽しく音楽の学習に取り組むことができ、感性を高め、音楽を愛好する心情を育てることができる内容、構成等であること。 ○生徒が知覚・感受する一連のプロセスを大切にした、学びのある授業を展開することができる内容、構成等であること。 ○「音楽のまち かわさき」として、郷土を愛する気持ちや、思いやりの心を育てることができる内容、構成等であること。
-------------------------------	---

平成28年度使用教科用図書審議結果⑦

音楽(一般)

発行者の番号 略称	書 名	編集の趣旨と 工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教 出	中学音楽 1 音楽の おくりもの 中学音楽 2・3上 音楽の おくりもの 中学音楽 2・3下 音楽の おくりもの	・表現や鑑賞の学 習を通して、知識 や教養、基礎的 な能力を伸ばし、 各指導事項に即 した構成・内容が 工夫されている。 ・我が国の伝統的 な音楽や日本の 歌に親しみ、他国 を尊重する気持 ちを育む学習が 工夫されている。 ・音や音楽への興 味・関心を養い、 創造性を培うよう な工夫がされてい る。 ・歌い合わせ聴き 深める活動を通し て、自他の敬愛と 協力を重んずる 気持を育む学習 が工夫されている。	・学習指導要領の音楽科の目標に 示されている「音楽に対する感性」 及び「音楽活動の基礎的な能力」に 関連して、学習のねらいに即した学 習のポイントが、各教材の左ページ に2つの文で示されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な 改善事項である「伝統や文化に関 する教育の充実」に関連して、「日 本の民謡」「箏曲」「雅楽」「歌舞伎 」「能」「文楽」などの教材が取り上げ られ、その歴史や内容、特徴、舞台 表現などの写真が掲載されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な 改善事項である「道德教育の充実」 に関連して、「コンピュータと音楽」 や「わたしたちのくらしと音楽」で著 作権について記載されている。「音 のスケッチ」では、グループで話し 合い、協力しながら創り上げる学習 活動が設けられている。	【基礎・基本】 ・「どんな特徴の学習があるのかな？」の学習では、変奏曲を例に〔共通事項〕に着 目し、気付いたことと感じたことを話し合う学習が組み込まれている。 【思考力・判断力・表現力】 ・鑑賞の活動に関して、音楽の要素を感じ取るための投げかけの言葉を記述してい る。また、生徒が感じ取ったことを書き込めるスペースを設けて、根拠をもって批評す る言語活動につなげる工夫がなされている。 ・創作の学習では、「音のスケッチ」の中で、学年に応じた旋律づくりを扱い、創作の 手順が明確に示されている。また、ワークシートはどれも生徒の関心を引く内容と なっている。 【我が国の伝統音楽と歌唱共通教材】 ・我が国や郷土の伝統音楽について、折込カラー3ページの構成で資料を豊富にそ ろえてあり、鑑賞だけでなく、それぞれの音楽の特徴をより深く味わうための体験的 学習活動(表現活動や創作)が設定されている。 ・見開きの写真や縦書き歌詞、作者の言葉などを掲載しており、曲の背景や歌詞の 内容を理解しやすいように配慮しているため、歌唱のみならず鑑賞教材としても扱う ことができる。また、その歌曲を教材とした指揮法の学習が続くことで、情感を込めた 歌唱表現につなげる工夫がある。 【学習意欲】 ・巻頭の「With My Heart」のコーナーでは、演奏家や作曲家たちからの示唆に 富んだメッセージが掲載されている。 ・心を合わせて表現できる合唱曲が「歌のアルバム」に掲載されている。	【構成】 ・全学年とも、「音楽の 要素をとらえる」「さま ざまな音楽文化に親し む」「歌い合わせ聴き 深める喜び」の三部構 成とし、それぞれの教 材がどれに当たるかを 色分けして示してい る。 ・巻末には、学習資料 と合唱曲や参考曲の 「歌のアルバム」を掲 載している。 【分量】 ・各学年の総ページ数 は83ページ。 【装丁】 ・判型はAB判である。 ・無線綴じである。 ・環境にやさしい再生 紙と植物油インク、印 刷はグリーン電力を使 用している。	【表記・表現】 ・全体的に見やすくすっきりとしたレイアウ トである。配色に工夫があり、視認性が高 い。 ・新たな音楽用語が出てきた際に、それ らに着目して学習できるよう表記されてい る。 ・楽譜の記載されているページと説明・解 説のページを明確に分けて組んであり、 見やすく楽曲に集中しやすい表記となっ ている。 ・鑑賞では、全学年全曲の右端に作曲年 代を示す表記があり、西洋音楽と日本の 音楽とのリンクがしやすい。 ・カラー写真の折込ページが充実してお り、生徒が表現のイメージを深めることが 期待できる。 ・肖像で見る音楽年表は日本の作曲家も 含まれ、生徒の興味を引くレイアウトに なっている。 ・「この教科書は、色覚の個人差を問わ ず、より多くの人に見やすいカラーユニ バーサルデザインに配慮して作られてい ます。」と表記されている。
27 教 芸	中学生の 音楽 1 中学生の 音楽2・3 上 中学生の 音楽2・3 下	・学習内容と〔共 通事項〕との関連 を「音楽学習MA P」に示し、学習 の観点が明確に なるよう工夫され ている。 ・我が国の伝統的 な音楽や日本の 歌に親しみ、日本 人としての自覚を もつような学習が 工夫されている。 ・「創作」の学習な どを通して、主体 性や創造性を育 む学習が工夫さ れている。 ・道德教育に資す る歌唱教材を通し て、思いやりの心 を育むような工夫 がされている。	・学習指導要領の音楽科の目標に 示されている「音楽に対する感性」 及び「音楽活動の基礎的な能力」に 関連して、目次と見開きページの冒 頭に学習のねらいが記載され、各 教材に関わる〔共通事項〕がマーク で示されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な 改善事項である「伝統や文化に関 する教育の充実」に関連して、「箏 曲」「尺八曲」「日本の民謡」「歌舞 伎」「文楽」「日本の郷土芸能」「雅 楽」「能」などの教材が取り上げら れ、その歴史や内容、特徴、舞台表 現などの写真が掲載されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な 改善事項である「道德教育の充実」 に関連して、特集「ルールを守って 音楽を楽しもう！」では聴いたり演奏 したりする時の著作権などについて が記載されている。 「Let's create！」では、グループに 分かれ、イメージや構成を話し合い リズムアンサンブルを創作する活動 が設けられている。	【基礎・基本】 ・「音楽学習MAP」には〔共通事項〕が分かりやすく示されており、それぞれの教材 で何を学習するかが確認できるよう工夫されている。 【思考力・判断力・表現力】 ・鑑賞の活動に関して、楽曲を発展的な学習に広げる参考資料が多く掲載されてい ることから、総合的に音楽を味わい、根拠をもって感想を述べるなどの言語活動へと つながるような工夫がなされている。 ・指揮をする時のポイントは学年ごとに難易度が上がるようになっている。また、技能 面に関する資料だけでなく、自己のイメージや思いを伝える方法を示している。 ・創作について、リズムアンサンブル、図形を用いた記録、和音構成・言葉の抑揚を もとにした旋律づくりなどポイントをしばった学習活動が具体的に示されている。 【我が国の伝統音楽と歌唱共通教材】 ・日本の音楽の特徴の一つである序破急や拍のない自由なリズムを図や線で分かり やすく示している。 ・我が国で長く歌われ親しまれている歌曲を歌唱の共通教材として取り上げるにあたり、日本の自然や四季の変化を感じ取り、日本語のもつ美しさを味わえるように「心の 歌」として位置付けて、全学年にわたって掲載している。 ・小学校で共通教材として学習した「ふるさと」を変声等の発達段階に応じて全校で 取り組めるよう各学年用に編曲して掲載している。 【学習意欲】 ・梵鐘と立石寺を例に「音と静寂」という日本の感性に気付かせる記述や自然音や環 境音の取扱いなど、音楽が生活の中で果たす役割、生活に生かす発想について目 を向けるコメントが掲載されている。 ・「心通う合唱」では、中学生の心情に合った、みんなで歌い合わせることができる合 唱曲の教材選択であり、3年間を見通して変声期の声域の変化にも配慮した配列に なっている。	【構成】 ・目次はすっきりと見や すく、題材名が明確に なっている。 ・前半に表現活動がま とめられ、中間に鑑賞 教材が配置され、巻末 に生徒の状況に応じ て選択できる合唱曲と 楽典等の学習資料が まとめられている。 ・創作や鑑賞の題材に ワークシート形式の ページが取り入れら れ、教科書を使って思 考力を深める構成と なっている。 【分量】 ・各学年の総ページ数 は80ページ。 【装丁】 ・判型はAB判である。 ・糸綴じである。	【表記・表現】 ・それぞれの教材で扱う〔共通事項〕を マーク化したものが、題材名とともに各教 材に示してある。 ・合唱楽譜における音符の大きさ、五線 の太さ、楽譜の段と段の間隔が適切で、 生徒が見やすい。 ・巻末の「心通う合唱」では、各曲のポイ ントが〔共通事項〕と関連させながら解説 されている。 ・口絵の写真が美しく、楽器に関しては 特に大きく分かりやすくなっている。 ・学習のポイントが各教材に明確に示さ れており、写真選択が的確である。曲の イメージにあった挿絵、写真、イラストが 多く、生徒が親しみをもてるようになって いる。 ・「ユニバーサルデザイン」への取組とし て、「全ての生徒の色覚特性に適応する ことを目指してデザインしています。」「特 別支援教育の視点から、学習上重要な 情報を確実に読み取れるようにしていま す。」と表記されている。

平成28年度使用
教科用図書審議結果
【中学校音楽(器楽合奏)】
(⑦)

音 楽（器楽合奏） 2種

[illegible]

平成28年度使用教科用図書審議結果⑦

音楽(器楽合奏)

	第1地区の特性	第2地区の特性	第3地区の特性	第4地区の特性
教科から見た 各地区の特性	・川崎市の南部、臨海部に位置し、江戸時代から宿場町として開かれていたところである。川崎市役所や区役所のほかに教育文化会館や裁判所、税務署など、市や県、国の公共施設が集まっている。 ・個性豊かで、活発に活動をする生徒が多く、音楽の学習においては素直に自らの思いを表現活動に生かしている。 ・音楽を知覚・感受する過程を大切にし、どのように音楽表現するかについて思いをもったり、鑑賞したりできるようにしていきたい。また、日本の伝統音楽等の多様な音楽に触れ、音楽的な感性を高めたい。	・住宅地が多く点在する地域である。等々力緑地や夢見ヶ崎動物公園など、豊かな自然に恵まれているとともに、川崎市市民ミュージアムや川崎シンフォニーホールなど川崎市全体の中でも文化的な環境にも恵まれている。 ・明るく素直な生徒が多く、音楽の学習においても、関心をもちながら楽しんで表現活動する姿が見られる。 ・音楽を知覚・感受する過程を大切にし、どのように音楽表現するかについて思いをもったり、鑑賞したりできるようにしていきたい。また、日本の伝統音楽等の多様な音楽に触れ、音楽的な感性を高めたい。	・緑豊かな丘陵地では、自然あふれる風景が見られる環境であるとともに、多摩川沿いの平地の駅周辺では商業地や住宅地が広がる。 ・高津区にある音楽大学との連携によって学生による演奏に触れる機会をもてる。 ・保護者の学校への関心が高く、地域によっては、低学年のうちからピアノなどの楽器を習っている生徒が比較的多い。また、音楽学習に対して前向きに活動したり、学び合ったりする姿が見られる。 ・音楽を知覚・感受する過程を大切にし、どのように音楽表現するかについて思いをもったり、鑑賞したりできるようにしていきたい。また、日本の伝統音楽等の多様な音楽に触れ、音楽的な感性を高めたい。	・「芸術のまち」と呼ばれる新百合ヶ丘駅周辺では、子どもたちや音楽活動を楽しむ社会人と音楽大学とが連携した芸術祭が開かれ、芸術文化に触れる機会をもてる環境である。 ・ピアノや他の楽器の音楽教室に通っている生徒が多く、音楽学習においても前向きに取り組み、音楽表現の工夫をしたり、音楽を味わって聴いたりする姿が見られる。 ・音楽を知覚・感受する過程を大切にし、どのように音楽表現するかについて思いをもったり、鑑賞したりできるようにしていきたい。また、日本の伝統音楽等の多様な音楽に触れ、音楽的な感性を高めたい。
川崎の子どもが 学習をすすめて いく上での視点	○楽しく音楽の学習に取り組むことができ、感性を高め、音楽を愛好する心情を育てることができる内容、構成等であること。 ○和楽器の学習を通して、日本の伝統文化のよさを体感する授業を展開することができる内容、構成等であること。			

平成28年度使用教科用図書審議結果⑦

音楽（器楽合奏）

発行者の番号 略称	書 名	編集の趣旨 と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教 出	中学器楽 音楽のおくり もの	・楽器の特徴 を捉え、知識 や教養、基礎 的な能力を伸 ばし、各指導 事項に即した 構成・内容が 工夫されてい る。 ・我が国と郷土 を愛するととも に、他国を尊 重する気持ちを 育む学習が 工夫されてい る。 ・音や音楽へ の興味・関心 を養い、創造 性を培うような 工夫がされて いる。	・学習指導要領の音楽科の目標に示さ れている「音楽に対する感性」及び「音 楽活動の基礎的な能力」に関連して、 それぞれの楽器の基礎的な奏法につ いて学習でき、リコーダーでは、ステッ プを踏んで学習できる教材が配列され ている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改 善事項である「伝統や文化に関する教 育の充実」に関連して、箏や三味線、 太鼓、篠笛、尺八などの和楽器の奏法 について、写真が掲載され解説されて いる。 ・学習指導要領の教育内容の主な改 善事項である「道徳教育の充実」に関 連して、「With My Heart 奏でる喜び」 の中で、音楽家の演奏写真や中学生 へのメッセージが掲載されている。和 楽器の演奏家からは、チャレンジする 大切さや楽器とのかかわりの大切さな どのメッセージが記載されている。	【基礎・基本】 ・「Let’s Sing!」「Let’s Try!」に扱われている楽曲には、〔共通事項〕に即したねら いが記載されている。 【思考力・判断力・表現力】 ・箏と篠笛の学習と関連付け、旋律を創作する学習がワークシート形式で掲載されている。 【我が国の伝統音楽】 ・和楽器の学習では、それぞれの楽器で「唱歌」を取り上げている。 ・「箏」の学習では、縦譜と五線譜の両方の楽譜が記載されている。また、いろいろな奏 法を写真と文章で説明している。 ・日本の楽器と音楽についての資料が、折込カラー3ページの構成でそろえられてい る。 ・三味線の学習では奏法だけでなく、糸の張り方、駒の付け方まで詳しく掲載されてい る。 ・発展的な学習として、横笛作りの体験学習のコーナーがある。 【小学校で学習した楽器の扱い】 ・リコーダーの学習では、ソプラノリコーダーとアルトリコーダーを段階を踏んで学習でき るような教材が配列されており、美しい音の出し方などの演奏のポイントが示されてい る。 【学習意欲】 ・合奏曲が数多く掲載され、また、和楽器だけのアンサンブル、リコーダーと箏（和楽器） のアンサンブルやボディ・パーカッション等、生徒が楽しみながら演奏できる教材が記載 されている。	【構成】 ・前半は、アルトリコー ダーとギターに続き、 箏・三味線・太鼓・篠 笛・尺八の5種類の和 楽器の基礎的奏法を 記載している。後半 は、アンサンブル譜や 名曲の一部を取り上げ た譜例で構成されて おり、解説部分と譜例 集が明確に分けて構 成されていて分かりや すい。 【分量】 ・総ページ数は98 ページ。 【装丁】 ・判型はAB判である。 ・無線綴じである。 ・環境にやさしい再生 紙と植物油インク、印 刷はグリーン電力を使用している。	【表記・表現】 ・各ページの右端に楽器名やタイトル のインデックスが表示されている。 ・各楽器の説明には、部分的に拡大 した写真と全身が写っている写真が 効果的に掲載されている。 ・ギターとキーボードのコード表が手 元の写真付きで載っており、自分が演 奏するときの参考にしやすい。 ・「この教科書は、色覚の個人差を問 わず、より多くの人に見やすいカラー ユニバーサルデザインに配慮して作 られています。」と表記されている。
27 教 芸	中学生の 器楽	・学習内容と 〔共通事項〕と の関連を「音 楽学習MAP」 に示し、演奏 のポイントが明 確になるよう工 夫されている。 ・我が国や諸 外国の音楽文 化に親しみ、 各楽器への理 解が深められ る工夫がされ ている。 ・楽器への憧 れをもたせ、創 造的に音楽活 動にかかわる ような教材が工 夫されている。	・学習指導要領の音楽科の目標に示 されている「音楽に対する感性」及び 「音楽活動の基礎的な能力」に関連して、 学習内容と教材の関連を「音楽学 習MAP」に示し、音楽を形づくっている 要素〔共通事項〕アとの関連を「学習の 窓口」として取り上げている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改 善事項である「伝統や文化に関する教 育の充実」に関連して、和楽器では、 「楽器を知ろう」のコーナーで、奏法だ けではなく各楽器の伝来ルートや歴 史、種類、他の楽器との比較が掲載さ れている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改 善事項である「道徳教育の充実」に関 連して、「楽器と出会う」の中で、日本 の若い演奏家からの楽器紹介や演奏 者の写真が掲載されている。演奏家か らのメッセージには、楽器に出会った きっかけや楽器への思いなど演奏家 の生き方や伝えたいことなどが示され ている。	【基礎・基本】 ・音楽学習MAPには〔共通事項〕が分かりやすく示されており、それぞれの教材で何を 学習するかが確認できるよう工夫されている。 【思考力・判断力・表現力】 ・箏の学習と関連付け、旋律を創作する学習がワークシート形式で掲載されている。 【我が国の伝統音楽】 ・和楽器の学習では、それぞれの楽器で「唱歌」を取り上げている。また、短い練習曲が 数曲掲載され、それぞれに演奏のポイントが記載されている。 【小学校で学習した楽器の扱い】 ・リコーダーの学習では、アルトリコーダーを中心として段階を踏んで学習できるような教 材が配列されており、QA形式でアドバイ스가示されている。 【学習意欲】 ・分かりやすい編曲で、親しみやすいアンサンブル曲が多数掲載されている。 ・打楽器の基本的な奏法とリズム譜が記載され、実践練習を伴ったページが設けられて いる。	【構成】 ・前半は、アルトリコー ダーとギターに続き、 箏・三味線・太鼓・篠 笛・尺八の5種類の和 楽器の基礎的奏法を 記載している。後半 は、アンサンブル譜や 名曲の一部を取り上げ た譜例で構成されて おり、解説部分と譜例 集が明確に分けて構 成されていて分かりや すい。 【分量】 ・総ページ数は89 ページ。 【装丁】 ・判型はAB判である。 ・糸綴じである。	【表記・表現】 ・アンサンブル曲には、各曲とも〔共通 事項〕を踏まえた演奏上のポイントが 記載されている。 ・各楽器の説明には、部分的に拡大 した写真と全身が写っている写真が 効果的に掲載されている。 ・「ユニバーサルデザイン」への取組と して、「全ての生徒の色覚特性に適応 することを目指してデザインしていま す。」「特別支援教育の視点から、学 習上重要な情報を確実に読み取れる ようにしています。」と表記されてい る。

平成28年度使用
教科用図書審議結果
【中学校美術】

(⑦)

美術 3種

発行者の番号略称	書名
9 開隆堂	美術
38 光村	美術
116 日文	美術

平成28年度使用教科用図書審議結果 ⑦

美術

	第1地区の特性	第2地区の特性	第3地区の特性	第4地区の特性
教科から見た 各地区の特性	川崎市の中心地で古くから開けた地域である。臨海部に面した京浜工業地帯の一翼を担う地域である。 川崎大師や東海道かわさき宿などの施設があり、伝統的な文化に触れることができる環境である。 生徒は人なつっこい面が感じられ、明るく活動的な生徒が多い。興味・関心をもつ題材や課題に対しては、意欲をもち主体的に取り組む姿が見られる。 地域や学校の実態に応じた題材設定が行われ、表現と鑑賞の活動を通して、生徒の豊かな情操を養いたい。	交通の便がよく、新しくマンションが建設され、他地区からの転入が増えてきている。多摩川沿いの緑が多く、自然に恵まれている地域もある。 近年大型商業施設やホールが建設され、周辺にはパブリックアートが多く設置されている。また川崎市民ミュージアムがあり、美術館とのつながりも深い。 興味・関心をもって授業に取り組む生徒が多く、向上心をもちよりよい作品作りに取組もうとする姿が見られる。 地域や学校の実態に応じた題材設定が行われ、表現と鑑賞の活動を通して、生徒の豊かな情操を養いたい。	古くからの市街地と新たに開発された住宅地があり、地域ごとの特徴が異なる地区である。 森林公園など自然豊かな場所も多くあり、日常的に自然素材と触れ合うことができる地域と、商業地区で自然素材が簡単に入手できない地域が混在している。 学習に対する意識は高く、鑑賞や表現についての基礎的な知識を身に付けている生徒が多い。自分なりの発想で活動でき、前向きに学習に取り組んでいる。 地域や学校の実態に応じた題材設定が行われ、表現と鑑賞の活動を通して、生徒の豊かな情操を養いたい。	歴史の古い住宅地と、現在も開発が進められている新興住宅地とで構成された地区である。 川崎市アートセンターや岡本太郎美術館など芸術文化に関する豊かな地域資源が存在している。 学習に対する意識が高く、習い事に通う生徒が多い。自ら考え主体的に活動したり、自分の思いから発想を広げたりするなど、個性豊かな作品作りができる生徒も多い。 地域や学校の実態に応じた題材設定が行われ、表現と鑑賞の活動を通して、生徒の豊かな情操を養いたい。

川崎の子どもが 学習をすすめて いく上での視点	○生徒が主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、生涯にわたって美術を愛好する心情を育むことができる内容・構成等であること。 ○地域や学校の実態、生徒の状況に合わせ、表現と鑑賞のバランスの取れた題材を選択したり組み合わせたりして、十分活用できる内容・構成等であること。 ○豊かに発想し、構想する能力や自分の思いを創意工夫し表現する力が伸ばせるものであり、美術文化に対する理解を深め、豊かな情操を養うことのできる内容・構成等であること。
-------------------------------	--

平成28年度使用教科用図書審議結果⑦

美術

発行者の番号略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
9 開隆堂	美術 1 美術 2 ・ 3	・学習目標や学習の具体的な方法、培うべき資質や能力、学習の振り返りを整理して紙面に示し、全体として美術科の目標を達成できるように配慮している。 ・すべての生徒にとって分かりやすく、見やすい魅力的な紙面で、基礎的な学習の方法や、多彩な資料などを配置している。 ・学習活動の見通しと振り返りを示すことで生徒の自立を促し、「美術文化の学習を通した人間教育」を目指している。	・学習指導要領の美術科の目標に示されている「美術の創造活動の喜び」及び「美術文化についての理解」に関連して、作品についての表現方法の解説や、鑑賞のきっかけとなるような問いかけが題材として取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動」に関連して、作品の説明ボードや、紹介カードを活用して、自分の作品を紹介する題材が示されている。また、言葉で心の中を整理し、資料を集める活動が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育の充実」に関連して、他者理解や人とのつながり、命や平和について考える作品が取り上げられている。	【題材の取扱い】 ・各学年の制作方法の手順や技法など基礎的な内容をおさえている。 ・日本文化の学習については、発展的な題材につながるよう工夫している。 ・鑑賞への「気づき」を促す発問を統一した形で分かりやすく掲載されている。 ・題材ごとのリード文の中に、〔共通事項〕の視点を意識できるような文章が示されている。 【言語活動の充実について】 ・自分たちの作品を紹介しあい、発表したり、交流したりする題材を設定している。 ・デザインのプロセスを通じて言語活動を活発に行い、コミュニケーションの広がりをもてるような活動を取り入れている。 【基礎的・基本的な技能】 ・1学年ではパレットコーナーで色彩について、道具箱では木工等の技法について扱っている。 ・基礎的な技法や知識など習得したい内容については、各題材のページの中に、統一した枠の中にまとめられている。 【学習のつながり】 ・ユニバーサルデザインや学校行事の装飾、身近な暮らしの中にある作品などを紹介し、生活の中の美術の働きについて意識したページが多くある。 【学習意欲】 ・美術に共通するプロセスを「集める・試す・組み立てる」といったシンプルな形で巻頭に示し学習を分かりやすく説明している。	【構成上の特徴】 ・各題材を「絵や彫刻」と「デザインや工芸」の表現の領域で示し、鑑賞は資料的な内容として示されている。 ・どのような力が身に付いたのか確かめられるよう、各題材の終わりに「ふりかえり」として、4観点からの記述がある。 ・題材の範囲に応じて2ページから8ページ構成となっており、学校の実態に合わせ、多様な学習が進められる構成である。 【文字と図版の分量】 ・見開きや実物大の作品など、図版を大きく扱っている。 ・リード文以外の他の文章説明は、かこみ枠の中に示している。 【装丁】 ・判型はA4判。美術1(57ページ)、美術2・3(107ページ)の2分冊。	【表記】 ・カラーユニバーサルデザインに配慮し、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒に見やすいようにつくられている。 ・タイトルの大きさや配置に変化を加え、楽しく見やすい。 ・題材で学ぶべき内容をタイトルで表わしている。 【リード文の表現】 ・各題材で大切にしたい学習活動や、育てたい力を分かりやすく示した文章である。 【作品説明の表現】 ・作品には「作者の言葉」と作品の技法的な解説とを分けて示している。 ・作家の作品には、発達段階に即した知識や情報が統一したコラムとして記述されている。
38 光村	美術 1 美術 2 ・ 3	・美術科で身に付けた力を生かすことができるよう、美術が私たちの暮らしや社会を美しく豊かにすることを実感できるように編集されている。 ・授業で十分活用できる「発想・構想を広げるためにヒント」や巻末の「技法や用具の使い方」などを充実させている。 ・美術は特定の人だけではなく、誰もが心豊かに生きていくために必要だということを生徒が実感できるように編集されている。	・学習指導要領の美術科の目標に示されている「美術の創造活動の喜び」及び「美術文化についての理解」に関連して、日本及び諸外国の作品の表現の特徴を原寸大で鑑賞する題材が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動」に関連して、詩の言葉と美術作品を関連づけた題材が示されている。また、作品を鑑賞し、互いに話し合う活動や、作品についてレポートにまとめる活動が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育の充実」に関連して、思いやりや伝統文化、自然や人権などについて考える作品が取り上げられている。	【題材の取扱い】 ・各学年ともに、表現の題材では「描く活動」と「つくる活動」のどちらの活動も体験できるように、さまざまな種類の題材を取り上げ掲載している。 ・〔共通事項〕に関する問いかけをマークで示すとともに内容を記し、すべての学習活動の中で意識できるようになっている。 ・共同で行う創造活動として、美術2・3「ともにつくる喜び」では大きな作品を仕上げる手順や、生徒の感想が書かれている。 【言語活動の充実について】 ・鑑賞では題材を広げ、深め、膨らませることができるように、詩などの言語表現と合わせて掲載されている。 ・作品を手渡したり、説明したりする活動を通して、他者とのコミュニケーション能力を育成する題材が設定されている。 【基礎的・基本的な技能】 ・「学習を支える資料」のページがあり、その中で技法や素材、色彩、美術史に関わることなどを広く扱っており、今まで資料集で補足していた部分が教科書で補えるようになっている。 【学習のつながり】 ・生活に生かせる美術の活動を取り上げ、「生活に生かそう」マークで示している。 ・美術1の巻頭では小学校図画工作の学習とのつながりを配慮したページを設定している。 【学習意欲】 ・谷川俊太郎の「うつくしい！」の詩を美術1、美術2・3を通して掲載し、美術の本質を伝え、意欲をもたせる工夫をしている。	【構成上の特徴】 ・表現中心の題材と、鑑賞中心の題材をそれぞれ「絵や彫刻など」、「デザインや工芸など」にインデックスで明確に分けている。 ・各題材で身に付けたい力を4観点からの目標として、題材名の横に示されている。 ・2ページ構成が中心だが、4ページ題材には「みんなの工夫」を設け、発想を促している。 【文字と写真の分量】 ・見開きや実物大の作品など、図版を大きく扱っている。 ・リード文は文字が大きくなっており、その他の情報とフォントで区別されている。 【装丁】 ・判型はA4判で美術1(67ページ)と美術2・3(105ページ)の2分冊。	【表記】 ・色覚特性や特別支援教育の観点から専門家による校閲を受け、ユニバーサルデザインの観点に配慮している。 ・題材のねらいを的確なタイトルでシンプルに表している。 【リード文の表現】 ・地域とのつながりを意識した導入であったり、身近なものとの関連を意識させたりする内容である。 【作品説明の表現】 ・ポイントとなる作品には「作者の言葉」というマークをつけ、作家の言葉、生徒の言葉を掲載している。

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日 文	美術 1 出会いと広がり 美術 2・3 上 学びの深まり 美術 2・3 下 美の探求	・生徒の「生きる力」を育成する目的をもって題材の設定や図版の選定にあたっている。 ・美術における基礎・基本を重視し、確かな技能や様々な能力が習得できるように学ぶべき事項を整理して丁寧な解説をつけ、分かりやすい題材としてまとめている。 ・美術の学習が自己表現に終わるのではなく、自然や環境、生活などと美術の関係について考えることから、豊かな心を育むように留意している。	・学習指導要領の美術科の目標に示されている「美術の創造活動の喜び」及び「美術文化についての理解」に関連して、時代や地域によって異なる作品が掲載され、現代作家の作品が制作場面とともに取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動」に関連して、物の動きや表情に着目し、考えたことを話し合う活動が示されている。また、作品を鑑賞し、レポートにまとめるなどの活動が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育の充実」に関連して、思いやりや郷土愛、個性の尊重などについて考える作品が取り上げられている。	【題材の取扱い】 ・3年間の学びを意識した各学年テーマを設けており、偏りのない幅広い題材を取り上げている。 ・表現の参考となるような作家作品を例示し、表現と鑑賞の一体化を図った題材を示している。 ・題材ごとの「学びのねらい」やリード文の中に〔共通事項〕の視点を意識できるような文章が示されている。 ・美術2・3下には「共同制作の魅力」で他者と協力して制作する活動が取り上げられている。 【言語活動の充実】 ・制作後に作品のプレゼンテーションを行う題材を設定し、他者に伝えていく力の育成を図っている。 【基礎的・基本的な技能】 ・「学習に役立つ資料」として鑑賞、技法、色彩の資料が掲載されている。特に色彩の資料が充実している。 【学習のつながり】 ・表現では環境や自然に配慮したデザインを通して、環境問題を考えさせるような題材が取り上げられている。 ・鑑賞では文化財と伝統工芸の学びから、地域に目を向けるよう配慮されている。 ・美術1の巻頭では小学校図画工作科の学習とのつながりを配慮したページを、中学校美術からの巣立ちのページを設け、それぞれの発達段階における美術の役割を示している。 【学習意欲】 ・各学年のサブタイトルで、それぞれの発達段階で学ぶべきテーマを伝え見通しをもたせている。	【構成の特徴】 ・表現中心の題材と、鑑賞中心の題材をそれぞれ「絵や彫刻など」、「デザインや工芸など」にインデックスで明確に分けている。 ・鑑賞題材のページに記載されている「参照のマーク」では、関わる表現のページを示している。 ・各題材に「POINT」が記載されており、学びの視点が明確である。 ・各題材に「学びのねらい」が4観点から示されている。 【文字と写真の分量】 ・見開きの実物大の浮世絵のページに和紙を使用している。 ・文字の分量は題材の内容に合わせ、変化している。 【装丁】 ・判型は、A4判変形。横幅がやや広い。美術1(59ページ)、美術2・3上(57ページ)、2・3下(57ページ)の3分冊。	【表記】 ・特別支援教育の専門家からの校閲を受け、ユニバーサルデザイン、カラーユニバーサルデザインの観点から配慮がなされている。 ・題材のねらいを的確なタイトルで示し、サブタイトルで表現する内容を伝えている。 【リード文の表現】 ・題材を発想するポイントなどが含まれている記述である。 【作品説明の表現】 ・多くの作品に「作者の言葉」として作者本人の思いを言葉で示し、技法のポイントとなる作品には解説が示されている。

平成28年度使用
教科用図書審議結果
【中学校保健体育】

(⑦)

保健体育 4種

発行者の番号略称	書名
2 東書	新編 新しい保健体育
4 大日本	新版 中学校保健体育
50 大修館	保健体育
224 学研	新・中学保健体育

平成28年度使用教科用図書審議結果 ⑦

保健体育

	第1地区の特性	第2地区の特性	第3地区の特性	第4地区の特性
教科から見た 各地区の特性	・多摩川と東京湾に面した地域である。古くからの京浜工業地帯の中心を担った大工場群が臨海地域にみられる。近年は環境に重きをおいた工場や施設が増加した。 ・ターミナル駅である川崎駅周辺には市役所など公共施設や繁華街をもつ。ターミナル駅と臨海部に挟まれた地域には住宅地が広がっている。近年、工場跡地にマンションや大型店舗が建設され、人の流れにも変化が見られる。 ・域には山、坂がほとんどないので、交通機関を利用するよりも自転車で移動する生徒が多い。下町的な雰囲気の中、生徒たちは明るくのびのび生活しており、近隣の公立高等学校に進学を希望している生徒が多い。 ・体育の授業では、特にゲーム・ボール運動領域に強い関心を示す。 ・他者とかかわる学習活動を通して、思考力・判断力・表現力等を育てたい。また、健やかな体を育成するために、健康の保持増進に取り組むための実践力を育てたい。	・川崎駅付近から、等々力緑地付近まで、他地区に比べ南北に広い形で位置されている。 ・近年では、川崎駅周辺や武蔵小杉駅周辺で大規模開発がなされ、目覚ましい発展を見せている地域でもある。その反面、開発されていない昔ながらの地域も残っており、等々力緑地や夢見ヶ崎動物公園周辺など自然に恵まれた地域も残っている。 ・生徒たちは活発で人懐こく、活気にあふれている。 ・体育の授業では、何事にも一生懸命活動する生徒が多い。また、チーム内で役割分担をし、作戦を立て、その作戦がうまくいった時に喜びを感じている生徒が多い。 ・他者とかかわる学習活動を通して、思考力・判断力・表現力等を育てたい。また、健やかな体を育成するために、健康の保持増進に取り組むための実践力を育てたい。	・川崎市の中央に位置し、横浜市に隣接している学校もある。地域によって、駅が近くマンションが増加しているところ、団地が多いところ、閑静な住宅街が多いところもあり、保護者の考え方も様々である。 ・生徒は明るくのびのびとしており、学びを深めていきたいと考えている意欲的な生徒や、身近な問題にも関心をいただくことができる生徒が多い。 ・スポーツに対しても高い関心をもっている生徒が多く、クラブスポーツ活動なども盛んである。 ・体育の授業では競争を好む生徒が多い。特に陸上競技のリレーに強い関心を示す。 ・他者とかかわる学習活動を通して、思考力・判断力・表現力等を育てたい。また、健やかな体を育成するために、健康の保持増進に取り組むための実践力を育てたい。	・川崎市北部に位置し、東京都との間に流れる多摩川や緑の多い山林部を残す自然に恵まれた地域である。 ・南武沿線には多摩川や二ヶ領用水も流れており、その昔農業が盛んだった地域でもある。一方、小田急沿線は多くの自然が残されているが、都内と結ばれていることもあり、住宅地の開発や町の整備が進んでいる。 ・学区の広い学校では、生徒によっては時間をかけて徒歩で通学したり、交通機関を利用して通学する生徒も少なくない。 ・体育の授業では技能習得のポイントや練習方法を理解すると、工夫して取り組む生徒が多い。 ・他者とかかわる学習活動を通して、思考力・判断力・表現力等を育てたい。また、健やかな体を育成するために、健康の保持増進に取り組むための実践力を育てたい。
川崎の子どもが 学習をすすめて いく上での視点	○「健やかな心身」を育成するための実践力を身に付け、健康の保持増進に取り組むことができる内容・構成等であること。 ○知識を活用しながら他者とかかわる学習活動を行うことにより、思考力・判断力・表現力等を育成していくことができる内容・構成等であること。 ○生徒が現在及び将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に、科学的な思考と正しい判断の下に意志決定や行動選択ができるような内容・構成等であること。			

平成28年度使用教科用図書審議結果 ⑦

保健体育

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東 書	新編 新しい保健体育	・学習した知識を活用する学習活動を通して、思考力・判断力・表現力等を育むことができるように工夫している。 ・身近な生活を学習内容に取り上げ、実践力の育成が図れるように工夫している。 ・他者とかかわる活動を多く取り上げ、言語活動が充実するように工夫している。	・学習指導要領の保健体育科の目標に示されている「明るく豊かな生活を営む態度を育てる」に関連して、環境に合わせて快適に生活を送る方法を考えさせる課題が記載されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善項目である「伝統や文化」に関連して、ソチオリンピックの視察団の中学生が書道を通じて現地の中学生と交流している様子が掲載されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道德教育の充実」に関連して、胎児を育てる母体の神秘において、胎児の写真と助産師のメッセージを掲載し、命の尊さを伝える記載がある。	【基礎・基本の習得】 ・基礎・基本を習得するために、「今日の学習」「やってみよう」「本文」「考えてみよう」「生かそう」という学習の流れがある。 ・「学習を振り返ろう」というページがあり、学習の定着に配慮した内容になっている。 【思考力・判断力・表現力等の育成と言語活動の充実】 ・「やってみよう」「考えてみよう」では、話し合ったり発表したり記述したりすることができるようになっており、言語活動が充実するように工夫されている。 【実践的な内容】 ・実践力を育むために「生かそう」があり、学習したことを自分の生活に生かせるように配慮している。 【学習意欲を高める工夫】 ・学習内容に関連のある「Q&A」や学習を深める「読み物」があり、学習意欲を高めるための工夫がされている。 ・2年生の「傷害の防止」では、交通環境整備の例として川崎市の道路の状況の写真が使われている。 【今日的な課題の取扱い】 ・生徒にとって身近な今日的な課題（防災、犯罪被害、心の健康、情報教育、食育、キャリア教育、環境、人権・共生）を取り上げている。 ・スポーツへの興味・関心が高まるような資料が豊富にある。 【学習のつながり】 ・章末に発展的な資料（章末資料）を掲載している。 ・保健や体育、スポーツに関連する職業を豊富に紹介している。	【構成】 ・「今日の学習」「やってみよう」「本文」「考えてみよう」「生かそう」で学習の流れが構成されている。 ・保健編、体育編の内容が学年ごとにまとめられている。 ・1単位時間の学習が基本見開き2ページで構成されている。 【サイズと分量】 ・A B判の大きさで、175ページで作成されている。 【装丁】 ・横幅が広い作りとなっている。 ・堅牢な製本であり、3年間の使用に耐えられる作りとなっている。	【図や表の効果的な活用】 ・災害や実験、実習、薬物、ウイルス、臓器、脳や体の断面（CT）は写真が使われ、生活の場面などイメージできるものはイラストを使用するなどバランスに配慮している。 【内容の明確化（見やすさ、読みやすさの工夫）】 ・見やすく、読み間違いにくいユニバーサルデザインフォントを採用している 【適切な表記・表現】 ・重要な語句は字体を変えている。 ・図や表が見やすい大きさと表記されている。また、紙面にゆとりがあるためバランスに配慮している。
4 大日本	新版 中学校保健体育	・身近な事例を取り上げ、考えることで主体的に学習に取り組むことができるように工夫している。 ・基礎的・基本的な知識を習得し、健康を適切に管理し、改善するなどの実践力が身につくように工夫している。 ・「考えよう」などの学習活動を通して、言語活動の充実が図れるように工夫している。	・学習指導要領の保健体育科の目標に示されている「明るく豊かな生活を営む態度を育てる」に関連して、生涯にわたって健康的な生活を送るためには適度な運動が必要であり、どのような運動をすればよいかを考えさせる課題が記載されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善項目である「伝統や文化」に関連して、「語り継がれるオリンピックエピソード」として、記憶に残る名場面や語り継がれるエピソードが掲載されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道德教育の充実」に関連して、生命を生み出す体へ成熟する仕組みと生命誕生の流れが経過ごとに写真で掲載されている。	【基礎・基本の習得】 ・基礎・基本を習得するために、「今日の学習課題」「考えよう」「本文」「学習を活かして」という学習の流れがある。 ・各章末に「学習のまとめ」があり、学習の定着に配慮した内容になっている。 【思考力・判断力・表現力等の育成と言語活動の充実】 ・「考えよう」は、生活にある事例をもとに考える学習で、思考力・判断力・表現力等を育むことができるように工夫されている。 【実践的な内容】 ・「学習を活かして」では、学習したことをもとに考える学習があり、実践力の育成がなされるように配慮している。 【学習意欲を高める工夫】 ・学習内容に関連のある「ミニ知識」や「トピックス」があり、学習意欲を高めるための工夫がされている。 【今日的な課題の取扱い】 ・生徒にとって身近な今日的な課題（防災、犯罪被害、心の健康、情報教育、食育、キャリア教育、環境、人権・共生）を取り上げている。 ・スポーツへの興味・関心が高まるような資料が豊富にある。 【学習のつながり】 ・章末に発展的な資料（章末資料：トピックス＋）を掲載している。 ・保健や体育、スポーツに関連する職業を紹介している。	【構成】 ・「今日の学習課題」「考えよう」「本文」「学習を活かして」で学習の流れが構成されている。 ・保健編、体育編で学習する内容がまとめられている。 ・1単位時間の学習が基本見開き2ページで構成されている。 【サイズと分量】 ・A B判の大きさで、151ページで作成されている。 【装丁】 ・横幅が広い作りとなっている。 ・堅牢な製本であり、3年間の使用に耐えられる作りとなっている。	【図や表の効果的な活用】 ・災害や実験機器、実習、薬物、ウイルス、臓器、脳や体の断面（CT）は写真が使われ、生活の場面などイメージできるものはイラストを使用するなどバランスに配慮している。 ・資料にある災害の写真が大きくてインパクトがある。 【内容の明確化（見やすさ、読みやすさの工夫）】 ・見やすく、読み間違いにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・色覚などの個人差を問わず、より多くの人に必要な情報が伝わるようユニバーサルデザインに配慮している。 【適切な表記・表現】 ・重要な語句は字体を変えている。 ・図や表が見やすい大きさと表記されている。また、紙面にゆとりがあるためバランスに配慮している。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
50 大修館	保健体育	・学習した知識を活用する学習活動を通して、思考力・判断力・表現力等を育むことができるように工夫している。 ・基礎的・基本的な知識を習得し、健康を適切に管理することができるように工夫している。 ・身近な事例や疑問を取り上げ学習することで、自主的な学習につながるように工夫している。	・学習指導要領の保健体育科の目標に示されている「明るく豊かな生活を営む態度を育てる」に関連して、環境による健康への悪影響を考え、環境保全のために自分ができることを考えさせる課題が記載されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善項目である「伝統や文化」に関連して、ユースオリンピックは参加国の芸術や文化を体験する文化・芸術プログラムがあることが掲載されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育の充実」に関連して、国境なき医師団で働く看護師の手記で、人種や国に関係なく命は尊重され、命は平等であることが記載されている。	【基礎・基本の習得】 ・基礎・基本を習得するために、「クエスチョン」「キーワード」「本文」「トライ」という学習の流れがある。 ・「学習のまとめ」というページがあり、学習の定着に配慮した内容になっている。 【思考力・判断力・表現力等の育成と言語活動の充実】 ・「トライ」では、考えたり、話し合ったり、発表したりすることができるようになっており、言語活動が充実するように工夫されている。 【実践的な内容】 ・「学習を生かそう」では、学習したことをもとに考える学習があり、実践力の育成がなされるように配慮されている。 【学習意欲を高める工夫】 ・スポーツに関する話題や健康課題を「コラム」や「事例」として記載し、学習意欲を高めるための工夫がされている。 【今日的な課題の取扱い】 ・生徒にとって身近な今日的な課題（防災、犯罪被害、心の健康、情報教育、食育、環境、人権・共生）を取り上げている。 ・スポーツへの興味・関心が高まるような資料がある。 【学習のつながり】 ・章末に発展的な資料（学習のまとめ：学びを広げよう）を掲載している。 ・保健や体育、スポーツに関連する職業を豊富に紹介している。	【構成】 ・「クエスチョン、キーワード、本文、トライ」で学習の流れが構成されている。 ・保健編、体育編で学習する内容がまとめられている。 ・1単位時間の学習が見開き2～6ページで構成されている。 【サイズと分量】 ・縦横B5判の大きさで、159ページで作成されている。 【装丁】 ・堅牢な製本であり、3年間の使用に耐えられる作りとなっている。	【図や表の効果的な活用】 ・災害や実験、実習、薬物、ウイルス、臓器、脳や体の断面（CT）は写真が使われ、生活の場面などイメージできるものはイラストを使用するなどバランスに配慮している。 【内容の明確化（見やすさ、読みやすさの工夫）】 ・ユニバーサルデザインに配慮している。 【適切な表記・表現】 ・重要な語句は字体を変えている。 ・図や表が見やすい大きさと表記されている。
224 学研	新・中学保健体育	・基礎的・基本的な知識を習得し、健康を適切に管理することができるように工夫している。 ・知識の活用を図りながら、思考力・判断力・表現力などが育成できるように工夫している。 ・身近な生活を学習内容に取り上げ、実践力の育成が図れるように工夫している。	・学習指導要領の保健体育科の目標に示されている「明るく豊かな生活を営む態度を育てる」に関連して、「自分の気持ちを上手に伝える方法」の実習を通して、人とのコミュニケーションについて考えさせる課題が記載されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善項目である「伝統や文化」に関連して、オリンピックを文化としてのスポーツとして取り上げ、古代オリンピックや創始者など、オリンピックについての知識が掲載されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育の充実」に関連して、自分や身内の人が脳死になったときに臓器を提供するか否かを話し合い、葛藤場面で命について考える設定が記載されている。	【基礎・基本の習得】 ・基礎・基本を習得するために、「学習の目標」「ウォームアップ」「本文」「エクササイズ」「活用しよう」という学習の流れがある。 ・「章のまとめ」というページがあり、学習の定着に配慮した内容になっている。 【思考力・判断力・表現力等の育成と言語活動の充実】 ・「ウォームアップ」「エクササイズ」「活用しよう」では、考えたり、読み取ったり、説明したりすることができるようになっており、言語活動が充実するように工夫されている。 【実践的な内容】 ・「実習」では、実際に行って、方法や技術を理解・習得する実践的な学習内容となるように配慮されている。 【学習意欲を高める工夫】 ・学習内容に関連のある「情報サプリ」や「コラム」があり、学習意欲を高めるための工夫がされている。 【今日的な課題の取扱い】 ・生徒にとって身近な今日的な課題（防災、犯罪被害、心の健康、情報教育、食育、キャリア教育、環境、人権・共生）を取り上げている。 ・スポーツへの興味・関心が高まるような資料が豊富にある。 【学習のつながり】 ・章末に発展的な資料（探究しようよ）を掲載している。 ・保健や体育、スポーツに関連する職業を豊富に紹介している。	【構成】 ・「学習の目標」「ウォームアップ」「本文」「エクササイズ」「活用しよう」で学習の流れが構成されている。 ・保健編、体育編で学習する内容がまとめられている。 ・1単位時間の学習が基本見開き2ページで構成されている。 【サイズと分量】 ・縦横B5判の大きさで、184ページで作成されている。 【装丁】 ・堅牢な製本であり、3年間の使用に耐えられる作りとなっている。	【図や表の効果的な活用】 ・災害や実験、実習、薬物、ウイルス、臓器、脳や体の断面（CT）は写真が使われ、生活の場面などイメージできるものはイラストを使用するなどバランスに配慮している。 【内容の明確化（見やすさ、読みやすさの工夫）】 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 【適切な表記・表現】 ・重要な語句は字体を変えている。 ・図や表が見やすい大きさと表記されている。

平成28年度使用 教科用図書審議結果

【中学校技術・家庭（技術分野）】

（⑦）

技術・家庭（技術分野） 3種

発行者の番号略称	書名
2 東書	新編 新しい技術・家庭 技術分野
6 教図	新技術・家庭 技術分野
9 開隆堂	技術・家庭 （技術分野）

平成28年度使用教科用図書審議結果 ⑦

技術・家庭(技術分野)

	第1地区の特性	第2地区の特性	第3地区の特性	第4地区の特性
教科から見た 各地区の特性	・京浜工業地帯の一角に位置するため自然は少ないが、商店街が多く、人々の交流が多い地域である。親、祖父母の代から地元住民として生活している家庭が多く、生徒が地域の行事に参加したり、地域の方との関わりを考えたりする機会がもてる。 ・学習への興味・関心があり、時間をかけて学習を進める生徒が多く、実践的・体験的な学習への関心が高いため、実習や製作に意欲的に取り組もうとする。 ・実践的・体験的な学習活動を通して、技術の楽しさや作品の完成の喜びを実感できる学習を進めて、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図りたい。	・川崎市の中央に位置し、南武線や横須賀線を利用して遠くまで通勤・通学が可能な地域であり、団地やマンションが多く、居住している人の職業も多様な地域である。 ・生徒は自分の生活を振り返りながら、新しい学習や取組に関心を強くもち、積極的に取り組む姿勢がある。また、問題解決的な学習にも一つ一つ確認しながら取り組む生徒が多い。身近なことへの関心が高く、生活に役立つ作品の設計・製作など、進んで取り組もうとする。 ・実践的・体験的な学習活動を通して、実習や観察・実験、調査等の技術の基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図りたい。	・川崎市の中央部に位置し、住宅地と商店街などが混在する地域である。生徒は、基本的な知識が身に付いている生徒が多く、自ら考え、学習を進めることができる。また、生徒同士で関わりをもって、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・目的や課題を達成するために学んだ知識や技術を活用しながら、実生活への応用・発展へとつなげていこうとする態度も見られる。 ・実践的・体験的な学習活動を通して、技術を適切に評価・活用するとともに、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図りたい。	・川崎市の北部に位置し、自然が多く残る、地域である。長く住んでいる住民も多いが、戸建ての新居を構え、他地区より移り住んでいる住民も増えている。近隣には、畑や田んぼがあるため、様々な野菜の栽培など地域との関わりを考えた学習をする機会がもてる。 ・基本的な生活習慣が身に付いている生徒が多く、授業内容に興味・関心をもち、意欲的に取り組んでいる。 ・実践的・体験的な学習活動を通して、実生活の様々な課題に対して、最適な解決策を考え、その解決した結果を評価・活用するとともに、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図りたい。
川崎の子どもが 学習をすすめて いく上での視点	○実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能の定着ができる内容・構成等であること。 ○思考力・判断力・表現力等を高めるために、言語活動の充実を図り、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる内容・構成等であること。 ○ものづくりを支える能力を育成するために、設計・製作することへの理解を深め、工夫して考える内容・構成等であること。			

平成28年度使用教科用図書審議結果 ⑦
技術・家庭(技術分野)

発行者の 番号略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東 書	新編 新しい 技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	・基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるページでは「目標」から「学習のまとめ」という展開になっている。 ・思考力・判断力・表現力等を高めるために、全ての章の終わりに技術の評価・活用のページがあり、ワークシートの具体例が示されている。 ・設計・製作することへの理解を深め、工夫して考えるために、幅広い難易度の実習題材が掲載され、時間数や技能に応じて選択できるようにしている。	・学習指導要領に示されている「言語活動」に関連して、「話し合ってみよう」「まとめよう」で、意見交換や学習のまとめ、発表などで、思考力・判断力・表現力等の育成をねらった学習題材が取り上げられている。 ・学習指導要領に示されている「道徳教育の充実」に関連して、情報モラルについて扱い、また道徳教育と関連する学習内容にマークを付して、技術の学習を通して育てたい、環境との調和や社会的な公正などの倫理観が取り上げられている。	【基礎的・基本的な知識及び技能の定着】 ・実習に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を「安全」「ポイント」として掲載している。 ・本文を補足したり、応用したりする内容は、「資料」「ひとくちQ」「ひとくちA」で示されている。 【思考力・判断力・表現力等の育成・言語活動の充実】 ・日々の授業から技術の評価・活用する力が身に付くように、「技術の天びん」マークを付して、技術の評価・活用につながる学習を繰り返して行うことができるようにしている。 ・プラス面やマイナス面を考えながら技術の評価・活用する学習方法をワークシート形式で示している。 【学習意欲】 ・ガイダンスや各編のはじめに、学習内容の流れが示され見通しがもてるようになっている。 ・各編の終わりに、「学習のまとめ」を設けて、学習内容を振り返り、自己評価ができるようになっている。 【実践的・体験的な活動】 ・材料と加工の実習例が11例、エネルギー変換の実習例が6例、生物育成の実習例が11例、情報の実習例が5例示されている。 【学習のつながり】 ・小学校の学習内容や中学校の他教科の学習との関連が、「小学校」マークや「他教科」マークを付して示されている。 【安全指導】 ・巻頭に実習時の注意事項が記載されていて、安全への意識を高めてから実習に取り組むことができるようになっている。 【その他】 ・環境へ配慮すべき内容が、「環境」マークを付して示されている。	【構成上の特徴】 ・目次のページで、各編の学習内容が示されている。 ・各編は、「編の導入」「基本ページ」「学習のまとめ」で構成されている。 ・ひとつの題材が見開き2ページで構成されている。 ・「技術の巧」のコラムでは、伝統技術者の紹介をしている。 【分量・装丁】 ・判型はAB判で、1ページに情報がコンパクトにまとめられている。 ・全275ページで、巻末に防災手帳を付して、取り外して利用できる。 【学習の進め方に関すること】 ・「この教科書で学ぶ皆さんへ」で、学習の進め方が最初に示されている。 【文字と写真・イラストの分量】 ・イラストや写真が多く、文章との関連付けも適切である。	【文字の書体・大きさ】 ・裏表紙に「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています」と表記されている。 【文章表現・用語の解説】 ・始めの活動や終わりの活動の表現は、「～しよう」「～みよう」のように生徒に投げかける表現になっている。 ・本文の説明文は、短い表現で簡潔に書かれている。 【デザイン・レイアウト】 ・紙面が大きくダイナミックであり、明るいデザインで、生徒に親しみやすい。 ・右側ページに「基礎技能」「実習例」などの爪が付してあり、インデックスとしてページ探しに役立っている。 【マーク】 ・他教科、安全、防災、環境、消費者、情報モラルなどのマークが使用され、適切な箇所で示され、効果的に活用できるようにしている。
6 教 図	新技術・家庭 技術分野	・実習題材の作業を通して、基礎的・基本的な知識及び技能が身に付くように展開されている。 ・思考力・判断力・表現力等を高めるために、技術の評価・活用に関する学習が促されるように「やってみよう」「調べよう」「考えよう」が各題材に設定されている。 ・設計・製作することへの理解を深め、工夫して考えることができるように、写真や図解を多く使用し、製作見本や製作手順、育成方法等が示されている。	・学習指導要領に示されている「言語活動」に関連して、教科特有の言語活動を通して、書く活動や読む活動などの、思考力・判断力・表現力等の育成をねらった学習題材が取り上げられている。 ・学習指導要領に示されている「道徳教育の充実」に関連して、情報に関する技術で、インターネットやスマートフォンの普及に対する情報モラルなどの内容が取り上げられている。	【基礎的・基本的な知識及び技能の定着】 ・基礎的・基本的な知識及び技能を「基礎技能」とタイトルをつけ、写真やイラストを示して記載されている。 【思考力・判断力・表現力等の育成・言語活動の充実】 ・各章の最後に、技術の評価・活用する力が身に付くような学習内容が示されている。 【学習意欲】 ・序章として4つの章について、それぞれの学習内容がまとめて示されている。 ・各内容の最後に「まとめ」「章末問題」があり、振り返りができるようになっている。 【実践的・体験的な活動】 ・材料と加工の実習例が8例、エネルギー変換の実習例が4例、生物育成の実習例が7例、情報の実習例が7例示されている。 ・動物を飼育する技術に関する記述が8ページある。 【学習のつながり】 ・「技術分野で何を学ぶか」で、小学校の学習とのつながりについて記載されている。 【安全指導】 ・「安全」や「注意」マークを付して、注意が喚起されている。 【その他】 ・生物育成に関する技術の章では、生物育成と環境・社会に関する課題例が豊富である。	【構成上の特徴】 ・製作や実習を軸に構成されている。 ・先進技術の写真やイラストを掲載するなど高度な発展的内容が多い。 【分量・装丁】 ・全271ページで、本文・イラスト・写真・図表等の分量は適切で、それぞれに詳しい解説が示されている。 ・判型はB5判で、ページに適度な余白があり、自分の考えや思いを記入できる。 【学習の進め方に関すること】 ・「技術分野で何を学ぶか」で、各内容でどのように学習を進めるのかが、簡潔に記載されている。 【文字と写真・イラストの分量について】 ・作業の写真などは、学習内容の理解を助ける資料として工夫され、分量・大きさなどは適切である。	【文字の書体・大きさ】 ・裏表紙に「ユニバーサルデザインの考え方に基づいて編集されています。」と表記されている。 ・題材名は、体言止めになっている。 ・本文および参考資料など適切な書体と大きさで、読みやすくなっている。 【文章表現・用語の解説】 ・専門用語の解説が多く、用語をさくいんで調べられ、巻末資料にも細かく記載されている。 【デザイン・レイアウト】 ・実習例のページをはじめ、見開きで見ることができるように、ページをめくる方向と同じく左から右へと読み進めるレイアウトになっている。 ・色を使い過ぎず、落ち着いた色合いでデザインされ、見やすく、文字や写真に視点を運びやすい。 【マーク】 ・発展・安全・注意・コツの4つのマークがあり、効果的である。

発行者の 番号略称	書 名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
9 開隆堂	技術・家庭 (技術分野)	・基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るために、各学習項目に「学習目標」が示され、何を学習するのかが簡潔に記載されている。 ・思考力・判断力・表現力等を高めるために、各内容の最後に、技術の評価・活用に関連する題材を取り上げている。 ・設計・製作することへの理解を深め、工夫して考えることができるように、実習例のページに「工夫してみよう」を示して、実習例を見本としながら、個別の工夫を促すように示されている。	・学習指導要領に示されている「言語活動」に関連して、教科特有の言語活動を通して、成果の発表や自己評価、相互評価などの意見交換を行い、思考力・判断力・表現力等の育成をねらった学習題材が取り上げられている。 ・学習指導要領に示されている「道德教育の充実」に関連して、人権や個人情報保護について扱い、技術の学習を通して育てたい、情報の利用の仕方が取り上げられている。	【基礎的・基本的な知識及び技能の定着】 ・各学習項目に「導入課題」が示され、学習への興味・関心が高まるように設定されている。 ・本文を補足したり、応用したりする内容は、「参考」や「豆知識」で示されている。 【思考力・判断力・表現力等の育成・言語活動の充実】 ・「探究」マークを付して、各内容の評価・活用を考えられるような具体例が記載されている。 ・ABCDの4つの内容の学習後に、「進んで技術を評価し生活をよりよくする」のページを設けて、4つの内容の評価・活用についてまとめて取り上げている。 【学習意欲】 ・各内容のはじめに「学習の流れ」を示し、学習内容の見通しがもてるようになっている。 ・各学習項目で基礎的・基本的な知識及び技能が身に付いているか、「ふり返り」で確認できるようになっている。 【実践的・体験的な活動】 ・材料と加工の実習例が8例、エネルギー変換の実習例が6例、生物育成の実習例が10例、情報の実習例が6例示されている。 【学習のつながり】 ・「リンク」マークを付して、他教科とのつながりを意識できるようになっている。 ・ガイダンスで、小学校での既習事項と技術分野で学ぶ内容とのつながりや違いを示し、学習意識をもちやすくしている。 【安全指導】 ・「作業の安全」のページが設けられ、実習時に注意する内容が、「安全」マークを付して示されている。 【その他】 ・各内容の扉のページに、技術史の年表が記載されている。 ・技術と環境との関連が、「環境」マークを付して示されている。	【構成上の特徴】 ・学習の目標、課題、本文、資料、小課題、参考、ふり返り、豆知識と生徒が学びやすい構成になっている。 ・各題材で、学習の流れが明確にわかる学習項目立てになっている。 【分量・装丁】 ・基礎的・基本的な内容が、しっかりと押さえられている分量である。 ・全263ページで、紙厚はやや薄めに感じるが、その分軽くなっている。 ・判型はB5判で、外で使用しても太陽の光が反射せず見やすい。 【学習の進め方に関すること】 ・見開き2ページを使って、PDCAサイクルで学習の進め方を説明している。 【文字と写真・イラストの分量】 ・作業方法は写真で示されていて、文字量とのバランスもよい。	【文字の書体・大きさ】 ・裏表紙に「CUDマークは、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により、認証された製品に表示できるマークです。この教科書は、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒に見やすいように配慮してつくられています。」と表記されている。 【文章表現・用語の解説】 ・題材名は、体言止めで示されている。 ・用語の説明は、簡潔でわかりやすい表現になっている。 ・巻末にさくいんがあり、用語のページを調べることができる。 【デザイン・レイアウト】 ・落ち着いたある配色を使い、重要な語句が目飛び込んでくる。 ・ページ上部に題材名などの爪が付しており、インデックスとしてページ探しに役立っている。 【マーク】 ・マークの種類が豊富で、分類一覧が、目次の下に掲載しており、わかりやすい。

平成28年度使用 教科用図書審議結果

【中学校技術・家庭（家庭分野）】

（⑦）

技術・家庭（家庭分野） 3種

発行者の番号略称	書名
2 東書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野
6 教図	新技術・家庭 家庭分野
9 開隆堂	技術・家庭 （家庭分野）

平成28年度使用教科用図書審議結果 ⑦

技術・家庭(家庭分野)

	第1地区の特性	第2地区の特性	第3地区の特性	第4地区の特性
教科から見た 各地区の特性	・川崎市の南部、臨海部に位置し、江戸時代から宿場町として開けていた地域である。昔ながらの商店街・町工場などが見られ、新しいものと古いものが混在する環境である。代々この地域に居住し、親子で同じ中学校に通う家庭もあるなど、地域とのつながりが強い。 ・学習に対する意欲には個人差があるが、子どもらしく素直で、学校で学んだことは定着しやすい傾向にある。また、正しい意味を知らずに言葉を使うことが見られる。 ・実践的・体験的な活動を通して、個に応じた学習活動を通して主体的に学び、生涯にわたる生活の基礎的・基本的な知識や技能の定着を図りたい。	・川崎市の中央に位置し、南武線や横須賀線を利用して遠くまで通勤・通学が可能な地域であり、団地やマンションが多く、居住している人の職業も多様な地域である。 ・他地区、他県からの人の流入や流出も多い。 ・生徒は新しい学習や取組に興味・関心を強くもち、積極的に取り組む姿勢がある。また、学習にも一つ一つ確認しながら取り組む生徒が多い。 ・身近なことへの関心が高く、生活に役立つことに進んで取り組もうとする。 ・実践的・体験的な活動を通して、自分の生活への課題を見付け、その改善を目指そうとする態度を育て、生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能の定着を図りたい。	・川崎の中央部に位置し、住宅地と商店街などが混在する地域である。 ・保護者は、教育に関心が高く、生徒に対する期待も高い。生徒にそそぐ目は温かい。 ・地域は、街ぐるみで子どもを育てていこうという気持ち強い。保護者も地域とともに学校に協力的である。 ・生徒は、基本的な知識が身に付いている子が多く、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・自分の生活を振り返り、家族や地域との関わりを大切にしたい実践的・体験的な学習活動を通して、豊かな心を育むとともに、基礎的・基本的な知識と技能の定着を図りたい。	・川崎の北部に位置し、自然が多く残る、のどかな地域である。 ・長く住んでいる住民も多いが、戸建ての新居を構え、他地区より移り住んでいる住民も増えている。 ・保護者も地域も学校に協力的である。 ・基本的な生活習慣が身に付いている生徒が多く、授業内容に興味・関心をもち、意欲的に取り組んでいる。 ・実践的・体験的な活動の中から、生活への課題を見付け、家族の一員として、主体的に自分の生活を考えられるように、基礎的・基本的な知識と技能の定着を図りたい。
川崎の子どもが 学習をすすめて いく上での視点	○基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るために、個に応じた指導や繰り返し学習ができる内容・構成等であること。 ○問題解決的な学習を中心に、実践的・体験的な活動を通して学ぶ意欲を高め、豊かな心、健やかな心身を育み、生きる力を身に付ける内容・構成等であること。 ○自分の生活を振り返り、家族の一員として、主体的に自分の生活を考え学習を進められる内容・構成等であること。			

平成28年度使用教科用図書審議結果 ⑦

技術・家庭(家庭分野)

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東 書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	・基礎的・基本的な知識や技術を確実に習得するために、呼びかける表記により学習の目標を明確に示し、作業手順を写真やイラストを用いて、生徒自らが学習を進められるような工夫がされている。 ・問題解決能力を育成するために、実習例等では見開き2ページの横の流れで示し、課題解決に向けて学習の見通しをもって進められるように工夫されている。 ・生活を工夫し創造する能力を育成するために、学習したことを生活に生かす課題を見付け、自分や家族がよりよい生活になるための工夫ができる学習の流れが示されている。	・学習指導要領の技術・家庭科の目標に示されている「進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てること」に関連して、「生活の課題と実践」の中で実践例をあげるとともにまとめ方を記載し、課題解決の流れが取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「伝統や文化」に関連して、衣食住の伝統に関わる資料が掲載され、「伝統・文化」のマークが設けられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育の充実」に関連して、家庭や地域社会の一員としてともに生きていく態度や、人権を尊重する態度、郷土を愛する心の育成などに関する課題や資料が取り上げられている。	【基礎・基本に関すること】 ・実習手順が、写真やイラストにより提示されている。 ・まつり縫いや補修の方法、ミシンの使い方が見開きで写真やイラストで示されている。 ・布を用いたものの製作の実習例は、授業時数に応じて20例取り上げられている。 ・包丁の扱い方や切り方が写真を使いながら説明され、左利きの例も取り上げている。 ・食品の手ばかり、目ばかりを実物大写真を使って、1日分の必要な野菜として取り上げられている。 【思考力・判断力・表現力の育成等・言語活動の充実】 ・生活の課題と実践に関する活動例6例、進め方について「まとめと発表の仕方」のページで具体的な例を4例示している。 ・「弁当作りに挑戦しよう」という内容で、主食にごはんとパンを使った実習例が取り上げられ、献立の学習を生かすことができる。 ・自然災害への対策例を取り上げている。 ・食料自給率など食生活に関わる問題をグローバルな視点から考えられる資料を掲載している。 ・生活リズムと食事の役割の重要性について、食育につながる内容を系統的に学習できる。 【学習意欲の向上】 ・食材の実物大写真が掲載され、大きさと概量が確認できる。 ・調理実習例を49例取り上げ、写真を多く取り入れているため視覚から関心をもてる。 ・和食、地域の伝統野菜、全国各地の雑煮、郷土料理が幅広く取り上げられ、神奈川県野菜は「三浦だいこん」神奈川県郷土料理は「へらへら団子」が取り上げられている。 ・マークを使うなど、教科書の構成がわかりやすく提示され、学習のポイントが示されている。 【学習のつながり】 ・各編の導入で、小学校の学習とのつながりが分かるように記載され、ガイダンスを通して学習の見通しがもてるようになっている。 ・「学習のまとめ」のページが見開きで掲載され、学習内容における自分なりの課題を記述するスペースを設け、自分の生活の課題につながっている。 ・小学校の復習として、玉むすびなど基礎縫いが写真で示されている。	【構成】 ・表紙裏に見開きで目次のページがあり、学習内容が一目で見渡せるようになっている。 ・「各編」「編の導入」「基本ページ」「学習のまとめ」の構成で統一されている。 ・学習内容と関連する事項は、「リンクマーク」で示している。 ・紙面の右端に爪となる色帯を施し、学習内容ごとにページを引きやすくしている。 ・イラストや大きく鮮明な写真、図版を多く掲載している。 【分量・装丁】 ・教科書の横幅が今までより広いAB判で、275ページある。 ・再生紙、植物油インキを使用している。 ・表紙が丈夫で3年間の使用に耐える。	【文字の書体・大きさ】 ・ポイント・重要語句に着色やゴシック体を使用している。 ・常用漢字には、ふり仮名を見開きごとに付け、丸ゴシック体を使用している。 ・色覚特性に適応、書体は全て、UDフォント(ユニバーサルデザインフォント)を採用している。 【デザイン・レイアウト】 ・「学習のまとめ」のページで、大切な用語について扱っている。 ・巻末「言葉のページ」では、用語の解説がある。 ・「考えよう」や「調べてみよう」など、学習の初めに呼びかけの表記がある。
6 教 図	新技術・家庭 家庭分野	・基礎的・基本的な知識や技術を確実に習得するために、調理の基礎、製作実習の基礎の資料を多く掲載し、チェック項目を活用することで、繰り返し学習できるように工夫されている。 ・問題解決能力を育成するために、実践的・体験的な学習の実践例を幅広く掲載し、様々な生活場面や自分の生活にあった課題を見付け、実践できるように工夫されている。 ・生活を工夫し創造する能力を育成するために、「生活を豊かにするものの製作」や「安全な住まい方」など身近な課題を設定し、話し合ったり、考えたりすることで、主体的に家庭実践できるように工夫されている。	・学習指導要領の技術・家庭科の目標に示されている「進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てること」に関連して、「生活の課題と実践」を記載し、グループ活動の様子やステップごとの手順を踏んで課題を解決する実践例が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「伝統や文化」に関連して、年中行事や人生のお祝い事を一覧で示して、衣食住に関わるイラストや写真等が掲載されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育の充実」に関連して、将来を見通し、自覚をもって主体的に家庭生活を実践する態度が育つように、社会の一員として家族や地域の子ども、高齢者への配慮ができるような課題や資料が取り上げられている。	【基礎・基本に関すること】 ・各項目のはじめに実習や製作の手順がイラストと写真で示されている。 ・まつり縫いや補修の方法、ミシンの使い方が見開きで写真やイラストで示されている。 ・布を用いたものの製作の実習例は、授業時数に応じて取り上げられている。 ・包丁の扱い方について、実習で使う食材の切り方が実物大写真で示されている。 ・「学習の目標」「キーワードチェック欄」があり、基礎・基本の確認ができる。 【思考力・判断力・表現力の育成等・言語活動の充実】 ・ロールプレイングや地域の人へのインタビューなどの実習を盛り込んでいる。 ・各編のはじめに実物大写真を用いて、実感を伴った学習ができる内容となっている。 ・発展的な学習内容が掲載され、話し合いや調査活動を通して学習を深めることができる。 ・自然災害への対策としてイラストや写真を掲載し、「災害伝言ダイヤル」などの対策を取り上げている。 ・食料自給率、フードマイレージの説明があり、国際社会とのつながりに気付くことができる。 ・食事の役割や食習慣、食の伝承などの学習を通して食育の充実を図り、系統的に学習が進められる。 【学習意欲の向上】 ・主食・主菜・副菜など単品で40種類の献立の写真があり、献立を作成しやすい。 ・「全国各地のおもな郷土料理」で、神奈川県「しらす丼」が掲載されている。 ・キャラクターのつぶやきが、学習の広がりやきっかけとなっている。 ・実践的・体験的に学習が進められるように「Q」「実習」「やってみよう」が設けられている。 ・「幼児とのふれ合い」ではイラストや写真を使い「実習の事前準備や注意点」を取り上げている。 【学習のつながり】 ・巻頭の見開きを使い、小学校での学習を振り返りながら、中学校3年間の学習の見通しがもてる。 ・内容ごとに学習の振り返りとして確認問題が掲載され、学習のチェックができるようになっている。 ・小学校の復習として、玉むすびなど基礎縫いがイラストで示されている。	【構成】 ・目次は内容A～Dの順で示されている。 ・各分野の最後に、「学習のふり返し」として問題と解答欄がある。 ・紙面の右端に爪となる色帯を施し、学習内容ごとにページを引きやすくしている。 ・各項目の最初のページには、「キーワードチェック」を設けている。 【分量・装丁】 ・B5判の大きさで、275ページある。 ・環境に配慮し、再生紙、植物性インキを使用している。 ・表紙が丈夫で3年間の使用に耐える。	【文字の書体・大きさ】 ・ポイント・重要語句はゴシック体で示されている。 ・常用漢字には、ふり仮名を付けている。 ・項目のタイトルは太ゴシック体を使用している。 ・資料となる文字は丸ゴシック体を使用している。 【デザイン・レイアウト】 ・統計資料が多く掲載されており、データから社会の状況を把握でき課題発見につながるように表記されている。 ・写真、データ、イラストなどの資料が豊富で見やすく整理されている。 ・6つの食品群に色別サイコロマークが設定されており、食品成分表や調理実習の材料などにもマークを併記している。 ・導入課題にアニメ作品や広告の一部が取り上げられている。 ・「ユニバーサルデザインに基いて編集されています」と表記されている。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
9 開隆堂	技術・家庭 (家庭分野)	・基礎的・基本的な知識や技術を確実に習得するために、基礎的・基本的な知識や技術を「考えよう」「やってみよう」の学習で身に付け、学習のまとめとして「生活で生かそう」で地域や社会とのかかわりの中で生活に活用できるように工夫されている。 ・問題解決能力を育成するために、生徒の実生活に対応できる実践的・体験的な学習活動をとり上げ、「発展」「参考」「探究」で、生活により広く関心がもてるように工夫されている。 ・生活を工夫し創造する能力を育成するために、自分の生活を見つめる中で課題を発見し、生徒や地域の実態に合わせて具体的な場面から学習が進められるような課題例が示されている。	・学習指導要領の技術・家庭科の目標に示されている「進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てること」に関連して、「生活の課題と実践」の中で、家族に話を聞いたり家庭で調べたりする研究方法を示し、計画的な実践が取り上げられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「伝統や文化」に関連して、衣食住の生活に関わる学習内容や資料が掲載され、「伝統文化」のマークが設けられている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道徳教育の充実」に関連して、自立と共生の意味を理解し、自立を目指した実践的・体験的な課題が取り上げられている。また様々な人との関わる題材を記載し、社会の一員として自立と共生に向けて実践を促すよう取り上げられている。	【基礎・基本に関すること】 ・調理の基本では調理手順がイラストや写真で示されている。 ・まつり縫いや補修の方法、ミシンの使い方が見開きで写真やイラストで示されている。 ・布を用いたものの製作の実習例は、授業時数に応じて取り上げられている。 ・包丁の扱い方や切り方など、写真を使いながら説明されている。 ・食材の実物大写真が掲載され、大きさと概量が確認できる。 【思考力・判断力・表現力の育成等・言語活動の充実】 ・「考えてみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」の表記とヒントになる説明文がある。 ・問題解決型学習における考察、話し合いの課題、実習の振り返り、まとめの課題が示されている。 ・グローバル化の視点で、日本や世界の問題点を考えられる「食品ロス」などの例を取り上げている。 ・災害に備えた住まい方について対策例や実習例が取り上げられている。 ・「言語活動の充実のために」の頁に課題設定や発表の取り組み方が示されている。 ・「弁当をつくろう」という内容で、主食にごはんとパンを使った実習例が取り上げられ、献立の学習を生かすことができる。 ・食事のマナーや配膳などを取り上げ、食文化の伝承につながる食育の充実が図られている。 【学習意欲の向上】 ・魚、肉、野菜、副菜の調理例が示され、1日分の献立を考えやすくなっている。 ・食生活の実習・製作例41例、衣生活・住生活の実習・製作例25例を取り上げている。 ・調理法に電子レンジを使った簡単な調理例を取り上げている。 ・日本各地の郷土料理が写真付きで掲載され、神奈川県郷土料理は「けんちん汁」が取り上げられている。 ・実習の作業手順が写真で示されており、個人で作業するときの資料となる。 【学習のつながり】 ・表紙裏の見開きページで、小学校家庭科の学習との振り返りと結び付けている。 ・内容A～Dの終わりに学習のまとめがあり、自己評価ができる。 ・リンクのマークで学習内容と関連のある教科名と分野が示されている。 ・各編最初のページの同じ場所に「学習の目標」が提示されている。 ・「ふり返り」の項目が分けられ、リンクする教科書のページ数が記載されている。 ・小学校の復習として、玉むすびなど基礎縫いが写真で示されている。	【構成】 ・タイトルと学習目標が同ページに表記され、一目で学習課題がわかる。 ・目次は題材ごとに色分けされ、導入・内容・発展・まとめが同様に色ごとに順番で配列されている。 【分量・装丁】 ・B5判の大きさと272ページある。 ・環境に配慮した用紙やインキを使用している。 ・表紙が丈夫で3年間の使用に耐える。	【文字の書体・大きさ】 ・ポイント・重要語句に着色やゴシック体を使用している。 ・常用漢字には、ふりがなを付けている。 ・大きな見出しや小さな見出しの書体を文章と使い分けしている。 ・「個人差を問わず、できるだけ多くの生徒に見やすいように配慮してつくられている」という記載がある。 【デザイン・レイアウト】 ・写真が大きく鮮明である。 ・写真とイラストを組み合わせたページのレイアウトが多い。 ・奇数ページの右上に内容に関連した小さな写真を載せている。 ・実物大の食材、安全と防災、日本各地の衣食住の伝統文化が、それぞれ大きく3ページ見開きで示してある。 ・見開きで本文と資料に区分されている。 ・キャラクターの吹き出しで、疑問点などが表現されている。 ・カラーユニバーサルデザイン(CUD)を取り入れ、「CUDマーク取得見込み」という記載がある。

平成28年度使用
教科用図書審議結果
【中学校外国語（英語）】
（⑦）

外国語（英語） 6種

発行者の番号略称	書名
2 東書	NEW HORIZON English Course
9 開隆堂	SUNSHINE ENGLISH COURSE
11 学図	TOTAL ENGLISH
15 三省堂	NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition
17 教出	ONE WORLD English Course
38 光村	COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE

平成28年度使用教科用図書審議結果 ⑦

外国語(英語)

	第1地区の特性	第2地区の特性	第3地区の特性	第4地区の特性
教科から見た 各地区の特性	・川崎市の南部に位置し、JR川崎駅、京急川崎駅周辺の繁華街、市役所や裁判所等の官公庁、そして、臨海部には、京浜工業地帯などがかかえ、また、初詣でにぎわう川崎大師を中心とした門前町など様々な側面をもつ地域である。近年、再開発により大型マンションが建設され、新しい住民が増えている地区もある。 ・素直で明るく子どもらしい豊かな発想をする生徒が多く、体験的な学習活動に進んで取り組む。 ・家庭学習の習慣化や学習事項の定着に時間を必要とする生徒も見られるが、ペアワークなど、生徒同士でコミュニケーションを図る学習活動に対して楽しく、積極的に取り組む生徒が多い。 ・小学校外国語活動との円滑な接続を図るとともに、異文化理解に取り組みながら、自ら情報や考えなどを発信できるような言語活動を取り入れ、表現力や積極的に英語を使ってコミュニケーションしようとする態度を育てたい。	・川崎市中部に位置し、夢見ヶ崎動物公園、等々力緑地、競技場等などがあり、古くからの町並みや歴史的文化財も残る地域である。市民ミュージアム等の文化施設もあり、多くの市民に利用されている。JR南武線、東急東横線・目黒線、横須賀線・湘南新宿ラインが乗り入れ、交通の利便性が高まり、高層住宅の建設など、開発が進み、都心部からの転入生も多い。 ・生徒は明るくのびのびと生活し、前向きに学習に取り組む姿が見られる。また、部活動にも熱心に取り組む生徒が多い。 ・家庭学習の習慣化や基礎的な学力面については、個人差が見られるが、授業中の仲間の発表や意見などによく耳を傾け、英語を話したり、聞いたりする活動に前向きに取り組む様子が見られる。 ・小学校外国語活動との円滑な接続を図るとともに、異文化理解に取り組みながら、自ら情報や考えなどを発信できるような言語活動を取り入れ、表現力や積極的に英語を使ってコミュニケーションしようとする態度を育てたい。	・川崎市のほぼ中央に位置し、自然を生かした大きな公園や歴史的に価値のある古墳、貝塚などがあり、緑豊かな地域である。そのような中、生徒も比較的落ち着いて生活ができる環境にある。田園都市線を中心とした地域周辺では新興住宅地として開発が進み、大規模なマンションが建設されるなど、周辺都市からの転入も増えている。その一方、代々その土地に長く住んでいる住民も多い。 ・外国語に対する関心も高く、授業の中でも自分の考えや思いを積極的に表現しようとする生徒が多い。 ・学習事項の定着に時間を要する生徒もいるが、ペアワークやグループワークなど協同的な学びに積極的に取り組む様子が見られる。 ・小学校外国語活動との円滑な接続を図るとともに、異文化理解に取り組みながら、自ら情報や考えなどを発信できるような言語活動を取り入れ、表現力や積極的に英語を使ってコミュニケーションしようとする態度を育てたい。	・川崎市の北部に位置し、緑豊かな多摩丘陵に広がる地域であるが、都心部のベッドタウンとして都市化への開発が行われ、大型マンションが建ち並び、他地域からの転入生が増加している。私鉄沿線の住民は、東京都内へ多く通勤し、保護者の教育への関心も高い。 ・落ち着いた生活を送っており、学習や学校行事などにまじめに取り組む生徒が多い。また、外国語学習に対する関心も高い。 ・基礎的な練習にも根気よく取り組める生徒が多いうえに、授業の中で話すことだけでなく書くことにも意欲的に取り組む様子が見られる。 ・小学校外国語活動との円滑な接続を図るとともに、異文化理解に取り組みながら、自ら情報や考えなどを発信できるような言語活動を取り入れ、表現力や積極的に英語を使ってコミュニケーションしようとする態度を育てたい。
川崎の子どもが 学習をすすめて いく上での視点	○聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養うことのできる内容・構成等であること。 ○4技能を統合的に活用し、受信から発信へと積極的に英語によるコミュニケーションを図ろうとする態度を育成できる内容・構成等であること。 ○言語や文化に対する理解を深められる内容・構成等であること。			

平成28年度使用教科用図書審議結果 ⑦

外国語(英語)

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東 書	NEW HORIZON English Course 1 NEW HORIZON English Course 2 NEW HORIZON English Course 3	【4技能の総合的な育成】 ・Presentationにおいて、それまでの学習事項をもとに、4技能の統合的な活動が行えるよう工夫されている。 【基礎・基本の定着】 ・Unit(単元)のパートはStarting Out, Dialog, Read and Thinkで段階的に構成され、基本練習や技能別の練習ができるようになっている。 ・「まとめと練習」で文法事項の確認、Daily Sceneで場面別の言語活動が設定され、基礎・基本の定着が図れるよう工夫されている。 【「CAN-DOリスト」の形での学習目標設定】 ・Unitのタイトルの下に「～できる」と目標が示されている。 ・CAN-DOリストについてはWEBページで公開されている。	・内容の取扱いは、学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いに基づき、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等及び学習意欲を重視したものになっている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動の充実」に関連して、学年毎3回の「Presentation」活動により「読む→書く→話す・質問」のサイクルで言語活動を充実させるよう構成されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道德教育の充実」に関連して、国際的視野に立ち世界の平和に貢献する心について取り上げられている。	【思考力・判断力・表現力に関すること】 ・各学年、年間3回設定されているPresentationで各技能を統合し、自分の考えや思いを発信する学習活動が扱われている。 1年: 自己紹介、一日の生活、思い出の行事 2年: 将来の夢、町紹介、好きなこと・もの 3年: 日本文化紹介、修学旅行、中学校生活 【小学校外国語活動との関連】 ・1年巻頭部分において、あいさつ、教室英語、身の回りの英語、数字、曜日と時間割、誕生日、好きな食べ物飲み物、できることが扱われている。 【題材について】 ・異文化理解、伝統文化、自然、環境、人権、平和、防災、安全など多様な題材が取り上げられている。また、五大陸からイギリス、中国、ミャンマー、インド、ガーナ、オーストラリア、カナダ、アメリカ、ベネズエラ、ブラジルなど様々な国が扱われている。 ・日本の伝統や文化については、浮世絵、落語、マンガとアニメなどが扱われている。	【単元構成に関すること】 ・いくつかのUnitとDaily Sceneを終えるとPresentationという4技能を活用する活動ができるよう構成されている。 ・1年生では、be動詞(am, are)の学習から始まり、be 動詞(is)の文、一般動詞の文という配列で構成されている。 【主な文法配列に関すること】 ・1年: be動詞(am, are)→be動詞(is)→一般動詞→3人称単数現在形→現在進行形→can→一般動詞の過去形 ・2年: be動詞の過去形→be going to→不定詞(3用法)→will→動名詞→比較級・最上級(er, est, more, most) ・3年: 受動態→現在完了→現在・過去分詞の後置修飾→関係代名詞 【分量・装丁】 ・判型はAB判。 ・総ページ数は1年:160ページ、2年:160ページ、3年:160ページ。 ・再生紙と植物油インキを使用していると表示されている。 ・針金を使わない綴じ方を採用している。	・生徒がブロック体を使用することに配慮し、1年生ではブロック体が使用されている。2年生から活字体が使用されている。 ・目次では、分かりやすく単元名が表示され、別ページに各単元で学ぶことが、「～できる」という目標も含め記載されている。 ・各ページの言語活動の内容は、技能別のイラストを用いて表示されている。 ・各ページの言語活動では、必要に応じて、使用できる単語がTool Boxという囲みで表示されている。 ・1年巻頭部分では小学校外国語活動で使用した教材Hi, friends!のイラストと同様のイラストが使われている。 ・全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしていると表示されている。 ・ユニバーサルデザイン書体を使用していると表示されている。
9 開隆堂	SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3	【4技能の総合的な育成】 ・My Projectにおいて、それまでの学習事項をもとに、4技能の統合的な活動が行えるよう工夫されている。 【基礎・基本の定着】 ・Program(単元)は3つのパートで構成され、各パートは基本文を対話文で導入し、次に聞く、話す練習ができるようになっている。 ・「英語のしくみ」で文法事項の確認、Power-Upで技能別の言語活動が設定され、基礎・基本の定着が図れるよう工夫されている。 【「CAN-DOリスト」の形での学習目標設定】 ・Programの各パートに「～を言えるようにしよう」と目標が示されている。 ・CAN-DOリストについては巻末に全学年分の「英語で『できるようになったこと』リストが折り込まれ、詳細に示されている。	・内容の取扱いは、学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いに基づき、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等及び学習意欲を重視したものになっている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動の充実」に関連して、学年毎3回の「My Project」で「聞く→書く→話す」の活動サイクルで言語活動を充実させるよう構成されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道德教育の充実」に関連して、文化や伝統の承継、郷土を愛し自己を成長させ地域社会に貢献できる心、自然を愛護し環境教育に取り組む豊かな心について取り上げられている。	【思考力・判断力・表現力に関すること】 ・各学年、年間3回設定されているMy Projectで、各技能を統合して活用し、自分の考えや思いを発信する活動が扱われている。 1 年：自分のことを話そう、人を紹介しよう、知りたい情報を引き出そう 2 年：スキットをつくり楽しもう、スピーチをしようーこんな人になりたい、CMを作ろうーこんなものがほしい 3 年：あの人にインタビューしよう、日本文化を紹介しよう、卒業に向けてー思いを伝えよう 【小学校外国語活動との関連】 ・1年巻頭部分において、あいさつ、教室英語、町の中の英語、身の回りの英語、好き嫌いやできることが扱われている。 【題材について】 ・人権、教育、平和、環境問題、異文化理解などが取り上げられている。また、英米に限らず、オーストラリア、韓国、インド、フィンランド、トルコ、ツバル、ルーマニアなど世界各地の話題が取り上げられている。 ・日本の伝統や文化については、折り紙、落語、白川郷、和食、鳥獣戯画、けん玉などが扱われている。	【単元構成に関すること】 ・いくつかのPROGRAM(単元)とPOWER-UPという各技能を活用する活動を終えるとMy Projectという4技能を活用する活動ができるよう構成されている。 ・1年生では、be動詞(am, are)の学習から始まり、一般動詞の文、be動詞(is)の文、という配列で構成されている。 【主な文法配列に関すること】 ・1年: be動詞(am, are)→一般動詞→be動詞(is)→3人称単数現在形→can→現在進行形→一般動詞の過去形 ・2年: be動詞の過去形→be going to→will→不定詞(3用法)→動名詞→比較級・最上級(er, est, more, most)→受動態 ・3年: 現在完了→現在・過去分詞の後置修飾→関係代名詞 【分量・装丁】 ・判型はAB判。 ・総ページ数は1年:170ページ、2年:162ページ、3年:154ページ。 ・環境に配慮した用紙やインキを使用していると表示されている。	・生徒がブロック体を使用することに配慮し、1年生のPROGRAM8までは、ブロック体で、PROGRAM9から活字体が使用されている。 ・目次では、分かりやすく単元名が表示され、その単元で学習するキーセンテンスの一部が記載されている。別ページに3学年を見通せる教科書の構成が示されている。 ・Programの各パートに「～を言えるようにしよう」と目標が示されている。 ・キャラクターの吹き出しによりワンポイントアドバイスが示されている。 ・各ページの言語活動の内容は、技能別のイラストを用いて表示されている。 ・各ページの言語活動では、必要に応じて、使用できる単語や表現がWord Box, Expression Boxという囲みで表示されている。 ・巻末に全学年分の「英語で『できるようになったこと』リストが折り込まれ、詳細に示されている。 ・本文の音読回数を記録するイラストがある。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮していると表示されている。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
11 学 図	TOTAL ENGLISH 1 TOTAL ENGLISH 2 TOTAL ENGLISH 3	【4技能の総合的な育成】 ・Chapter Projectにおいて、それまでの学習事項をもとに、4技能の統合的な活動が行えるよう工夫されている。 【基礎・基本の定着】 ・Lesson(単元)はA～C(D)のセクションで構成され、各セクションの右ページが色分けされ、基本文を用いた技能別の練習ができるようになっている。また、各Lessonの後にReviewが設けられ、基礎・基本の定着が図れるよう工夫されている。 【「CAN-DOリスト」の形での学習目標設定】 ・各学年いくつかのLessonで構成された4つのChapter(章)があり、各章の冒頭でとびらのページを設定し、「～ができますようになります」と目標が示されている。 ・CAN-DOリストについてはWEBページで公開されている。	・内容の取扱いは、学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いに基づき、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等及び学習意欲を重視したものになっている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動の充実」に関連して、学年毎5回のChapter Projectにおける活動で「聞く→書く→話す・質問」のサイクルで言語活動を充実させるよう構成されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道德教育の充実」に関連して、国際社会で活躍する人物の伝記を通して温かい人間愛の精神を深め、思いやりの心について取り上げられている。	【思考力・判断力・表現力に関すること】 ・各学年、年間4回設定されているChapter Projectで、各技能を統合し、自分の考えや思いを発信する活動が扱われている。また、各学年のまとめとしてのProjectも設定されている。 1年: 自分のことを伝えよう、〇〇さんを紹介しよう、写真の説明をしよう、手紙を書こう 2年: 日記を書こう、旅行の計画を立てよう、将来の夢、私の宝物 3年: 日本の伝統文化を紹介しよう、インタビューしよう、尊敬する人についてスピーチをしよう、自分の意見を言おう 【小学校外国語活動との関連】 ・1年巻頭部分において、教室英語、小学校で学習した会話のリスニング活動、自己紹介、アルファベット、つづりと発音、身の回りの英語、あいさつが扱われている。 【題材について】 ・国際理解、福祉、人権、平和、自然、環境、食育などバランスよく多岐にわたっている。また、英語を母語とする国だけでなく、インド、ドイツ、ブータン、南米など様々な国が扱われている。 ・日本の伝統や文化については、正月、東京スカイツリー、相撲、アニメ、マンガ、日本映画、京都、奈良などが扱われている。	【単元構成に関すること】 ・各学年4つのChapter(章)で区切られ、各章は、いくつかのLesson(単元)とREVIEWを終えるとChapter Projectで4技能を活用した活動ができるよう構成されている。 ・1年生では、一般動詞の文から学習が始まり、続いてbe動詞(am, are)の文、be動詞(is)の文という配列で構成されている。 【主な文法配列に関すること】 ・1年: 一般動詞→be動詞(am, are)→be動詞(is)→3人称単数現在形→can→現在進行形→一般動詞の過去形 ・2年: be動詞の過去形→will→be going to→不定詞(3用法)→動名詞→比較級・最上級(er, est, more, most) ・3年: 受動態→現在完了→現在・過去分詞の後置修飾→関係代名詞 【分量・装丁】 ・判型はB5判。 ・総ページは1年:166ページ、2年:172ページ、3年:172ページ。 ・環境に配慮した紙と植物油インキを使用していると表示されている。 ・針金を使わない綴じ方を採用している。	・生徒がブロック体を使用することに配慮し、1年生の間はブロック体が使用されている。2年生から活字体が使用されている。 ・目次では、分かりやすく単元名が表示され、その単元で学習するキーセンテンスの一部が記載されている。 ・各ページの言語活動の内容は、イラストを用いて表示されている。また、薄緑色の背景色が用いられ見やすく統一されている。 ・コミュニケーションをする上でのヒントがTipsで示されている。 ・各Chapterの最初のページで学習内容を整理し、何ができるようになるかが示されている。 ・だれにでも見やすく分かりやすいようにユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトに配慮していると表示されている。
15 三省堂	NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 1 NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 2 NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 3	【4技能の総合的な育成】 ・Projectにおいて、それまでの学習事項をもとに、4技能の統合的な活動が行えるよう工夫されている。 【基礎・基本の定着】 ・Lesson(単元)は、とびら、GET、USE、文法のまとめで構成され、基礎の習得をGETで、基礎の活用をUSEで行うことができるようになっている。 ・Reviewで文法事項の整理、Let's ～で技能別の言語活動が設定され、基礎・基本の定着が図れるよう工夫されている。 【「CAN-DOリスト」の形での学習目標設定】 ・Lessonのとびらのページで「この課で学ぶこと」が示されている。 ・巻末にWhat Can I Do?という学年のCAN-DOリストが付録として示されている。	・内容の取扱いは、学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いに基づき、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等及び学習意欲を重視したものになっている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動の充実」に関連して、学年毎3回の「Project」における活動で、「聞く・読む→書く→話す」のサイクルで言語活動を充実させるよう構成されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道德教育の充実」に関連して、自他の権利を重んじ人間の生き方について考えることを通して、国際社会の一員として世界平和を守る心について取り上げられている。	【思考力・判断力・表現力に関すること】 ・各学年、年間3回のProjectで、各技能を統合し、自分の考えや思いを発信する活動が扱われている。 1年: 自己紹介をしよう、友達にインタビューをしよう、大切なものを紹介しよう 2年: 有名人を紹介しよう、自分の夢を紹介しよう、自分の町を紹介しよう 3年: 先生にインタビューをしよう、日本文化を紹介しよう、ディスカッションをしよう 【小学校外国語活動との関連】 ・1年巻頭部分において、小学校で学習した会話のリスニング活動、スポーツや食べ物、動物を表す語、簡単な会話、アルファベット、つづりと音、教室英語が扱われている。 【題材について】 ・異文化理解、共生、人権、伝統文化、自然環境、社会理解などバランスよく様々な題材が配置されている。また、英米に限らず、インド、モンゴル、カンボジア、ケニヤ、マラウイ、ブラジルなどが扱われている。 ・日本の伝統や文化などについては、剣道、けん玉、日本の四季と年中行事、昔話、寿司、花火、落語、広島原爆などが扱われている。	【単元構成に関すること】 ・いくつかのLesson(単元)を終えるとProjectという4技能を活用した活動ができるよう構成されている。 ・各Lessonは、GETと呼ばれる基礎的な知識・技能の習得のためのパートとUSEと呼ばれる各技能を活用した活動を行うパートが設定されている。 ・1年生では、be動詞(am, are)の学習から始まり、be動詞(is)の文、一般動詞の文という配列で構成されている。 【主な文法配列に関すること】 ・1年: be動詞(am, are)→be動詞(is)→一般動詞→3人称単数現在形→can→現在進行形→一般動詞の過去形 ・2年: be動詞の過去形→will→be going to→動名詞→不定詞(3用法)→比較級・最上級(er, est, more, most)→受動態 3年: 現在完了→関係代名詞→現在・過去分詞の後置修飾 【分量・装丁】 ・判型はAB判。 ・総ページは1年:168ページ、2年:168ページ、3年:168ページ。 ・環境にやさしい用紙と植物油インキを使用していると表示されている。	・生徒がブロック体を使用することに配慮し、3年間を通して、本文はブロック体が使用されている。読み物などは活字体が使用されている。 ・目次では、分かりやすく単元名が表示され、その単元で学習するキーセンテンスの一部が記載されている。別ページに学年を見通した教科書の構成が示されている。 ・Lessonの最初のページに絵や写真を使った導入のページがあり、その課で学ぶことも明示されている。 ・各ページの言語活動の内容は、技能別のイラストを用いて表示されている。 ・巻末にWhat Can I Do?という学年のCAN-DOリストが付録として示されている。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮していると表示されている。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教 出	ONE WORLD English Course 1	【4技能の総合的な育成】 ・Projectにおいて、それまでの学習事項をもとに、4技能の統合的な活動が行えるよう工夫されている。 【基礎・基本の定着】 ・Lesson(単元)は、Part1,2をHop, Part3,4をStep,そしてTaskをJumpとして構成し、基礎・基本の定着から段階的に活用まで学習ができるようになっている。 ・「英語のしくみ」で文法事項、Time for a SkitやTipsで場面別、技能別の言語活動が設定され、基礎・基本の定着が図れるよう工夫されている。 【「CAN-DOリスト」の形での学習目標設定】 ・LessonのPartごとに「目標：～ができる」と示されている。 ・巻末にCan-Do自己チェックリストというCAN-DOリストが3学年分見渡せるように見開きで付録として示されている。	・内容の取扱い、学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いに基づき、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等及び学習意欲を重視したものになっている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動の充実」に関連して、学年毎2～3回の4技能を統合した「Project」における活動で「聞く→読む→書く→話す・質問」のサイクルで言語活動を充実させるよう構成されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道德教育の充実」に関連して、公共の福祉と社会の発展を考えさせるため、国際社会で活躍する日本人について取り上げられている。	【思考力・判断力・表現力に関すること】 ・1年で2つの、2、3年で各3つのProjectで、それまでの学習をもとに各技能を統合しながら活用し、自分の考えや思いを発信する活動が扱われている。 1年：自己紹介をしよう、友だちをみんなに紹介しよう、好きなマンガやアニメについて発表しよう 2年：ミニ英語新聞を作ろう、あなたの夢を語ろう、アンケート調査をして発表しよう 3年：自分たちの町のガイドブックをつくろう、英語で卒業スピーチをしよう 【小学校外国語活動との関連】 ・1年巻頭部分において、あいさつ、教室英語、身の回りの英語、アルファベット、つづりと音、数字や曜日、教科、色を表す語と簡単な会話が扱われている。 【題材について】 ・異文化理解、人権、伝統文化、防災、福祉、環境、生命、自然、科学など多岐にわたっている。また、地域的には、英米に限らず、オーストラリア、フィンランド、ベトナム、ブータン、スウェーデン、シンガポール、バングラデシュ、アフリカ諸国などが扱われている。 ・日本の伝統や文化については、和食、落語、俳句、マンガ、また、横浜中華街、沖縄、松山、京都、神戸などが扱われている。	【単元構成に関すること】 ・いくつかのLesson(単元)を終えるとProjectという4技能を総合した活動ができるよう構成されている。 ・各Lesson(単元)は、HOP, STEP, JUMPの3段階で構成されている。また、Time for a Skit, Time for Words, Reading Tipsなどの言語活動がLesson間に設定されている。 ・1年生では、be動詞(am, are)の学習から始まり、be 動詞(is)の文、一般動詞の文という配列で構成されている。 【主な文法配列に関すること】 ・1年：be動詞(am, are)→be動詞(is)→一般動詞→3人称単数現在形→can→現在進行形→一般動詞の過去形 ・2年：be動詞の過去形→be going to→will→動名詞→不定詞(3用法)→比較級・最上級(er, est, more, most)→受動態 ・3年：現在完了→現在・過去分詞の後置修飾→関係代名詞 【分量・装丁】 ・判型はB5判。 ・総ページは1年206ページ、2年194ページ、3年190ページ。 各学年ともEssentialsという分冊がある。 ・環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用していると表示されている。	・生徒がブロック体を使用することに配慮し、1年のLesson6までブロック体が使用され、Lesson7から活字体が使用されている。 ・目次では、分かりやすく単元名が表示され、その単元で学習するキーセンテンスが記載されている。 ・LessonのPartごとに「目標：～ができる」と示されている。 ・各ページの言語活動の内容は、技能別のイラストを用いて表示されている。 ・本文の内容に関連した情報がCulture Notesという囲みで示されている。 ・巻末にCan-Do自己チェックリストというCAN-DOリストが3学年分見渡せるように見開きで付録として示されている。 ・色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮していると表示されている。
	ONE WORLD English Course 1 Essentials					
	ONE WORLD English Course 2					
	ONE WORLD English Course 2 Essentials					
	ONE WORLD English Course 3					
38 光 村	ONE WORLD English Course 3 Essentials					
	COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE 1	【4技能の総合的な育成】 ・Go For It!において、それまでの学習事項をもとに、4技能の統合的な活動が行えるよう工夫されている。 【基礎・基本の定着】 ・Unit(単元)は、とびら、Part1～Part3(4)、You Can Do It!で構成され、各Partは右ページにTry It!で基本練習や技能別の練習ができるようになっている。 ・Language Focusで文法事項のまとめ、Skit Timeで場面別の言語活動を設定され、基礎・基本の定着が図れるよう工夫されている。 【「CAN-DOリスト」の形での学習目標設定】 ・Unitのとびらに目標が「～できる」で示されている。 ・CAN-DOリストについてはWEBページで公開されている。	・内容の取扱い、学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いに基づき、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等及び学習意欲を重視したものになっている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動の充実」に関連して、「パート」ごとに4技能を統合した活動、学年毎2～3回の「Go For It!」における活動で「聞く→読む→書く→話す・質問」のサイクルで言語活動を充実させるよう構成されている。 ・学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「道德教育の充実」に関連して、世界の中の日本人としての自覚をもち自国の文化や歴史を通して国際的視野に立って世界平和を考える心の育成、科学技術の創造や環境問題について取り上げられている。	【思考力・判断力・表現力に関すること】 ・各学年3回設定されているGo For It!で、それまでの学習をもとに各技能を統合しながら活用し、自分の考えや思いを発信する活動が扱われている。 1年：自己紹介をしよう、大切な人のことを紹介しよう 2年：旅のしおりを作ろう、職場体験の報告をしよう、「私たちの町」を紹介しよう 3年：修学旅行新聞を作ろう、給食と弁当どちらがいい？、卒業文集を作ろう 【小学校外国語活動との関連】 ・1年巻頭部分において、あいさつ、小学校で学習した様々な場面の会話のリスニング活動、アルファベット、つづりと音、身の回りの英語、数字、教室英語が扱われている。 【題材について】 ・国際理解、人権、福祉、友情、環境、自然科学、情報、防災など多岐にわたっている。英米に限らずコスタリカ、ザンビア、トルコ、カンボジア、インド、フランス、ケニアなどが扱われている。 ・日本の伝統や文化については、アニメ、マンガ、盆踊り、お正月、外国人への日本についてのインタビュー、また沖縄、京都、横浜などが扱われている。	【単元構成に関すること】 ・各Unit(単元)の後にYou Can Do It!という総合的な言語活動があり、いくつかのUnitの後には、年間3回のGo For It!というプロジェクト型の4技能を総合した活動ができるよう構成されている。 ・3年間を通して一つの物語として構成されている。 ・1年生では、be動詞(am, are)の学習から始まり、be 動詞(is)の文、一般動詞の文という配列で構成されている。 【主な文法配列に関すること】 ・1年：be動詞(am, are)→be動詞(is)→一般動詞→3人称単数現在形→can→現在進行形→一般動詞の過去形 ・2年：be動詞の過去形→be going to→will→動名詞→不定詞(3用法)→比較級・最上級(er,est,more,most)→受動態 ・3年：現在完了→現在・過去分詞の後置修飾→関係代名詞 【分量・装丁】 ・判型はAB判。 ・総ページ数は1年：178ページ、2年：170ページ、3年：162ページ。 ・環境に配慮した紙と植物油インキを使用していると表示されている。	・生徒がブロック体を使用することに配慮し、1年生の間はブロック体が使用されている。 ・目次では、分かりやすく単元名が表示されている。各Unitの最初に写真を使った導入のためのページがあり、その課の目標も「～することができる」で示されている。 ・各ページの言語活動の内容は、技能別のイラストを用いて表示されている。 ・キャラクターの吹き出しにより学習のアドバイザーが示されている。 ・カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮していると表示されている。
	COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE 2					
	COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE 3					